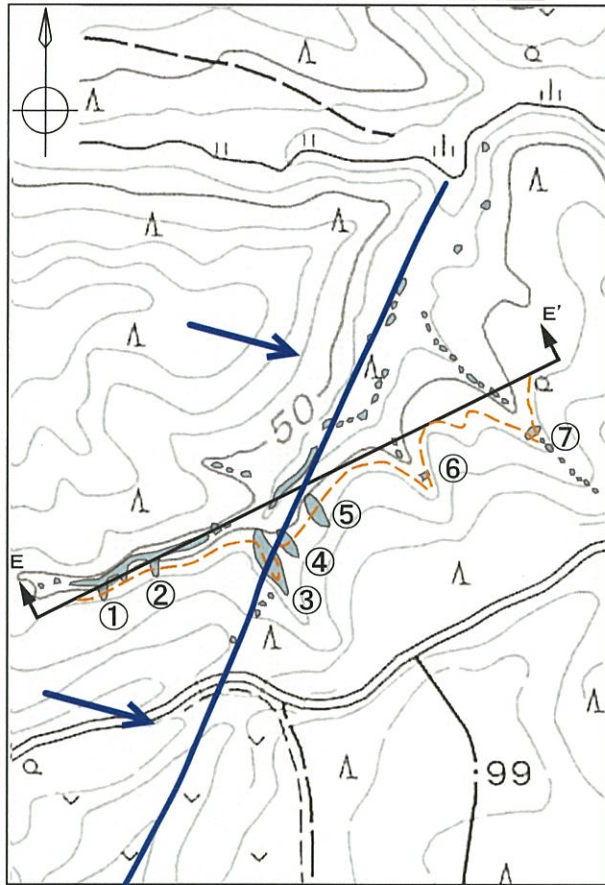


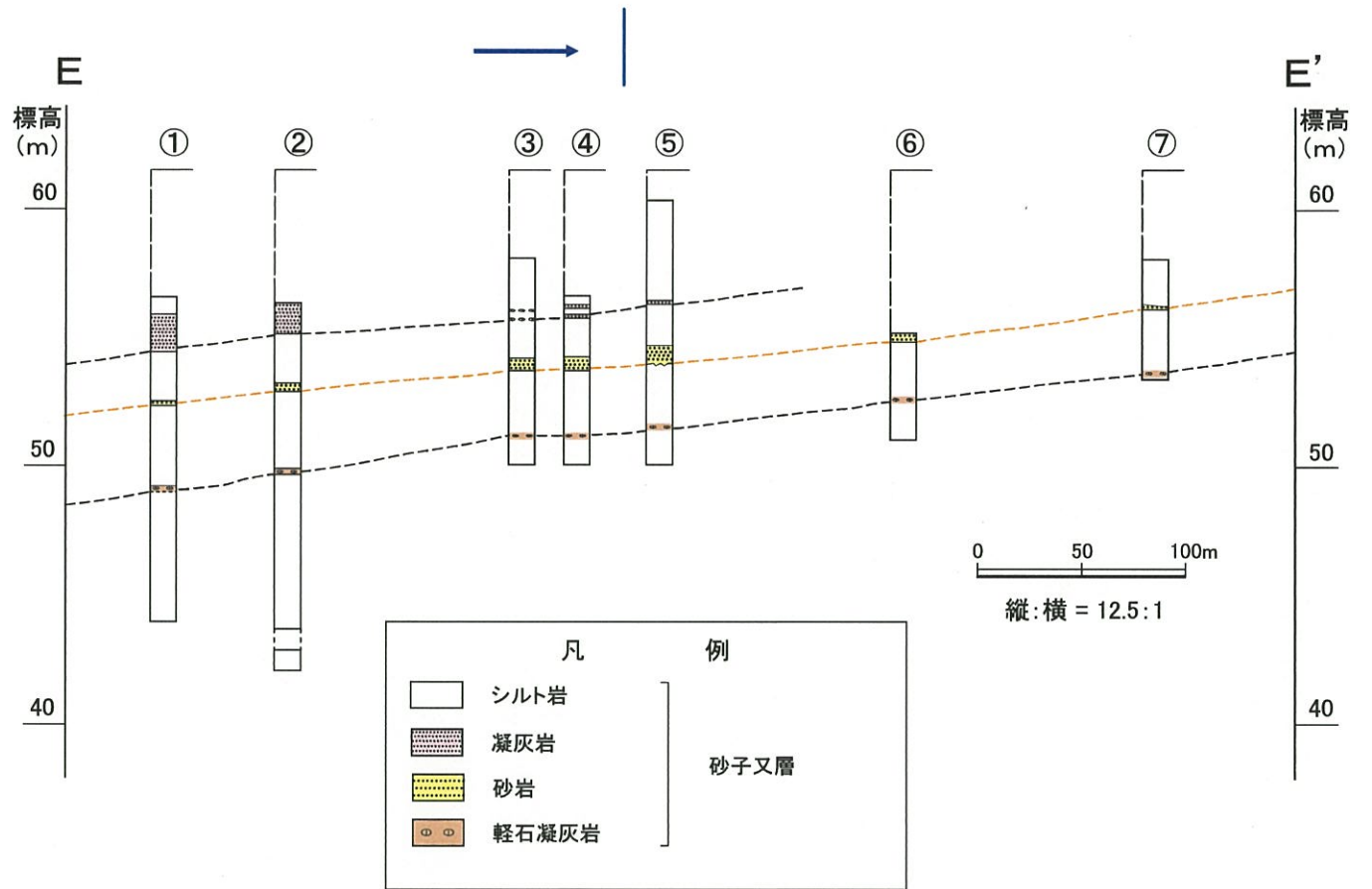
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



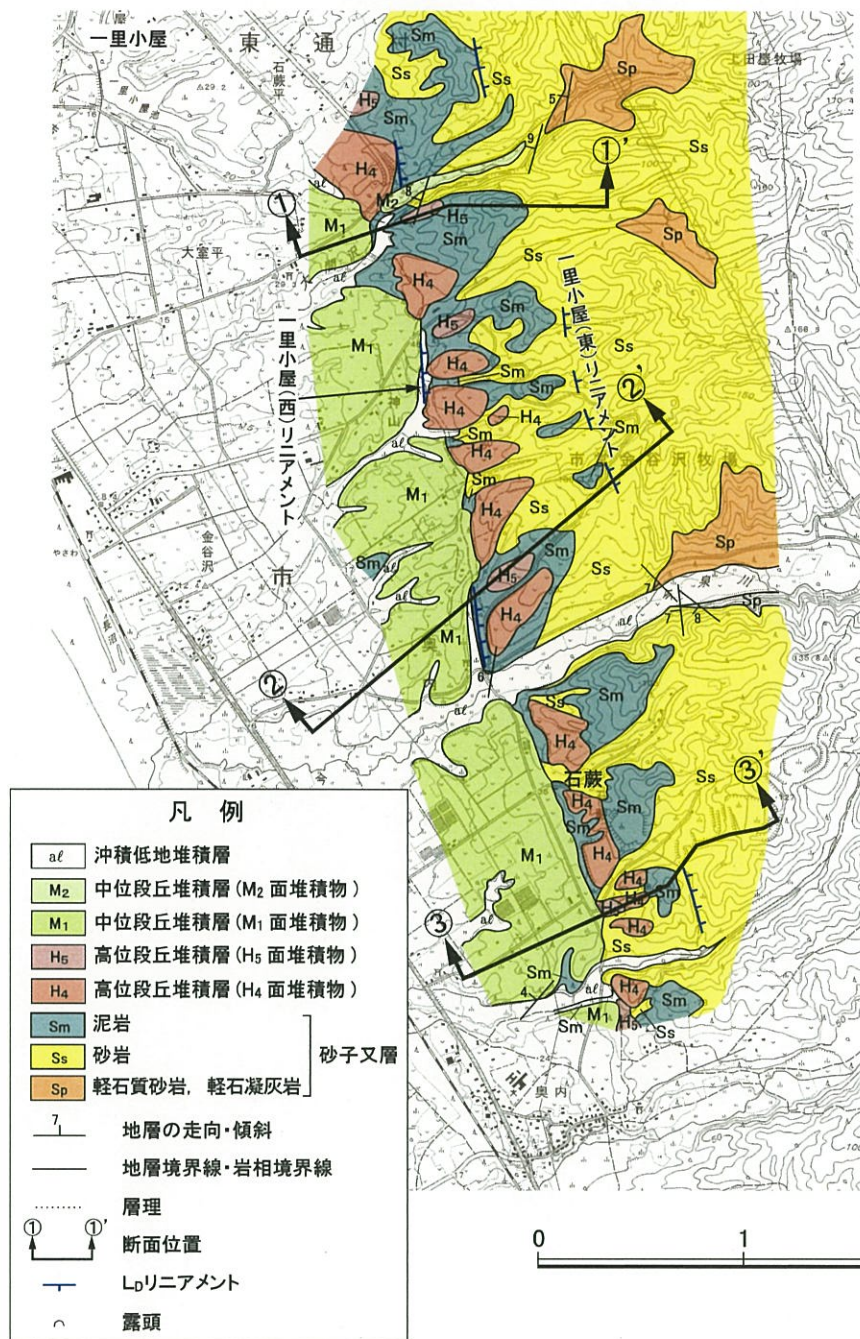
- 凡例
- Lpリニアメント
 - ↓ ↓ 段丘面上の急傾斜部
矢印の方向は傾斜方向を示す。
 - E E' 断面位置
 - 露頭位置
 - - - 砂岩の下面

0 100 200m

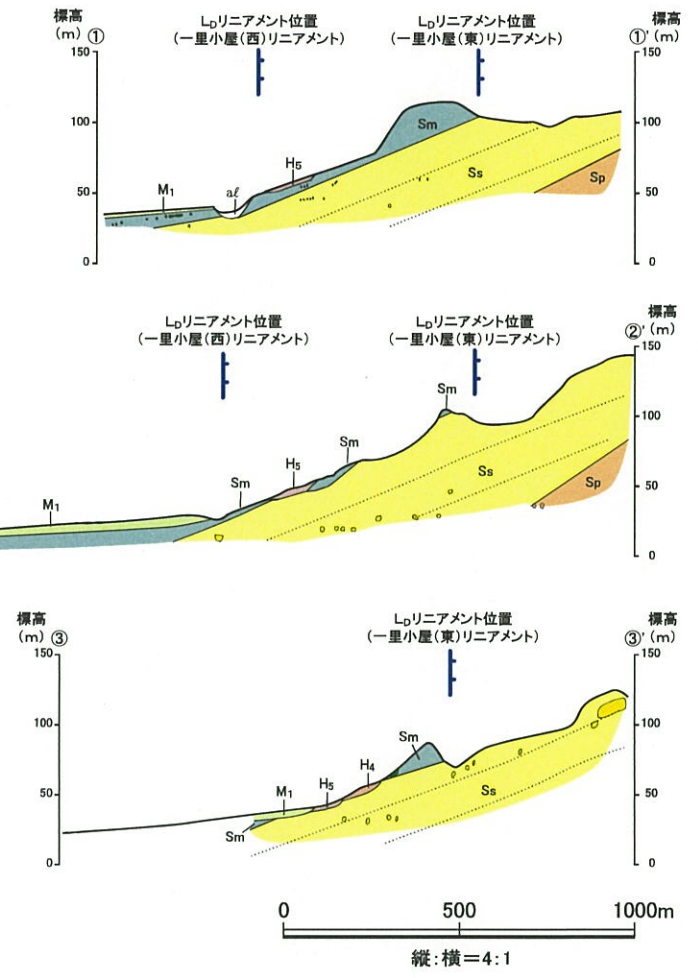
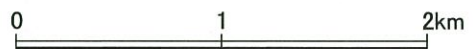
Lpリニアメント位置



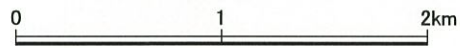
第3.2-72図 東北町淋代東方の露頭柱状対比図
3-3-295



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

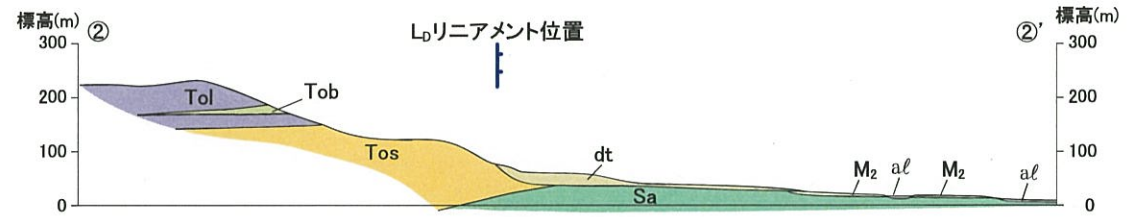
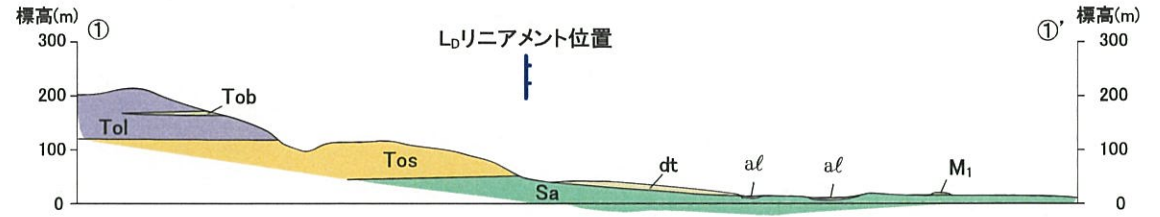


第3.2-73図 東通村一里小屋周辺の地質平面図及び地質断面図 3-3-296

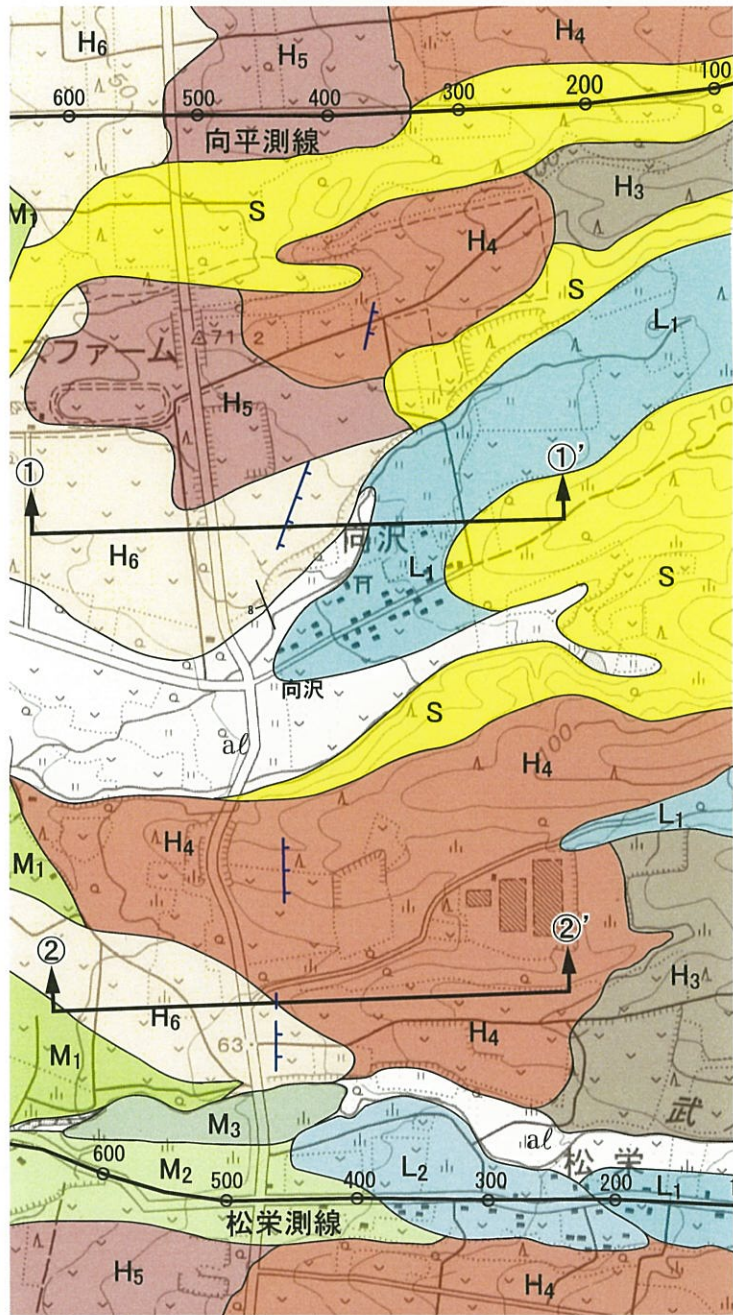
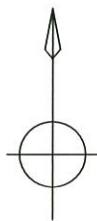


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

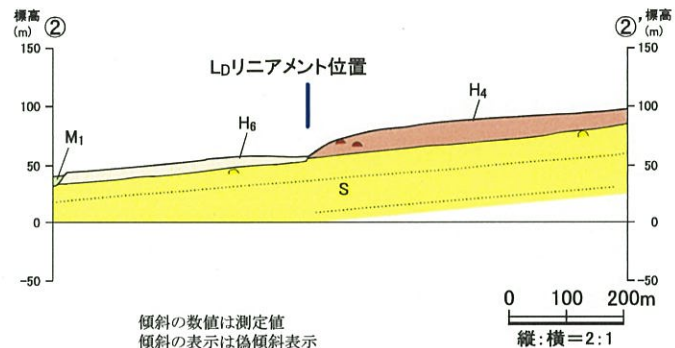
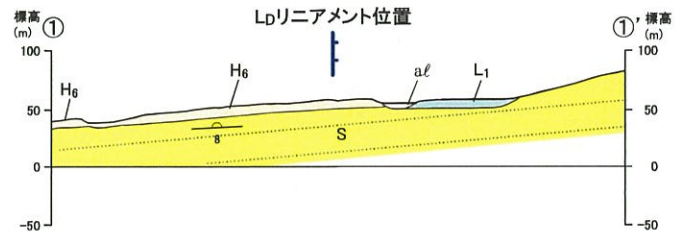
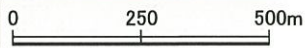
凡 例	
al	沖積低地堆積層
dt	崖錐堆積層
M ₃	中位段丘堆積層(M ₃ 面堆積物)
M ₂	中位段丘堆積層(M ₂ 面堆積物)
M ₁	中位段丘堆積層(M ₁ 面堆積物)
Tol	安山岩溶岩(自破砕部を含む)
Tob	凝灰角礫岩
Tos	凝灰質砂岩
Sa	泥岩・砂岩
D	貫入岩
5	地層の走向・傾斜
① ①'	断面位置
—	地層境界線・岩相境界線
—	L _D リニアメント
—	泊層
—	猿ヶ森層



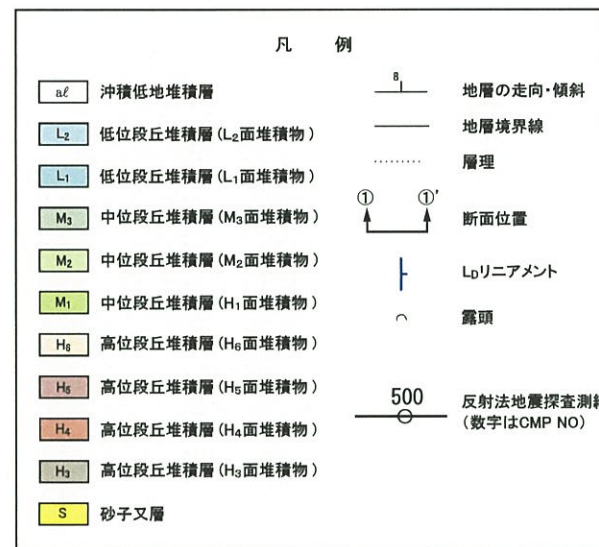
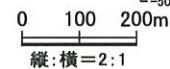
第3.2-74図 東通村小田野沢西方周辺の地質平面図及び地質断面図
3-3-297



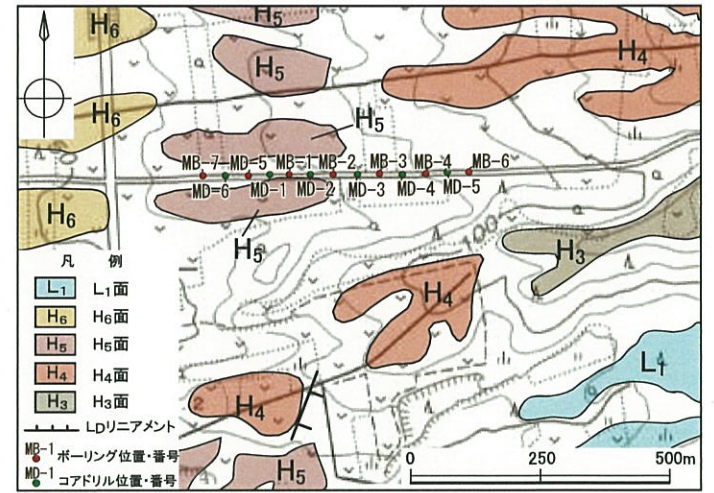
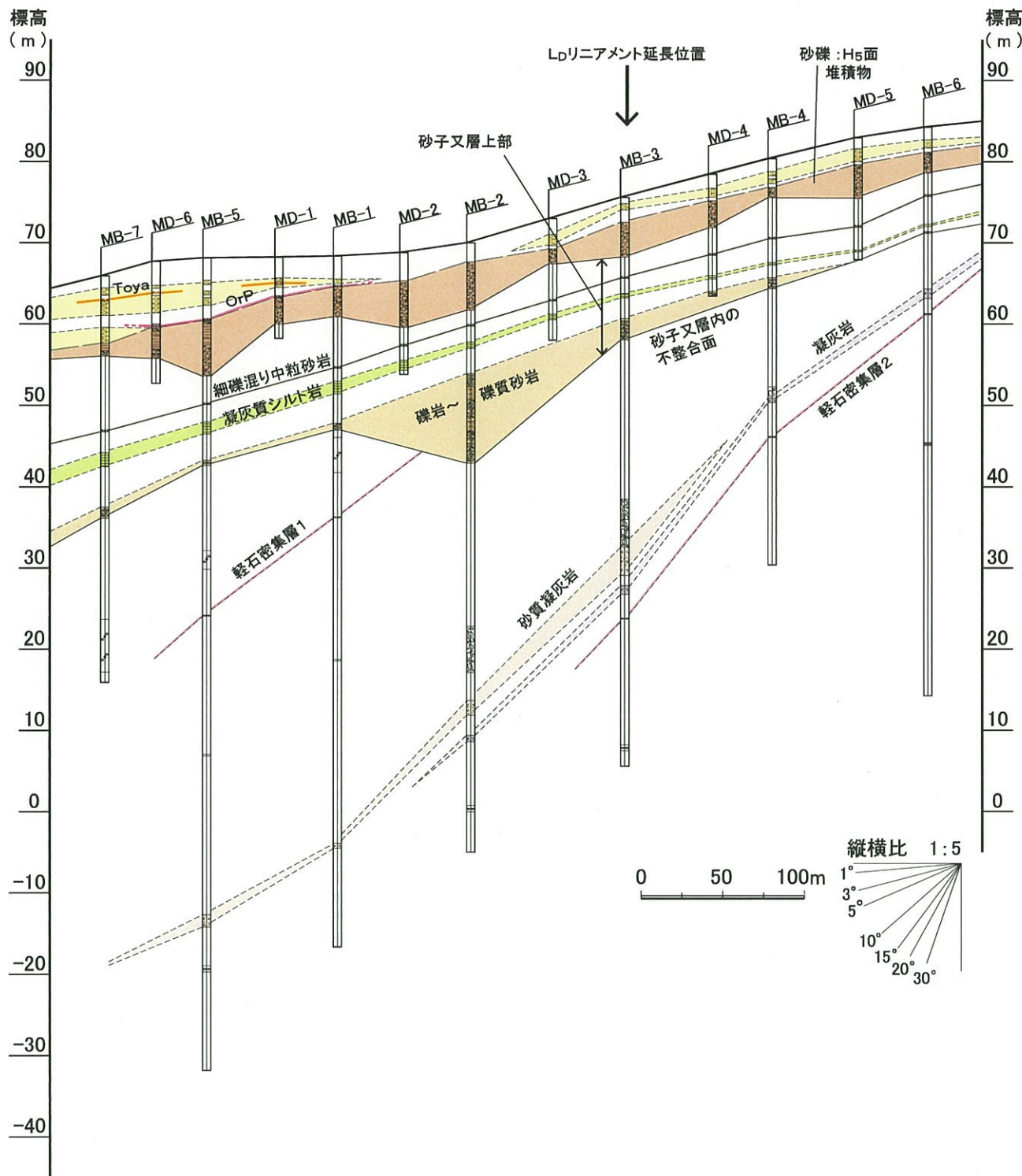
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



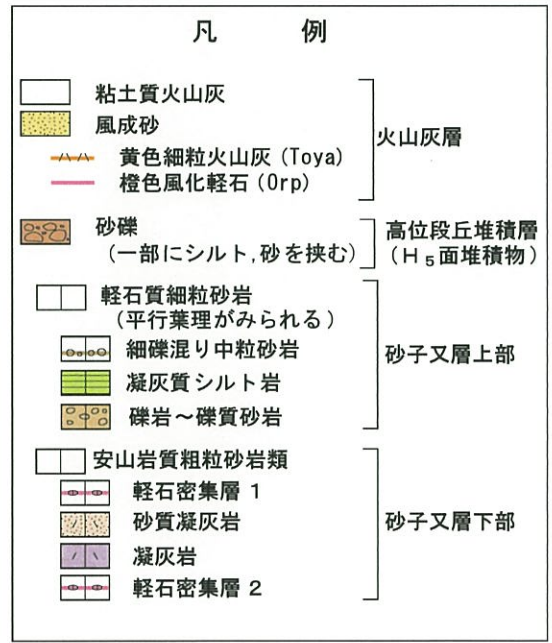
傾斜の数値は測定値
傾斜の表示は偽傾斜表示



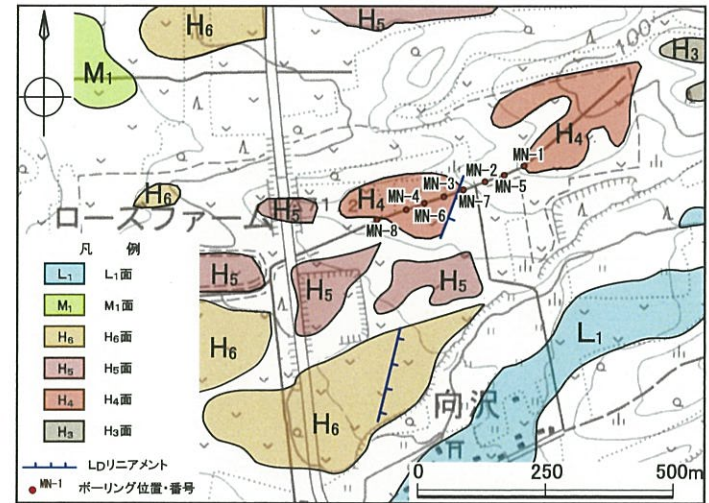
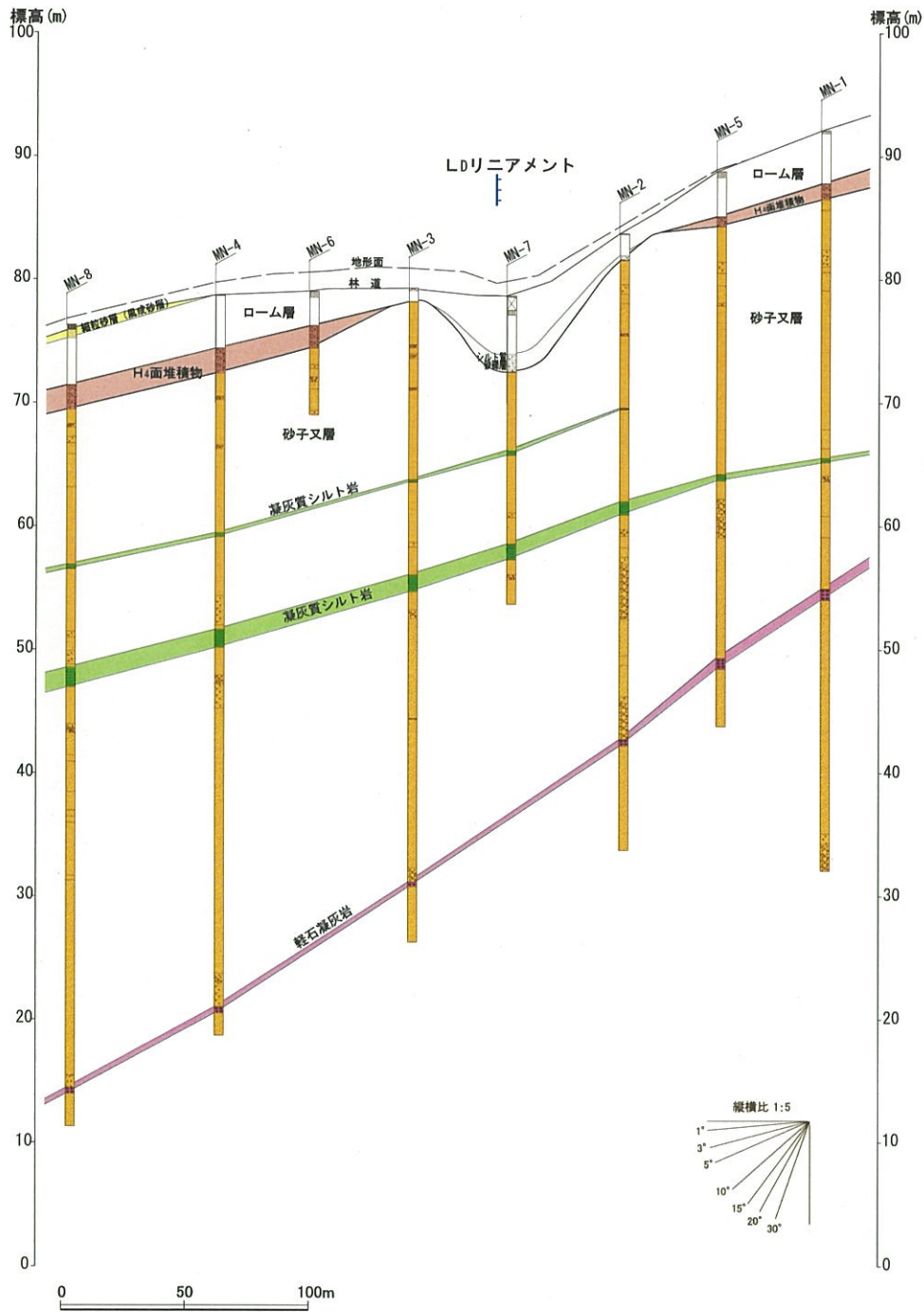
第3.2-75図 横浜町向沢周辺の地質平面図及び地質断面図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



第3.2-76図 横浜町向平のボーリング調査結果
3-3-299

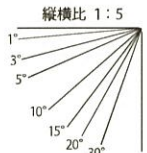
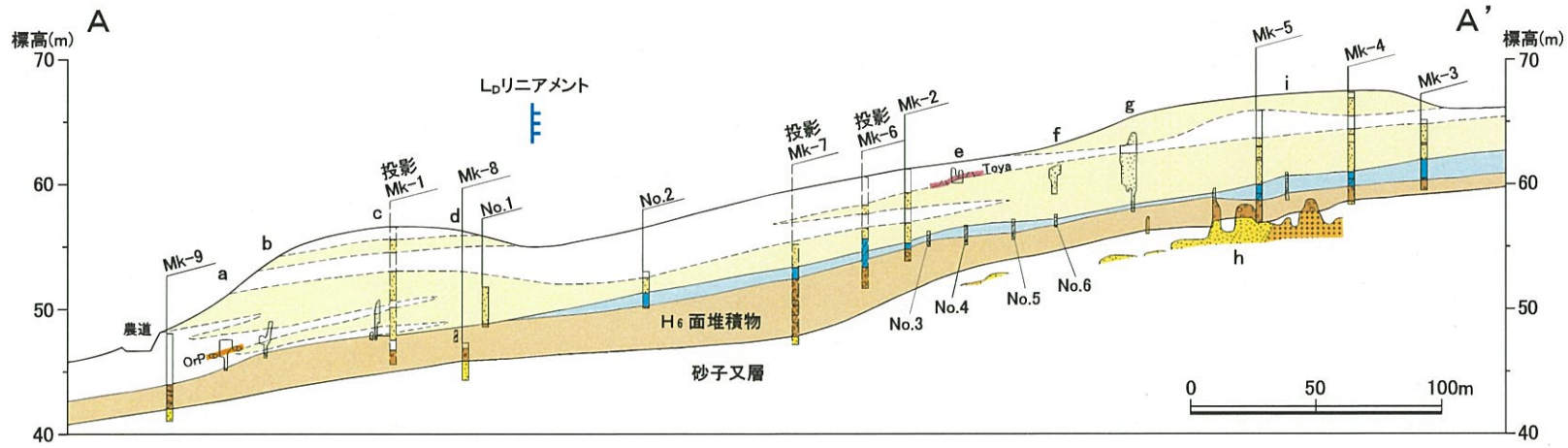


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 13/F 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

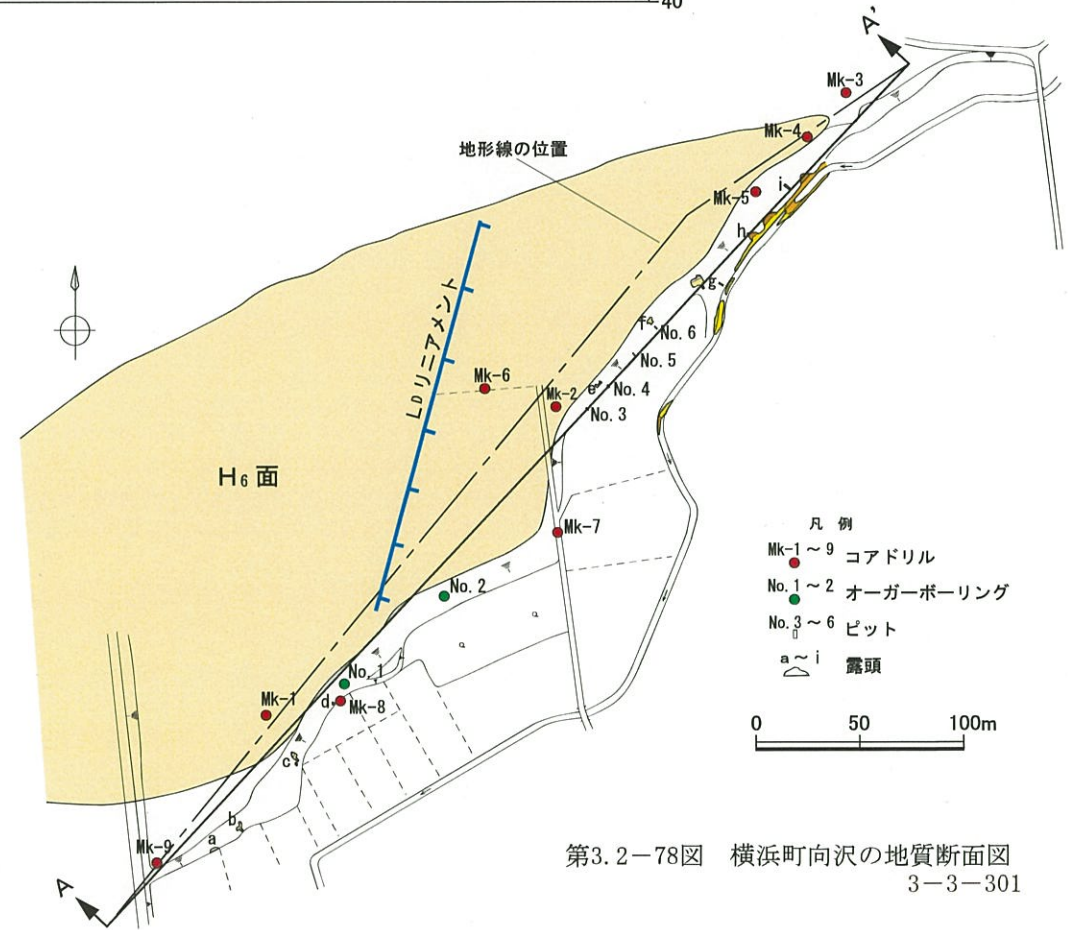
柱状図凡例

- 黑色土壌
- 細粒砂層 (風成砂層)
- ローム層, ローム質シルト層
- シルト質砂礫層
- 礫層 (H4面堆積物)
- 細粒砂岩 (砂子又層)
- 粗粒~中粒砂岩 (砂子又層)
- 含礫砂岩 (砂子又層)
- 礫岩 (砂子又層)
- 凝灰質シルト岩 (砂子又層)
- 軽石凝灰岩 (砂子又層)

第3.2-77図 横浜町向沢北方のボーリング調査結果
3-3-300

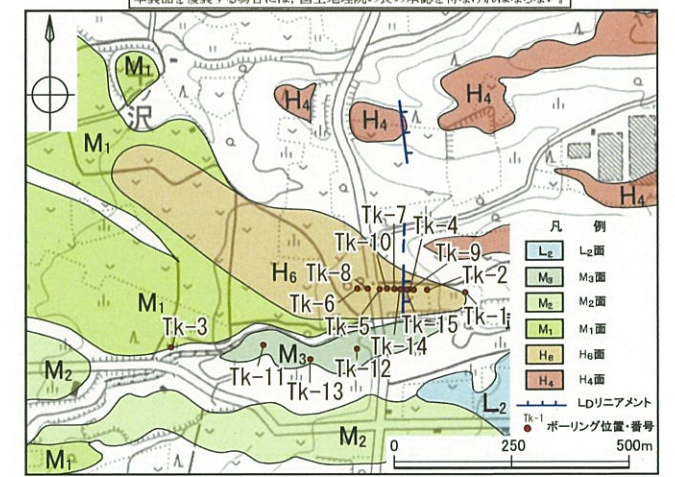
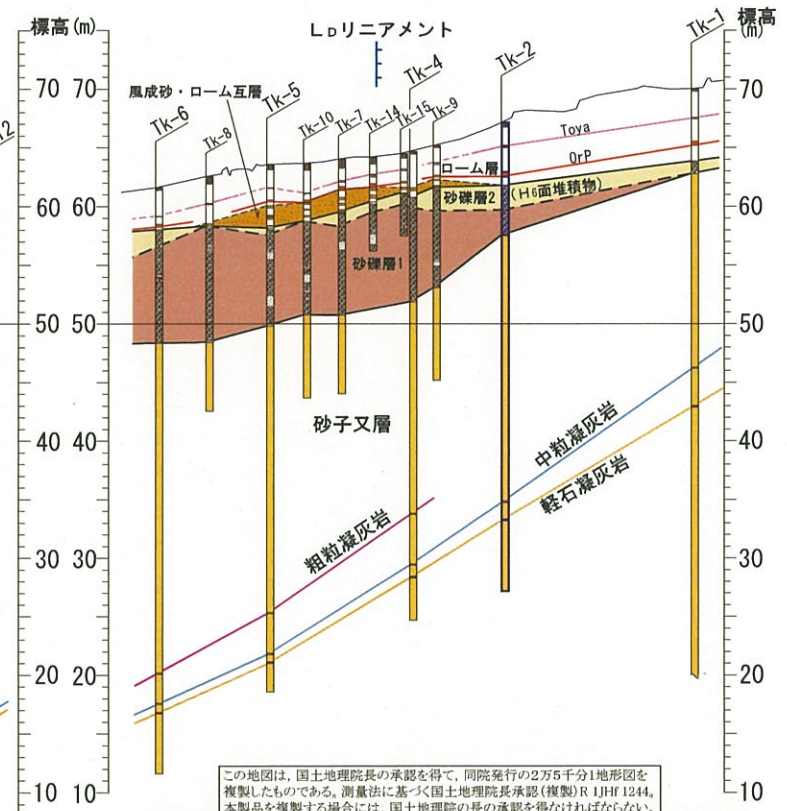
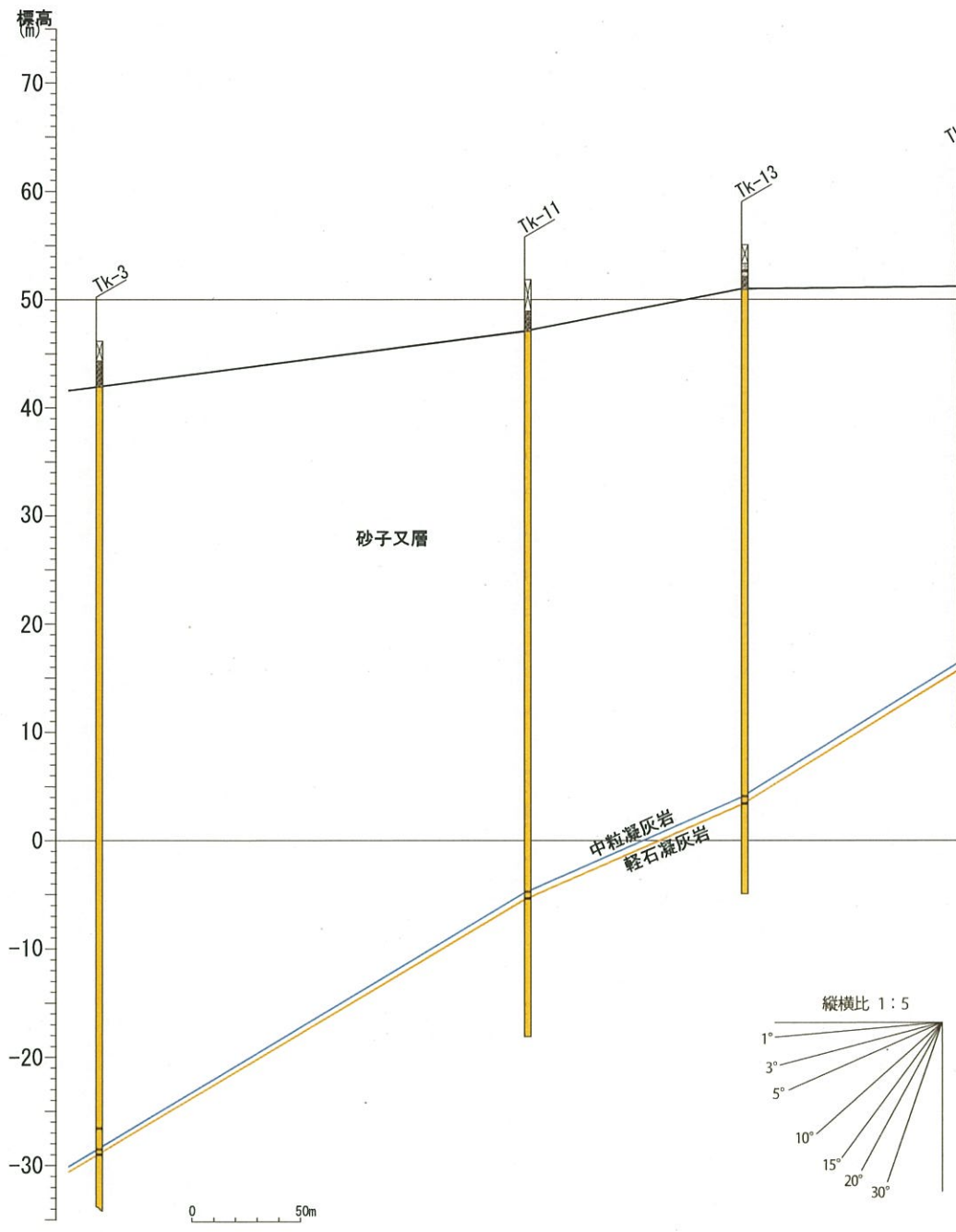


- ローム層
- 風成砂層
- ローム質含礫粘土層
- 砂礫層(H₆面堆積物)
- 砂岩(砂子又層)
- 礫岩(砂子又層)

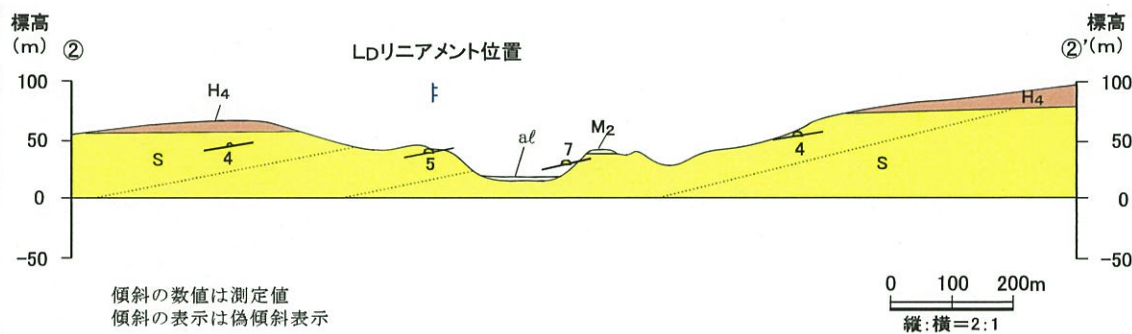
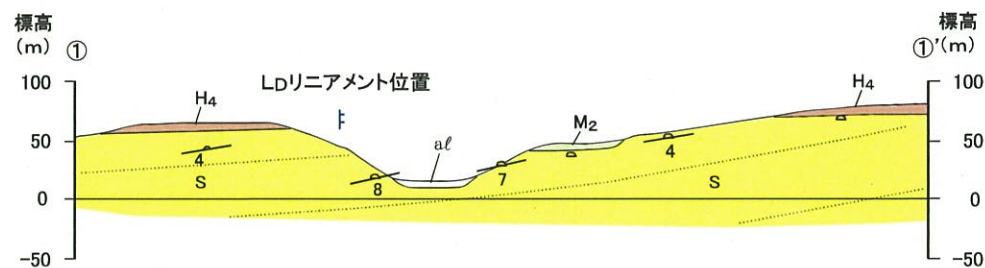
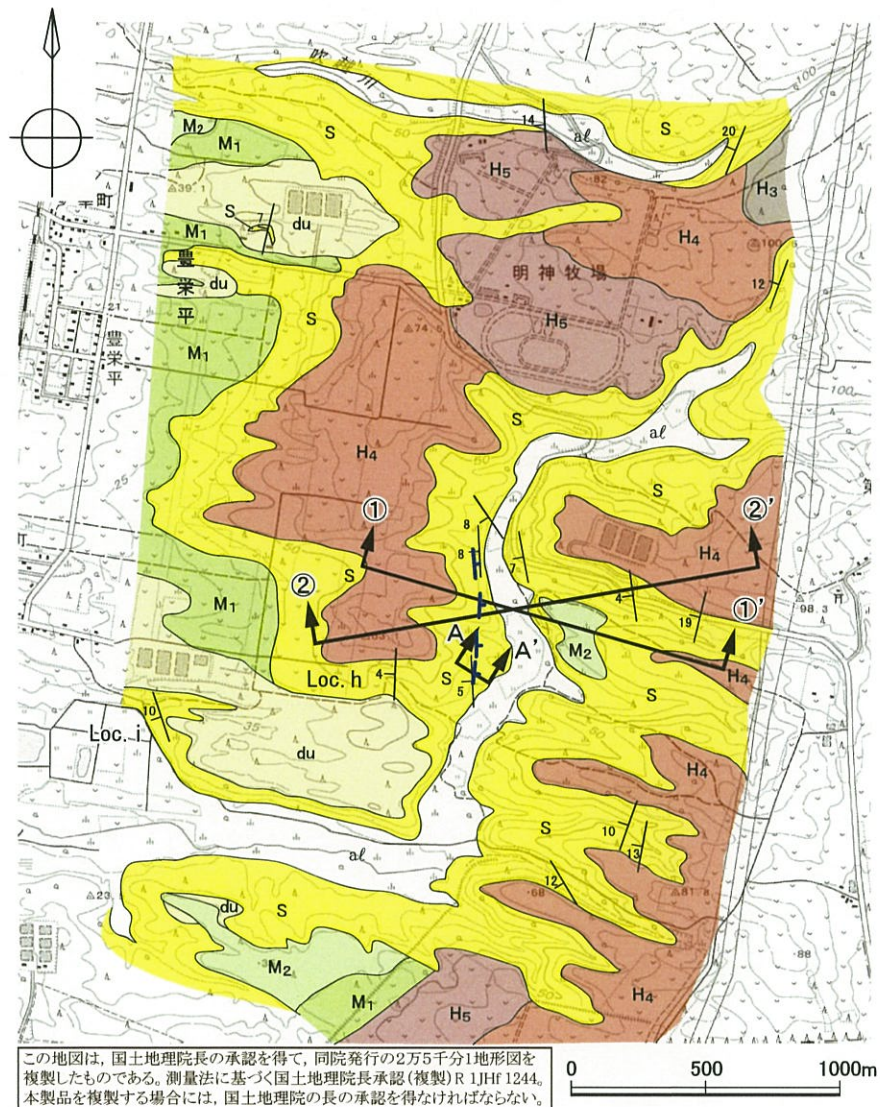


- 凡例
- Mk-1 ~ 9 コアドリル
 - No. 1 ~ 2 オーガーボーリング
 - No. 3 ~ 6 ピット
 - a ~ i 露頭
- 0 50 100m

第3.2-78図 横浜町向沢の地質断面図
3-3-301

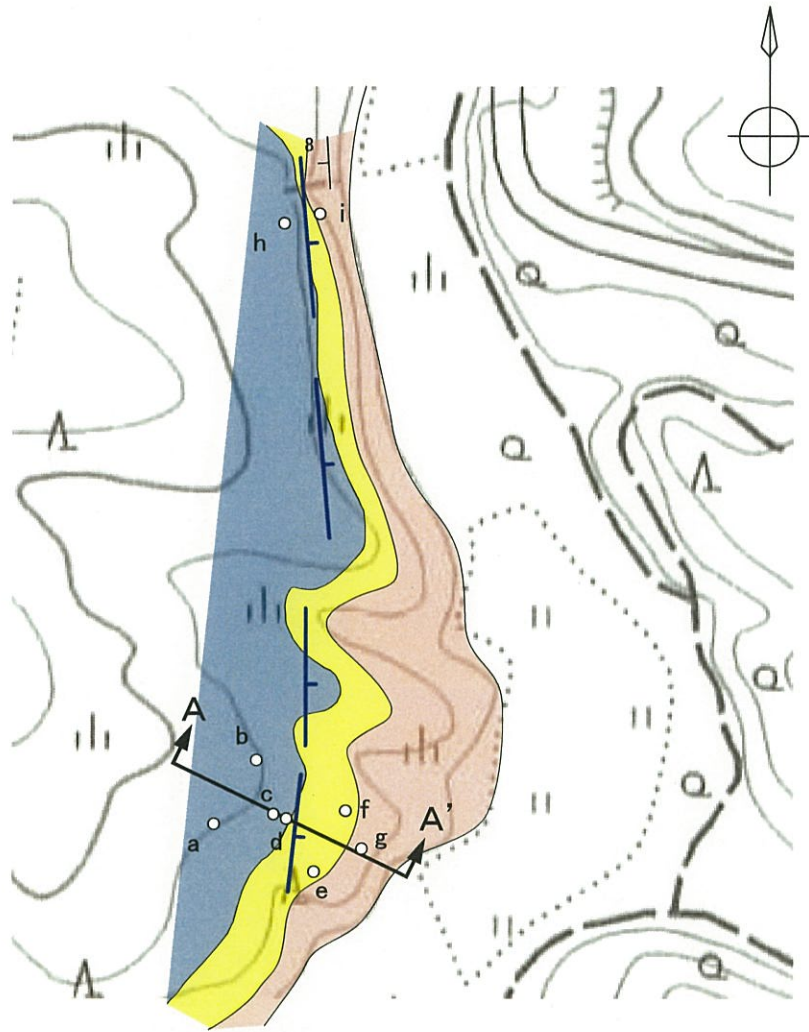


第3.2-79図 横浜町武ノ川右岸のボーリング調査結果
3-3-302

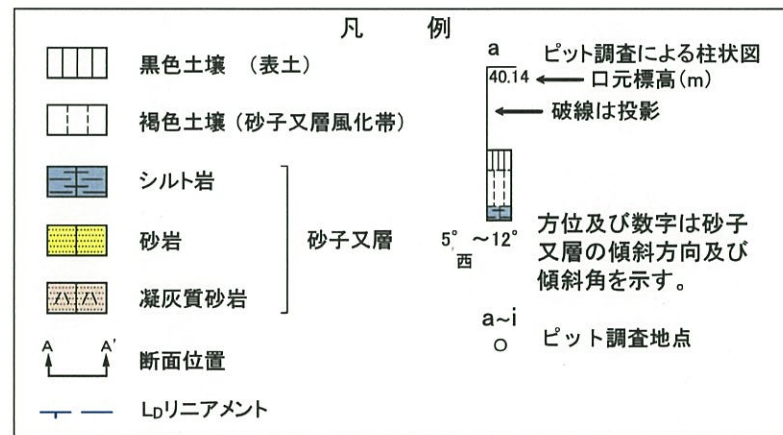
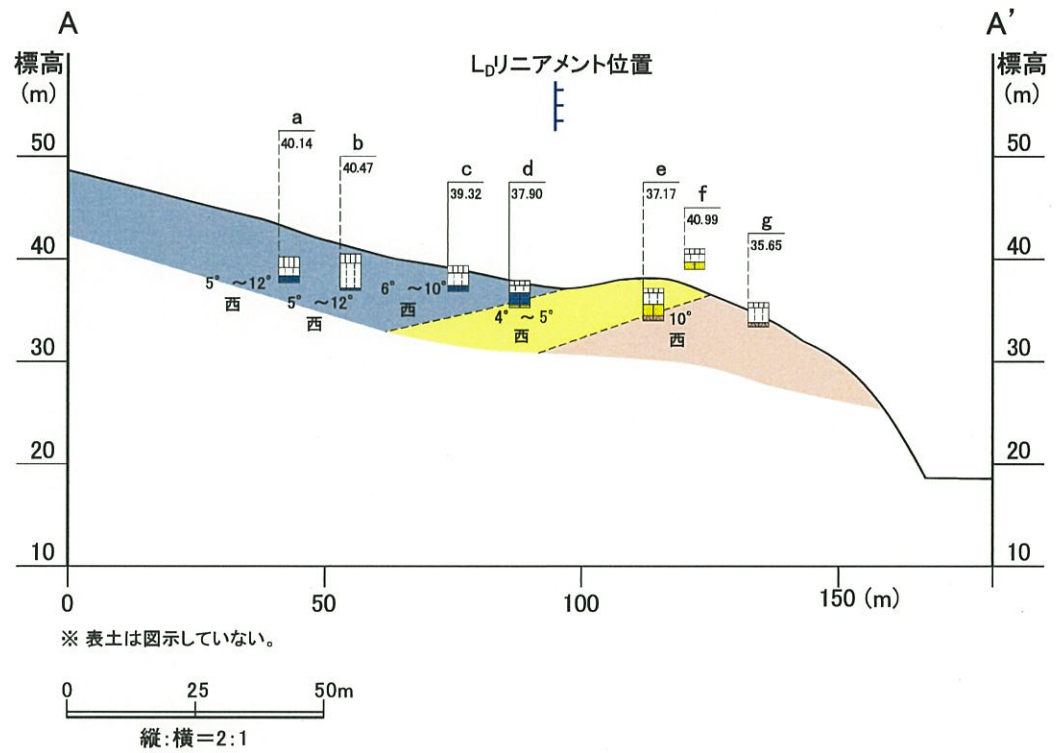
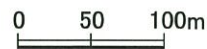


凡 例			
al	沖積低地堆積層	141	地層の走向・傾斜
du	砂丘砂層	—	地層境界線
M2	中位段丘堆積層 (M2面堆積物)	層理
M1	中位段丘堆積層 (M1面堆積物)	① ①'	断面位置
H5	高位段丘堆積層 (H5面堆積物)	—	L0リニアメント
H4	高位段丘堆積層 (H4面堆積物)	◐	露頭
H3	高位段丘堆積層 (H3面堆積物)		
S	砂子又層		

第3.2-80図 横浜町豊栄平周辺の地質平面図及び地質断面図

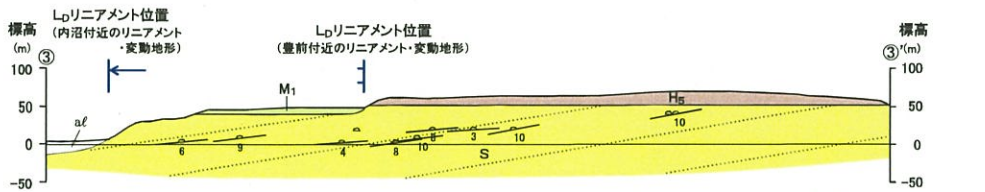
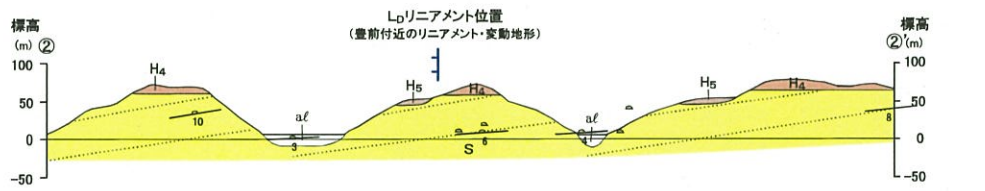
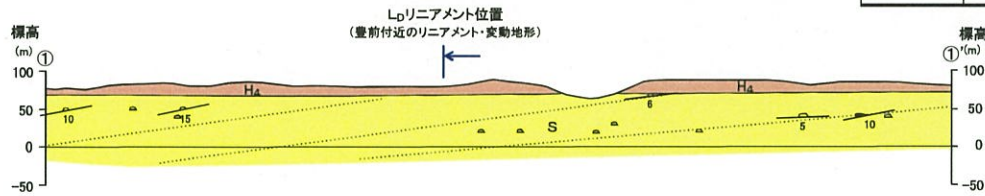
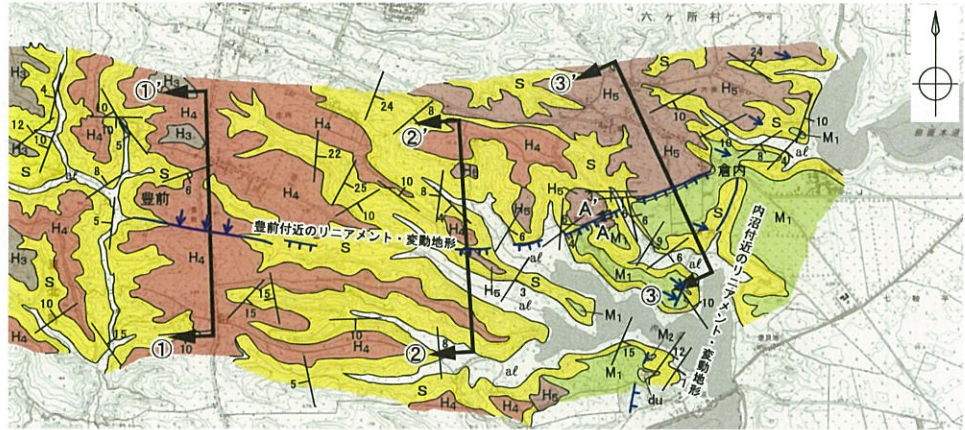


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

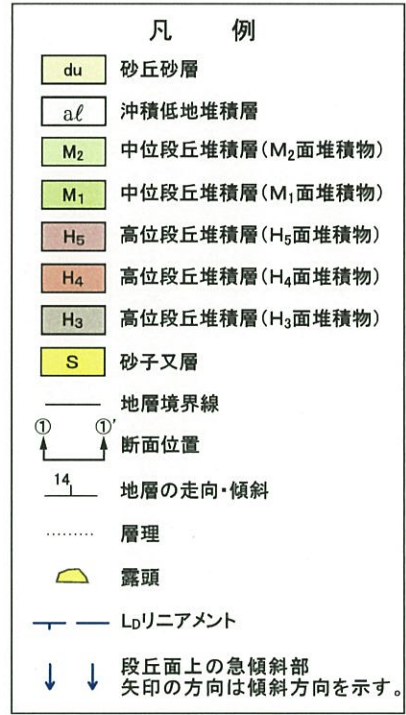


第3.2-81図 横浜町豊栄平東方のピット調査結果図
3-3-304

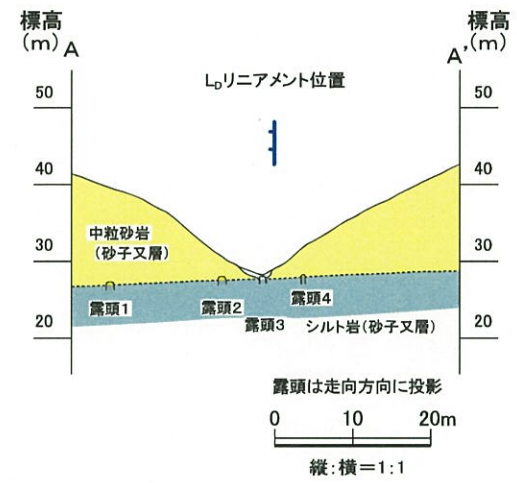
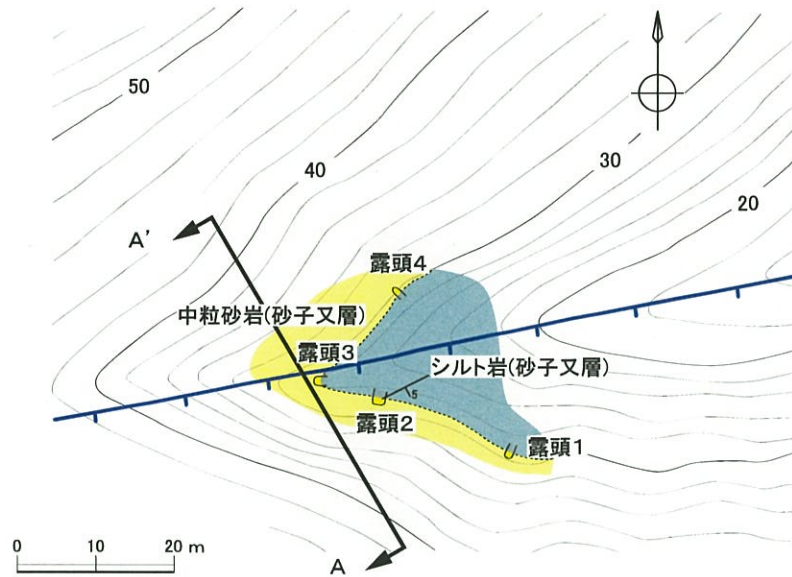
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHf1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



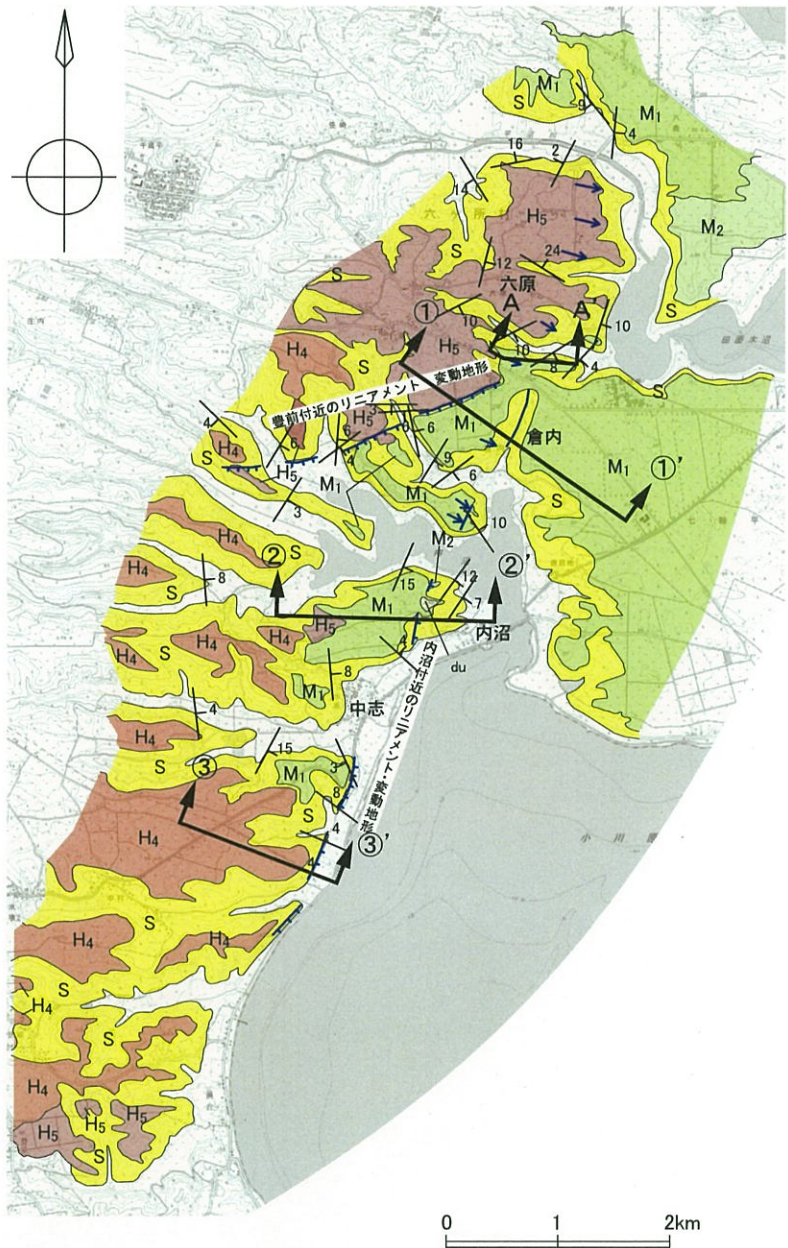
縦:横=2:1



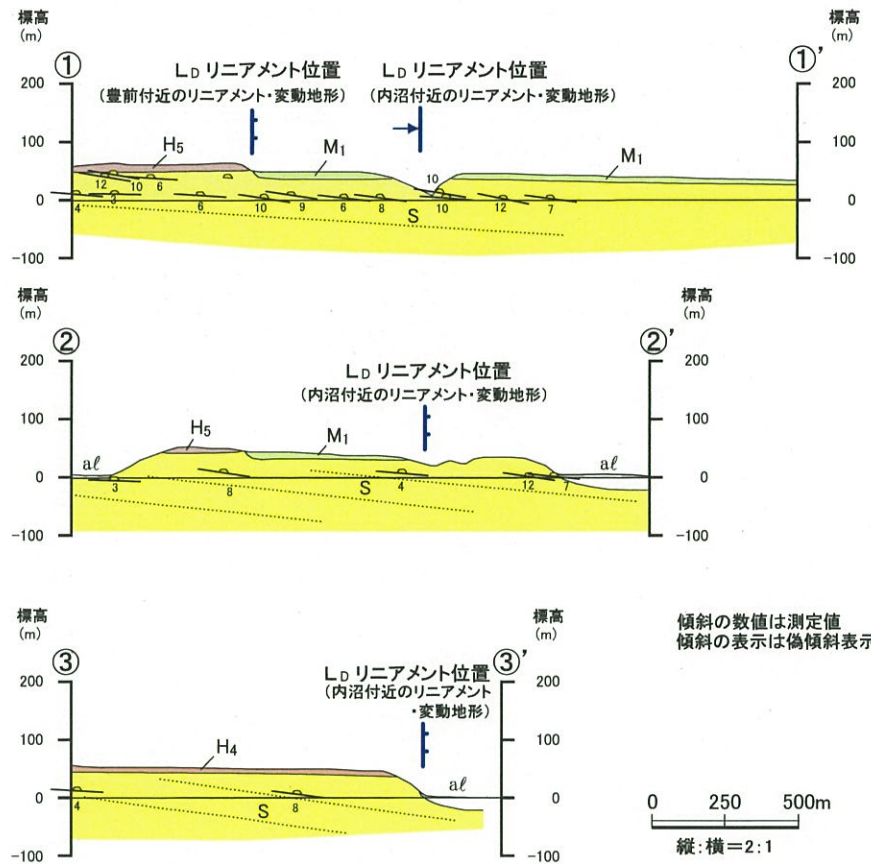
第3.2-82図 東北町豊前周辺の地質平面図及び地質断面図
3-3-305



第3.2-83図 六ヶ所村倉内西方の露頭対比図
3-3-306



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



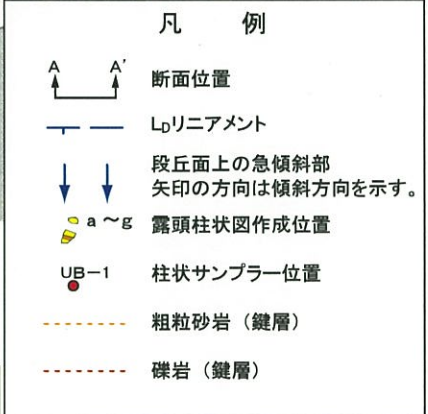
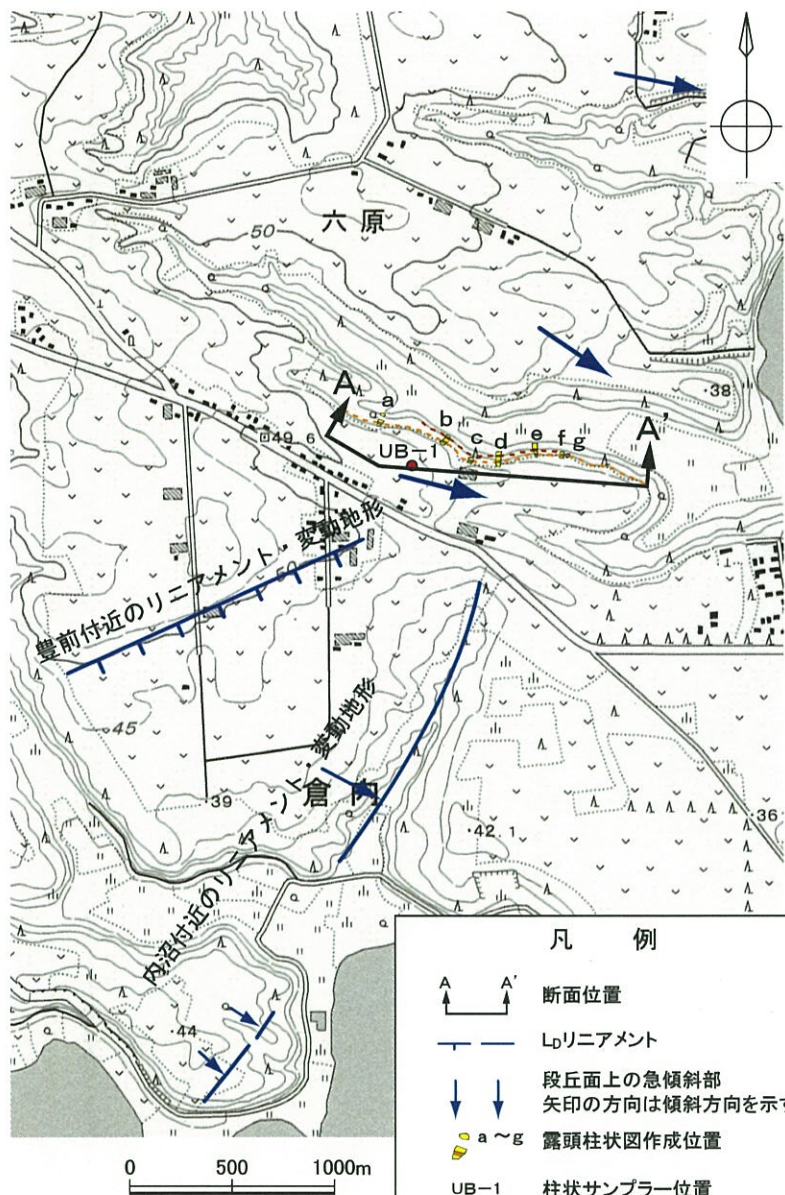
傾斜の数値は測定値
傾斜の表示は偽傾斜表示



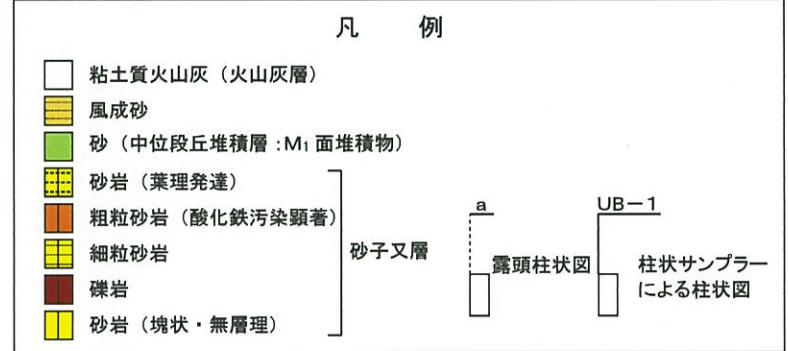
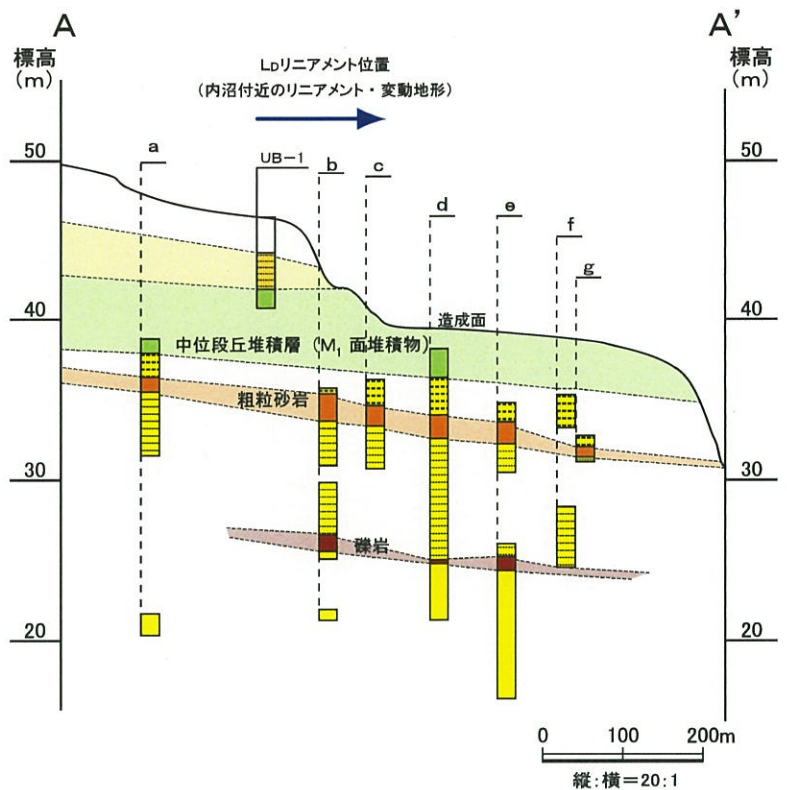
地質凡例		① ①'	断面位置
al	沖積低地堆積層	S	砂子又層
du	砂丘砂層	① ①'	断面位置
M ₂	中段段丘堆積層(M ₂ 面堆積物)	7	地層の走向・傾斜
M ₁	中段段丘堆積層(M ₁ 面堆積物)	—	地層境界線
H ₅	高位段丘堆積層(H ₅ 面堆積物)	層理
H ₄	高位段丘堆積層(H ₄ 面堆積物)	▲	露頭
		— — —	L _D リニアメント
		↓ ↓	段丘上の急傾斜部 矢印の方向は傾斜方向を示す。

注) 図中のA-A'断面については六ヶ所村六原南方の露頭柱状対比図に示す。

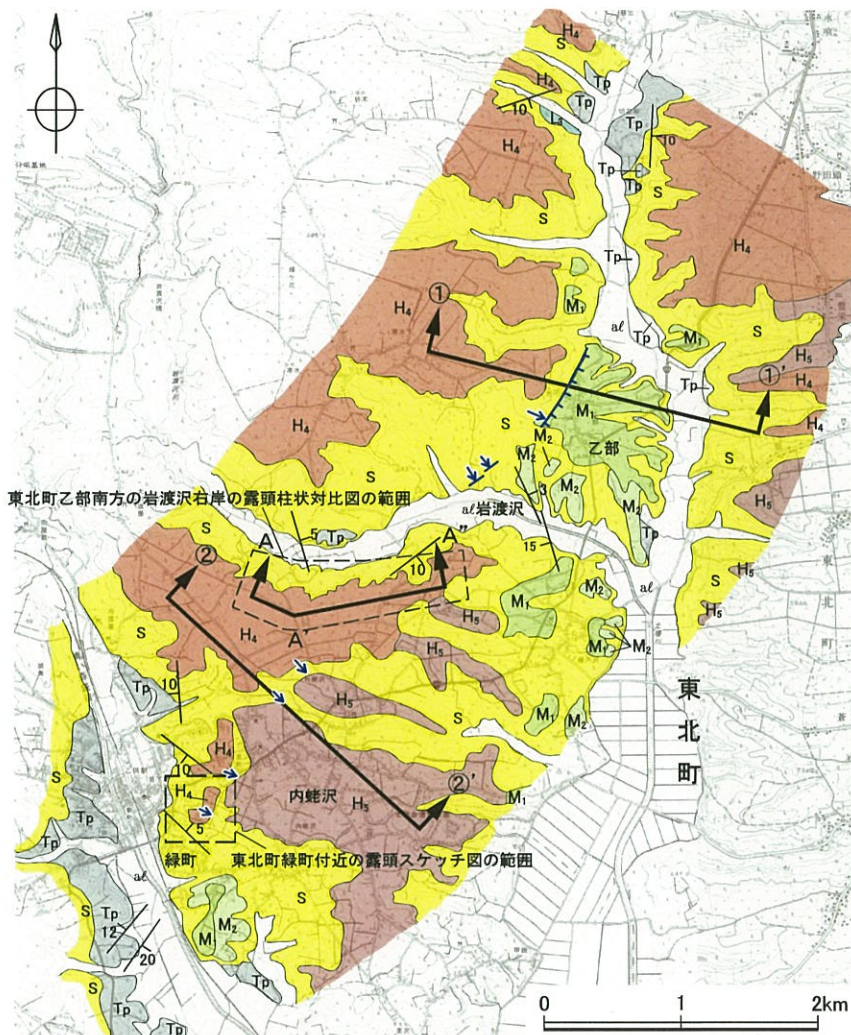
第3.2-84図 六ヶ所村内沼周辺の地質平面図及び地質断面図
3-3-307



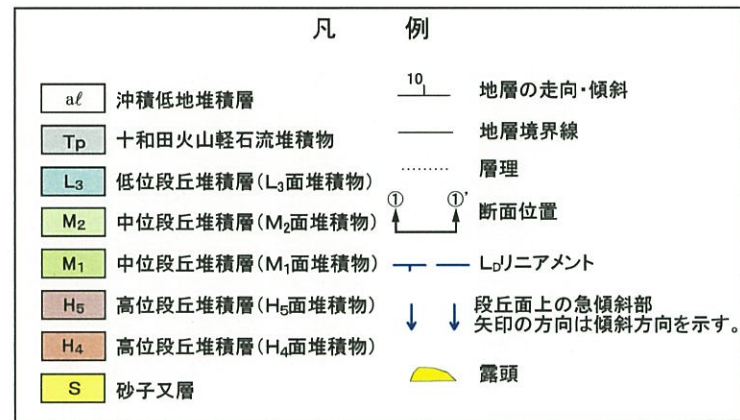
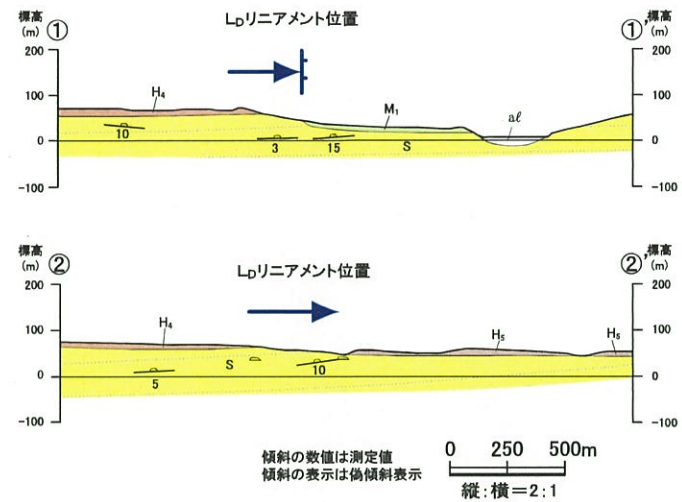
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



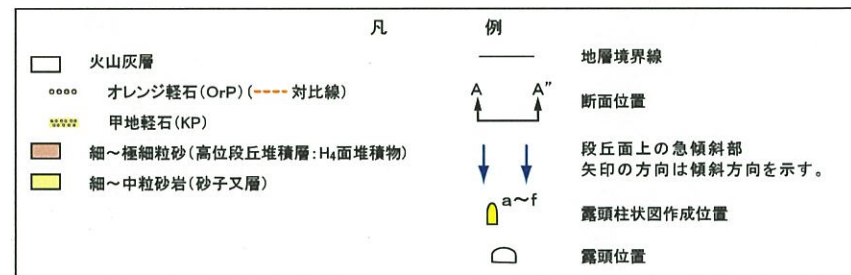
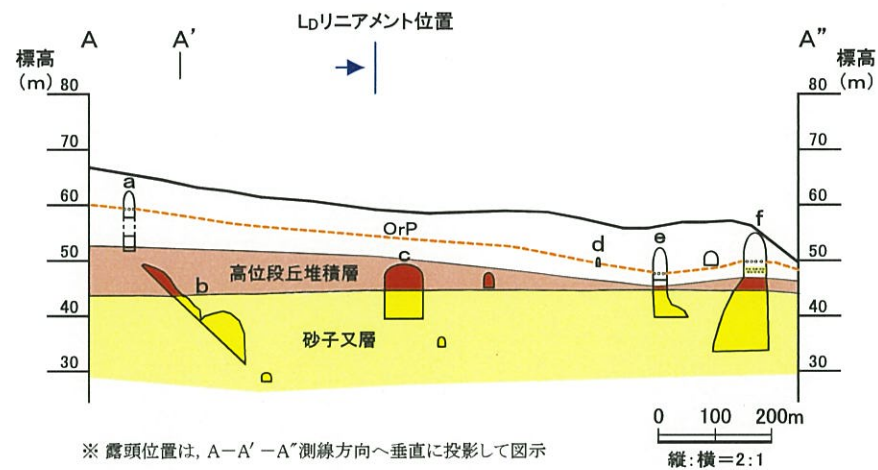
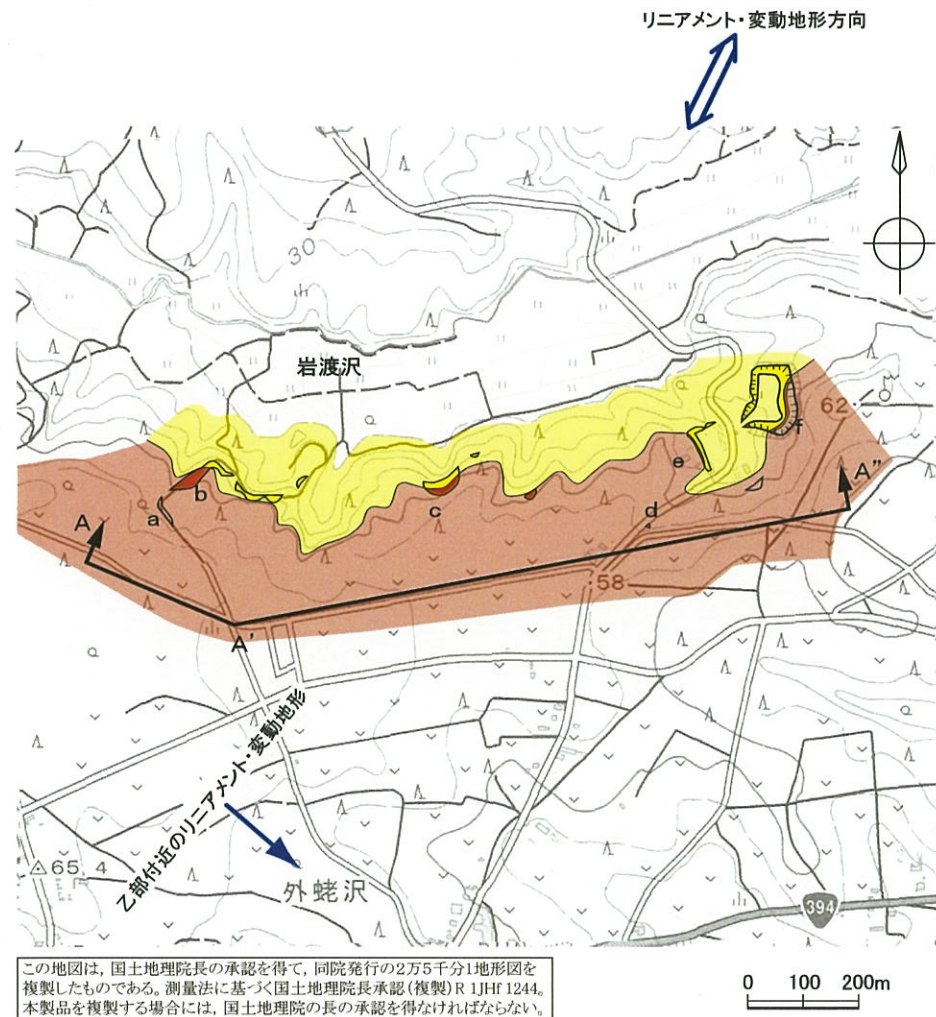
第3.2-85図 六ヶ所村六原南方の露頭柱状対比図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

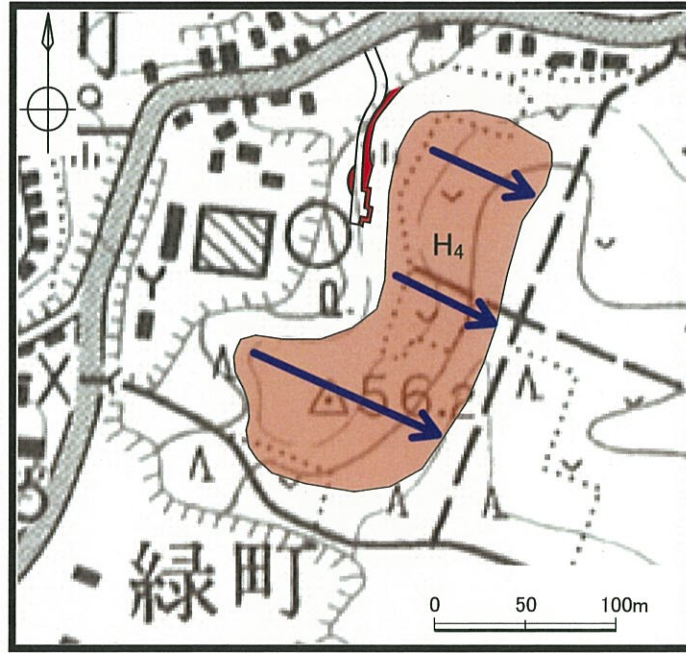


第3.2-86図 東北町乙部周辺の地質平面図及び地質断面図
 3-3-309

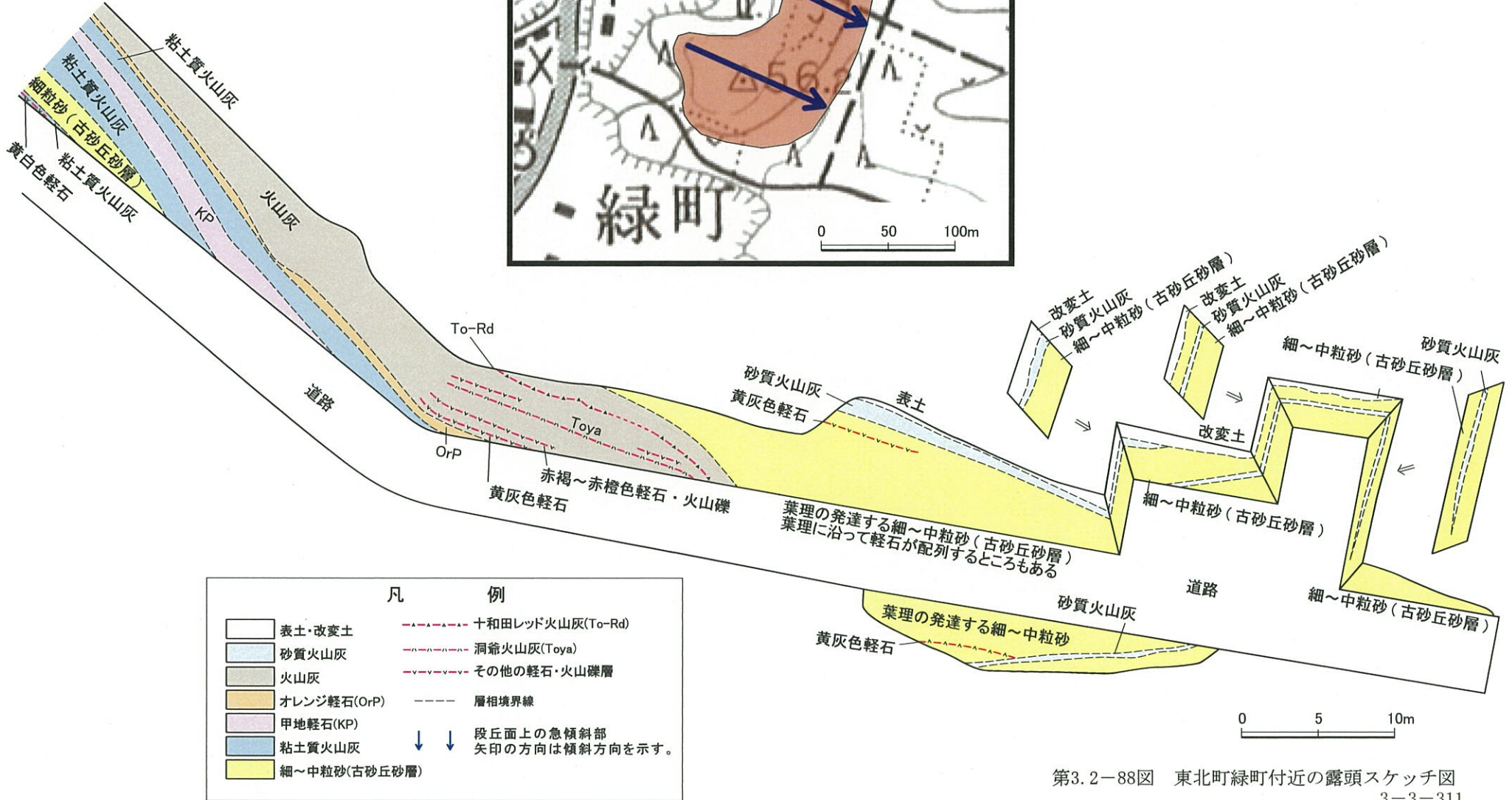
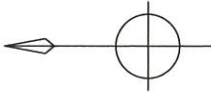


第3.2-87図 東北町乙部南方の岩渡沢右岸の露頭柱状対比図

露頭位置図

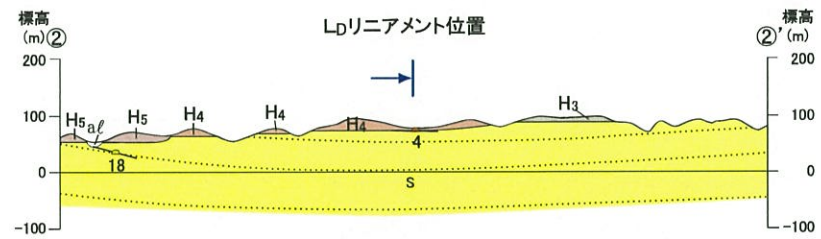
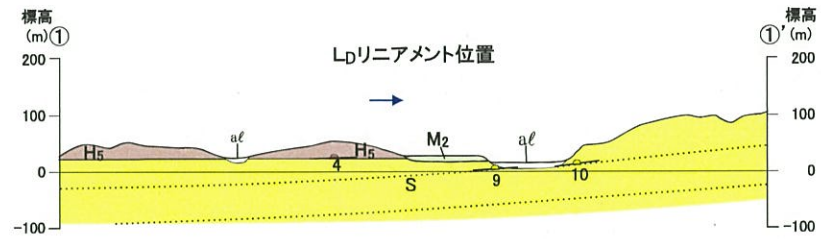
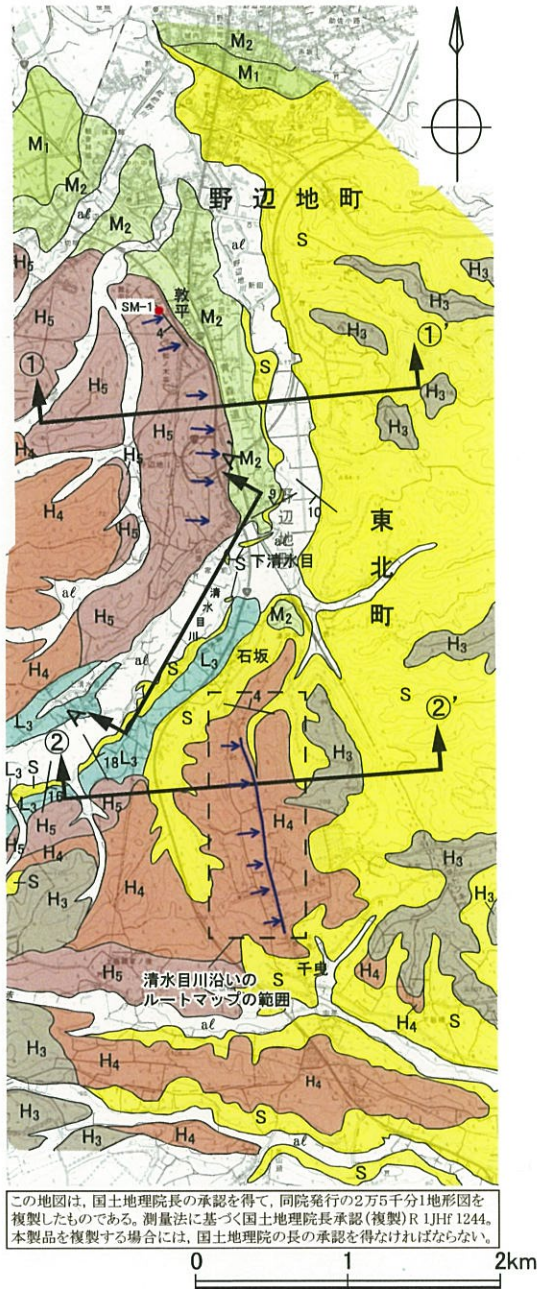


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHr 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



凡 例			
	表土・改善土		十和田レッド火山灰(To-Rd)
	砂質火山灰		洞爺火山灰(Toya)
	火山灰		その他の軽石・火山礫層
	オレンジ軽石(OrP)		層相境界線
	甲地軽石(KP)		↓ ↓ 段丘面上の急傾斜部
	粘土質火山灰		↓ ↓ 矢印の方向は傾斜方向を示す。
	細～中粒砂(古砂丘砂層)		

第3.2-88図 東北町緑町付近の露頭スケッチ図
3-3-311



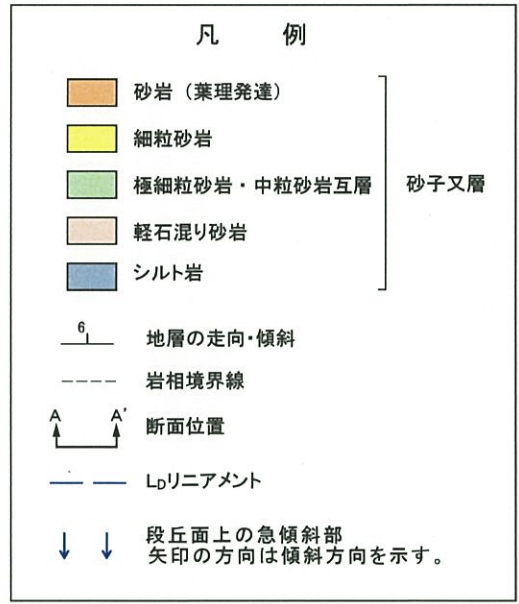
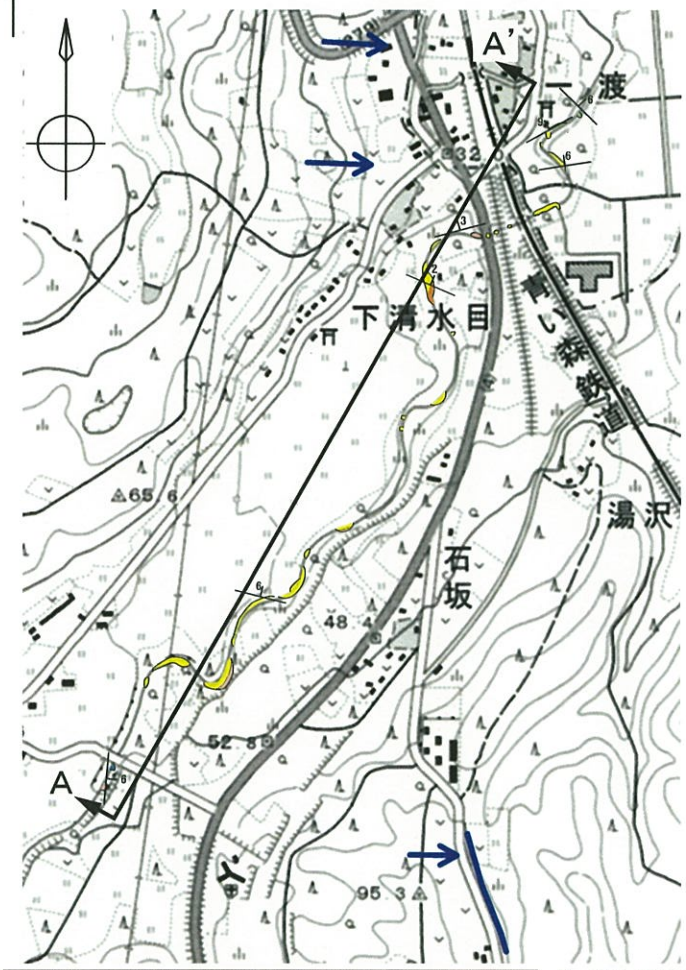
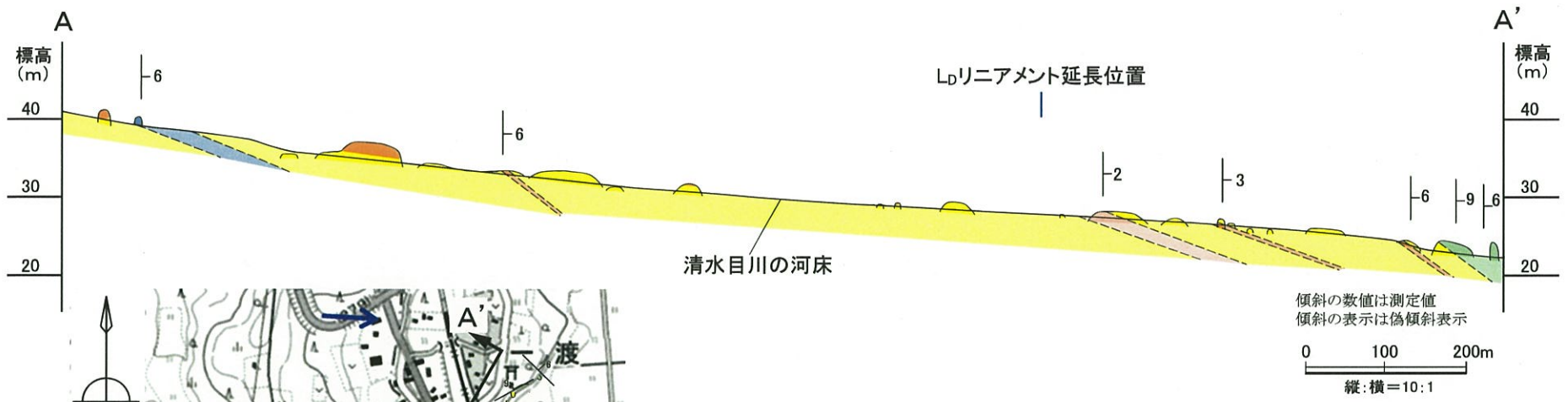
傾斜の数値は測定値
傾斜の表示は偽傾斜表示

0 250 500m
縦:横=2:1

凡 例

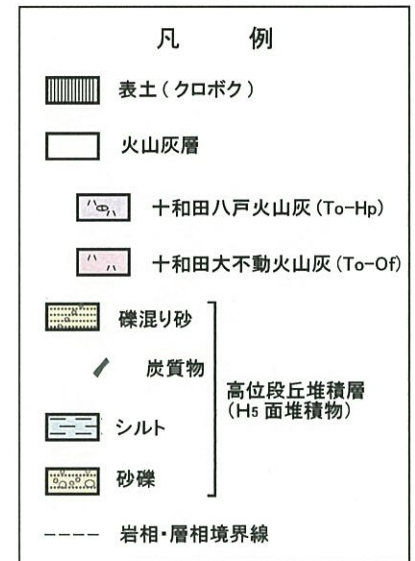
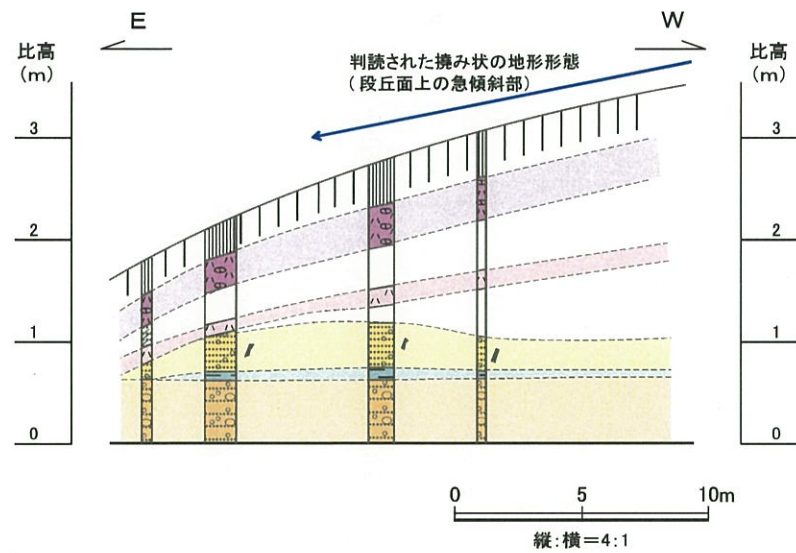
- | | |
|--|---------------------------------|
| al 沖積低地堆積層 | $\frac{10}{1}$ 地層の走向・傾斜 |
| L₃ 低位段丘堆積層(L ₃ 面堆積物) | — 地層境界線 |
| M₂ 中位段丘堆積層(M ₂ 面堆積物) | 層理 |
| M₁ 中位段丘堆積層(M ₁ 面堆積物) | A ↑ A' 断面位置 |
| H₅ 高位段丘堆積層(H ₅ 面堆積物) | — LDリニアメント |
| H₄ 高位段丘堆積層(H ₄ 面堆積物) | ↓ ↓ 段丘面上の急傾斜部
矢印の方向は傾斜方向を示す。 |
| H₃ 高位段丘堆積層(H ₃ 面堆積物) | ○ 露頭位置 |
| S 砂子又層 | SM-1 ● 露頭スケッチ位置 |

第3.2-89図 東北町清水目川周辺の地質平面図及び地質断面図
3-3-312

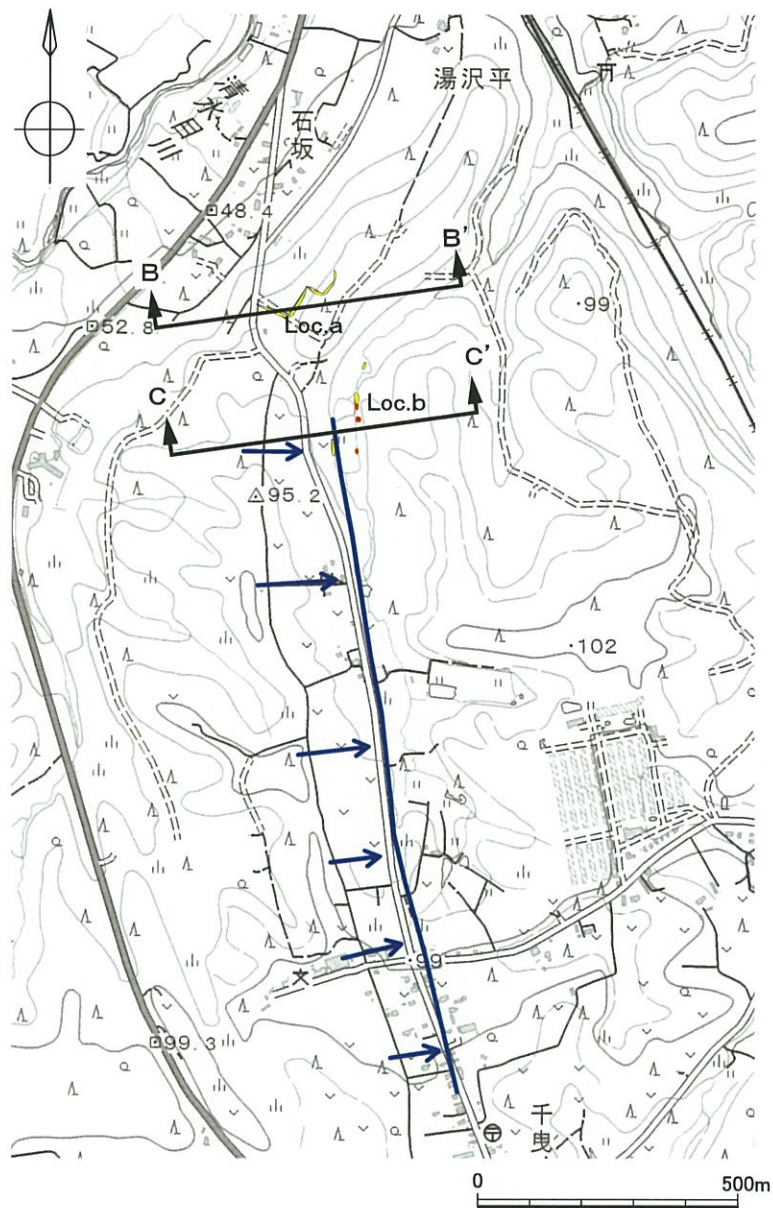


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

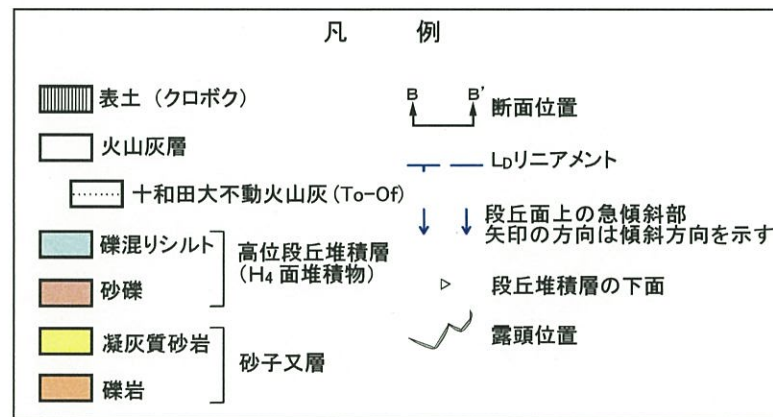
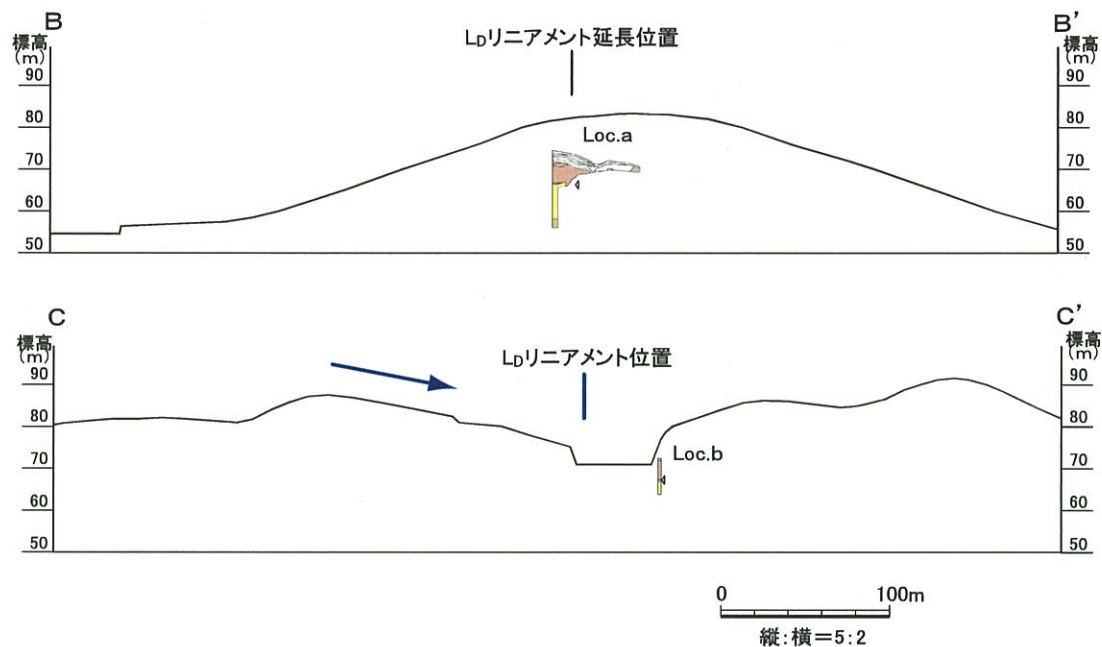
第3.2-90図 東北町下清水目の清水目川沿いのルートマップ
3-3-313



第3.2-91図 野辺地町敦平付近の露頭スケッチ図 (SM-1露頭)



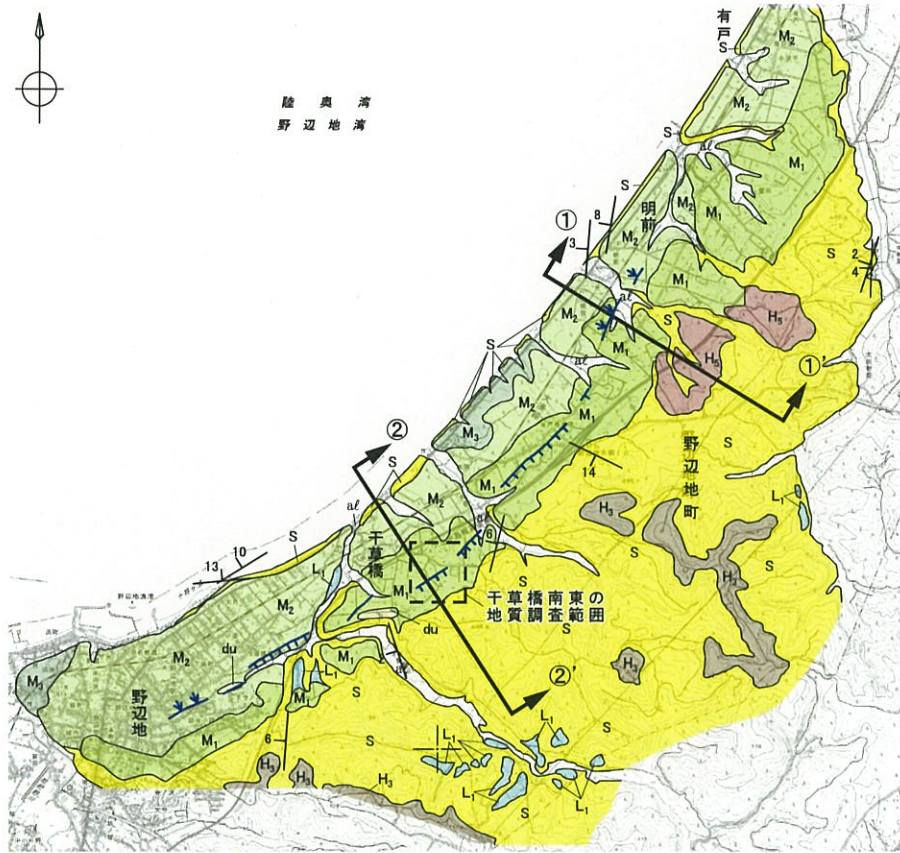
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



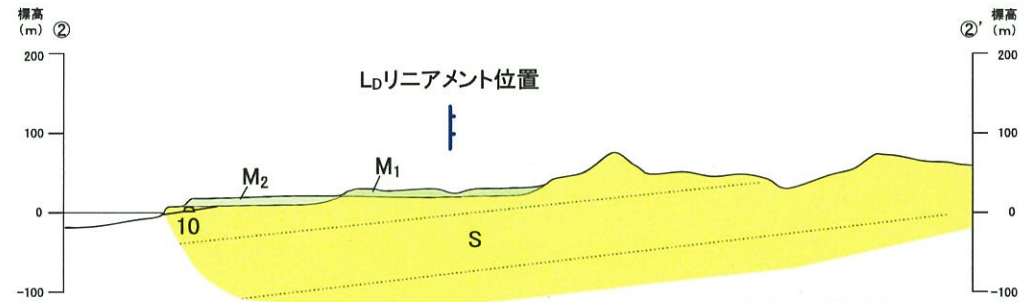
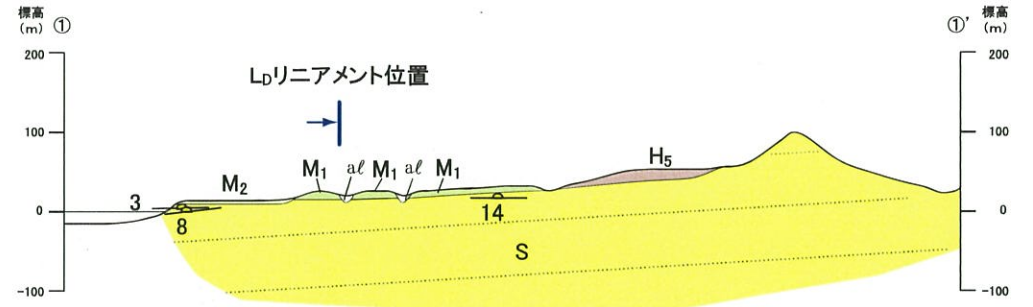
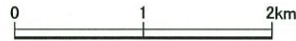
第3.2-92図 東北町石坂付近の露頭対比図



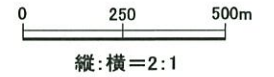
陸奥湾
野辺地湾



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

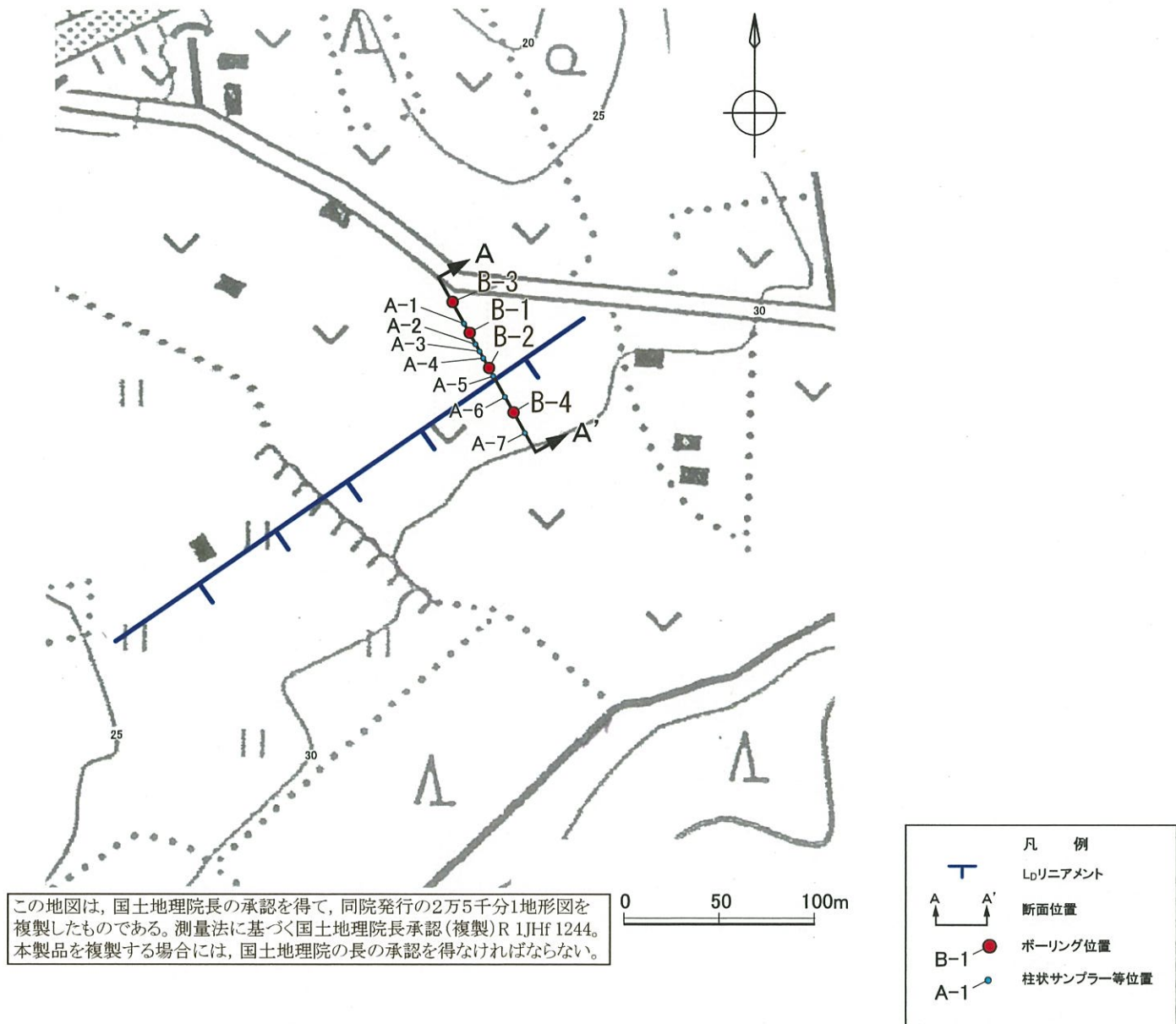


傾斜の数値は測定値
傾斜の表示は偽傾斜表示

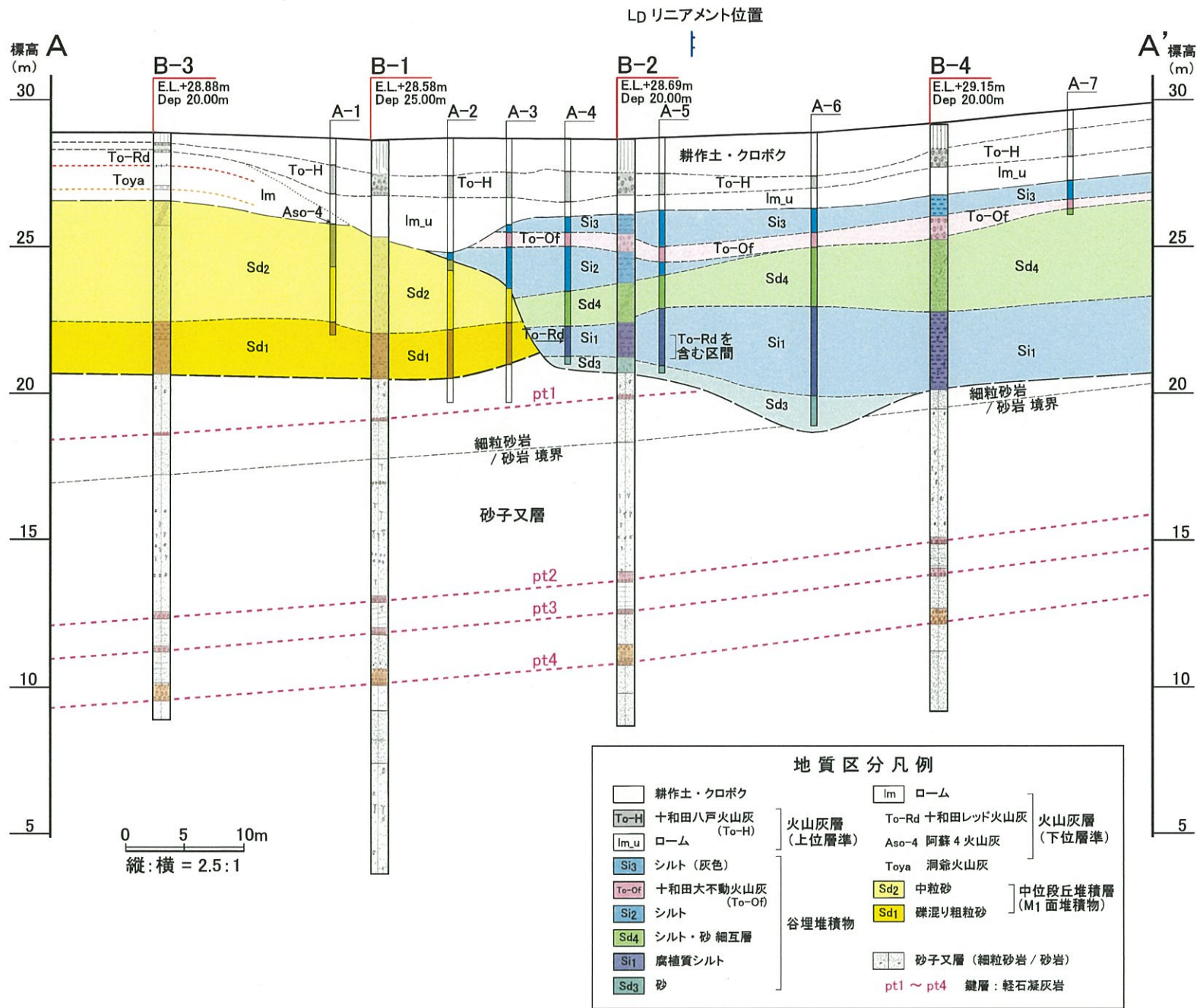


凡 例			
al	沖積低地堆積層	10	地層の走向・傾斜
du	砂丘砂層	—	地層境界線
L ₁	低位段丘堆積層(L ₁ 面堆積物)	層理
M ₃	中位段丘堆積層(M ₃ 面堆積物)	① ①'	断面位置
M ₂	中位段丘堆積層(M ₂ 面堆積物)	—	L _p リニアメント
M ₁	中位段丘堆積層(M ₁ 面堆積物)	↓	段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は傾斜方向を示す。
H ₅	高位段丘堆積層(H ₅ 面堆積物)	▲	露頭
H ₃	高位段丘堆積層(H ₃ 面堆積物)		
S	砂子又層		

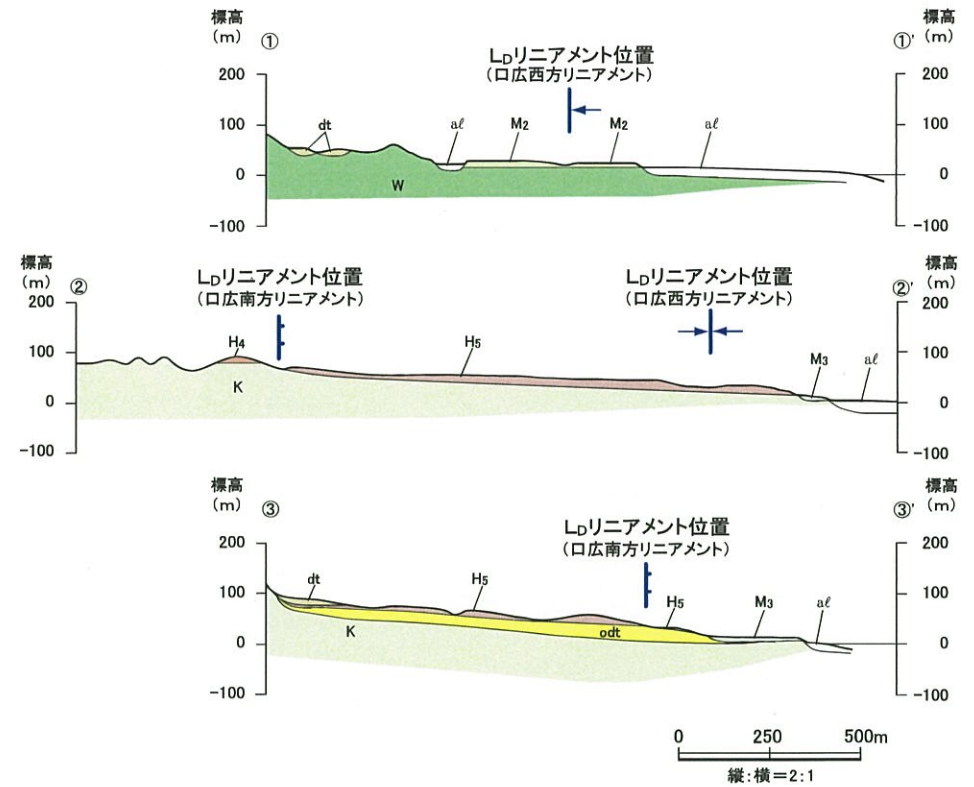
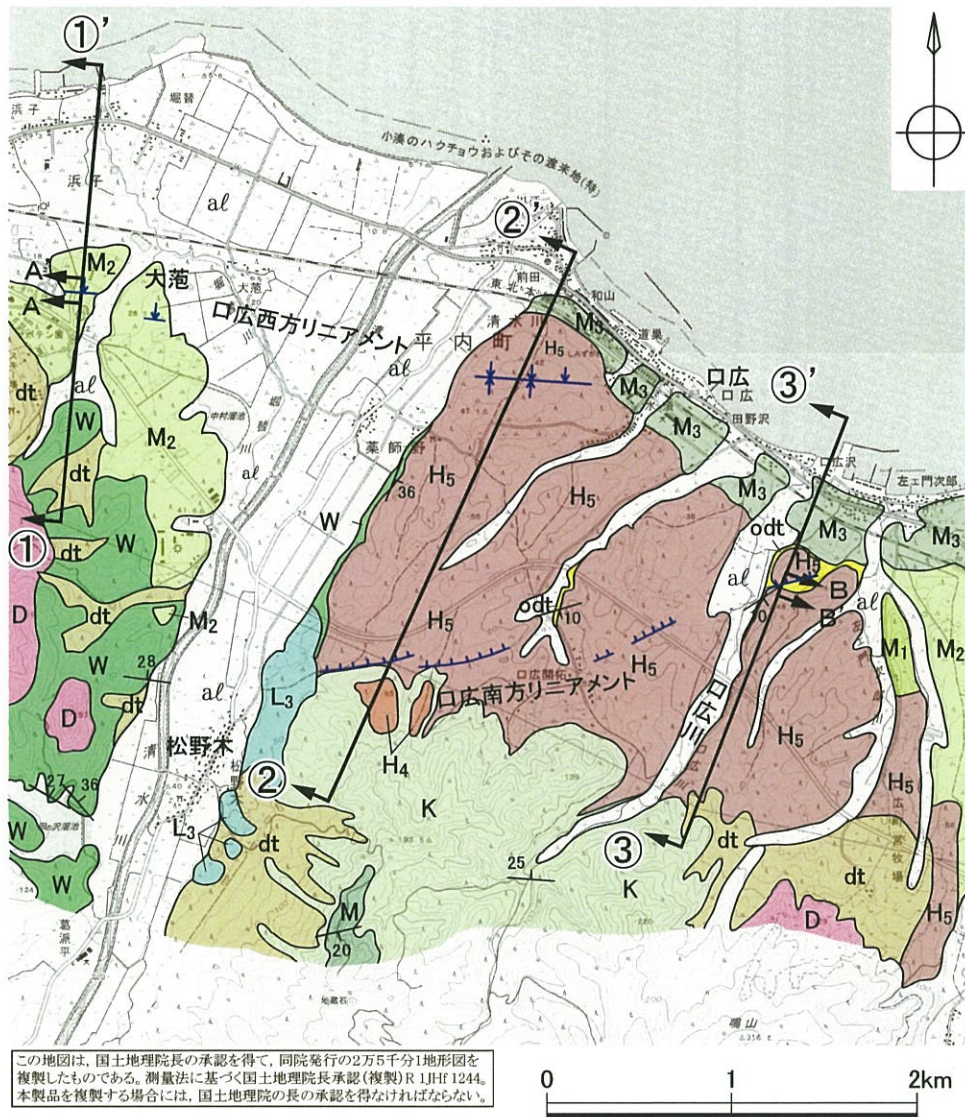
第3.2-93図 野辺地町有戸南方周辺の地質平面図及び地質断面図



第3.2-94図 野辺地町干草橋南東の地質調査位置図
3-3-317

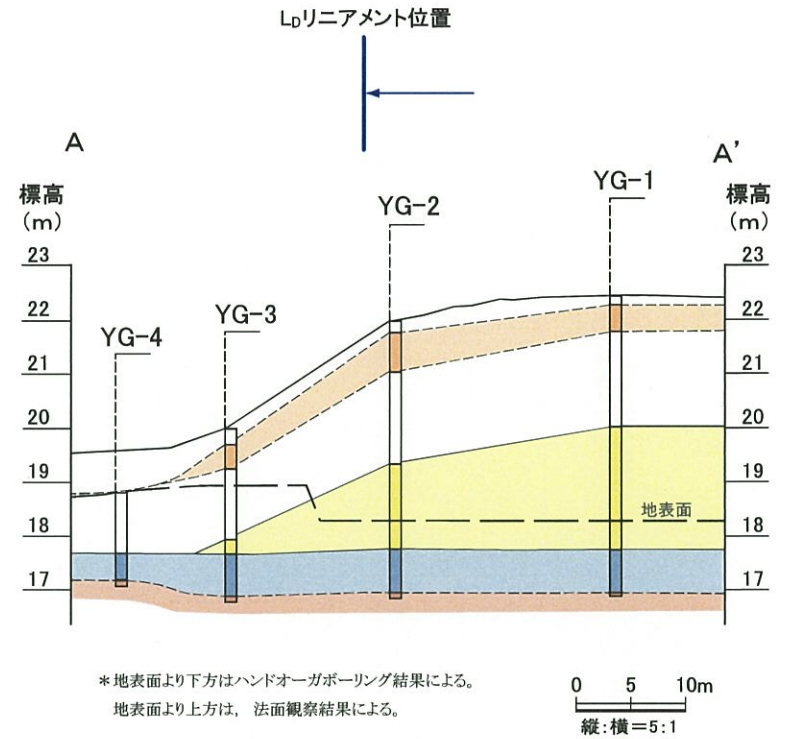


第3.2-95図 野辺地町干草橋南東の地質調査結果図
3-3-318



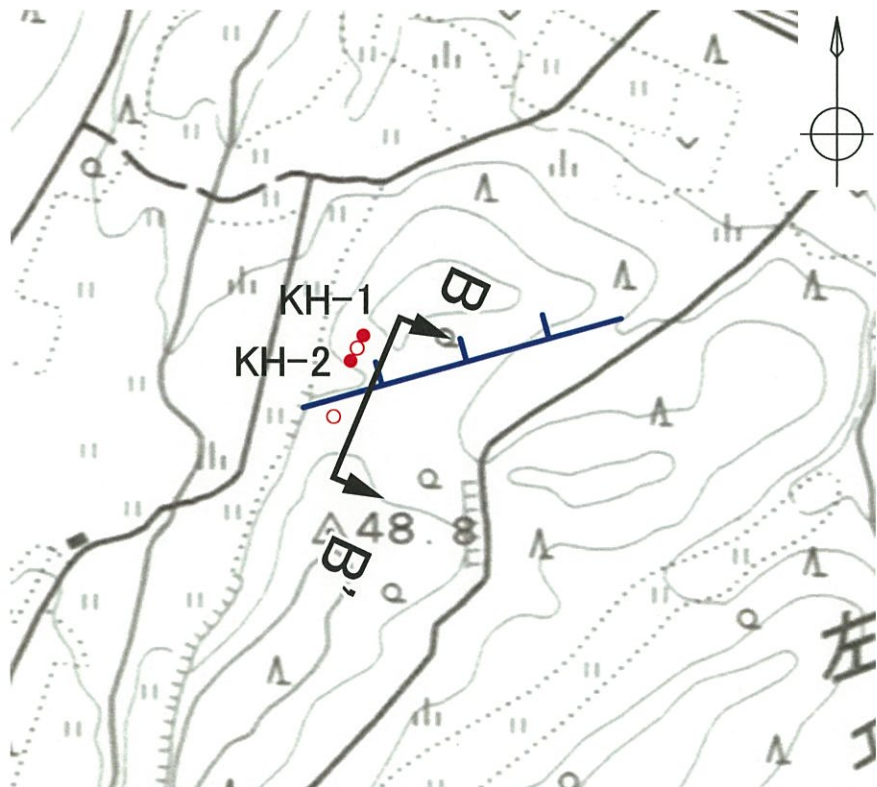
凡 例			
al	沖積低地堆積層	10	地層の走向・傾斜
dt	崖錐堆積層	—	地層境界線
L ₃	低位段丘堆積層 (L ₃ 面堆積物)	① ①'	断面位置
M ₃	中位段丘堆積層 (M ₃ 面堆積物)	—	L _D リニアメント
M ₂	中位段丘堆積層 (M ₂ 面堆積物)	↓ ↓	段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は 傾斜方向を示す。
M ₁	中位段丘堆積層 (M ₁ 面堆積物)		
H ₅	高位段丘堆積層 (H ₅ 面堆積物)		
H ₄	高位段丘堆積層 (H ₄ 面堆積物)		
odt	古期扇状地堆積層 (古期低地堆積層)		
M	松倉山層		
K	小坪川層		
W	和田川層		
D	貫入岩		

第3.2-96図 平内町口広周辺の地質平面図及び地質断面図

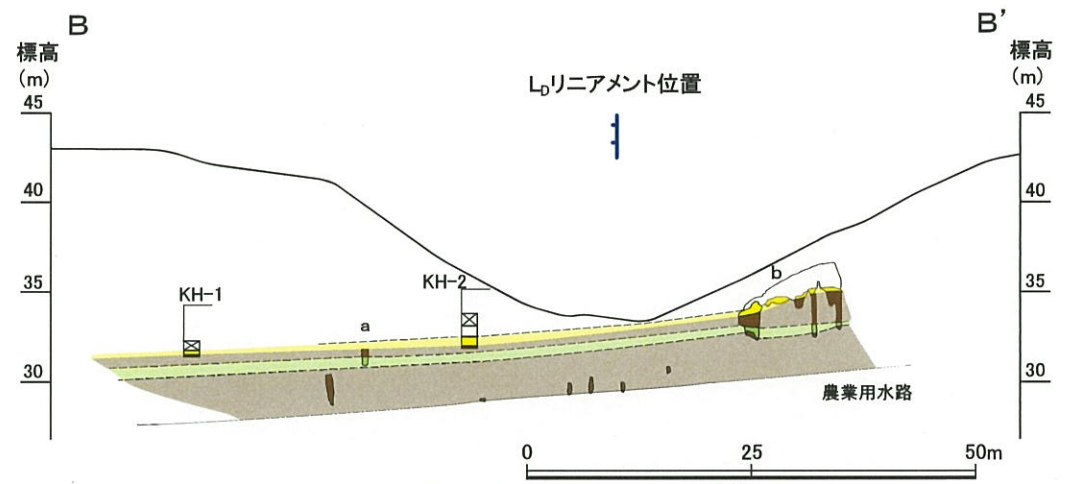


凡 例	
<ul style="list-style-type: none"> 砂質火山灰 粘土質火山灰 	火山灰層
<ul style="list-style-type: none"> 砂質火山灰・砂 	風成砂層
<ul style="list-style-type: none"> シルト 砂礫 	中位段丘堆積層 (M ₂ 面堆積物)
—	地層境界線
- - -	岩相境界線
↑ A ↑ A'	断面位置
—	LDリニアメント
↓ ↓	段丘面上の急傾斜部
↘ ↙	矢印の方向は傾斜方向を示す。
● YG-1	ハンドオーガボーリング位置

第3.2-97図 平内町大菴西方の柱状対比図
3-3-320



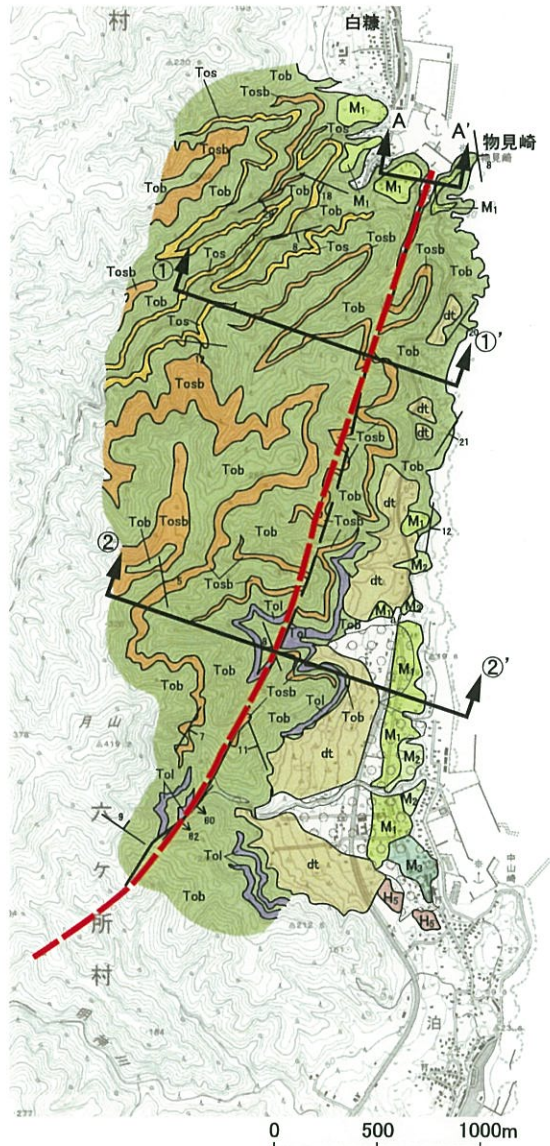
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



※ 露頭位置は、B-B'断面線方向へ垂直に投影して図示

凡 例	
	砂礫(崖錐堆積層)
	軽石混り砂質火山灰(火山灰層)
	凝灰質砂
	礫 (古期扇状地堆積物)
	細粒砂
	岩相境界線
	断面位置
	L ₀ リニアメント
	露頭位置
	KH-1 ハンドオーガボーリング位置

第3.2-98図 平内町口広南方の口広川右岸の露頭柱状対比図
3-3-321

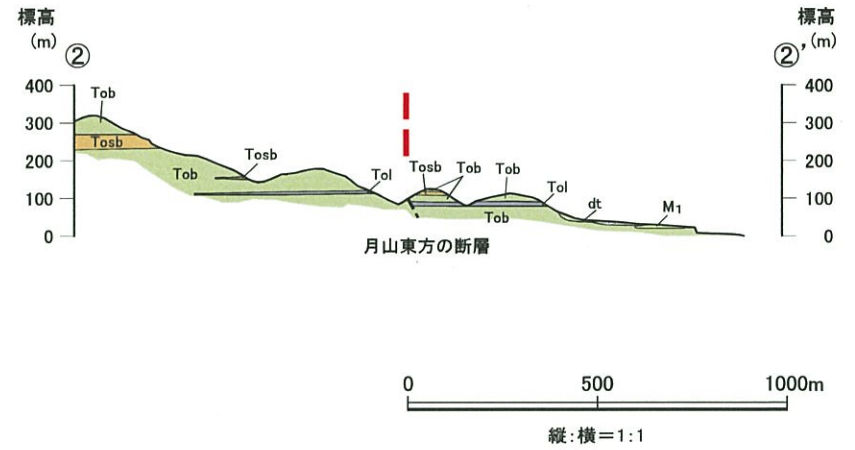
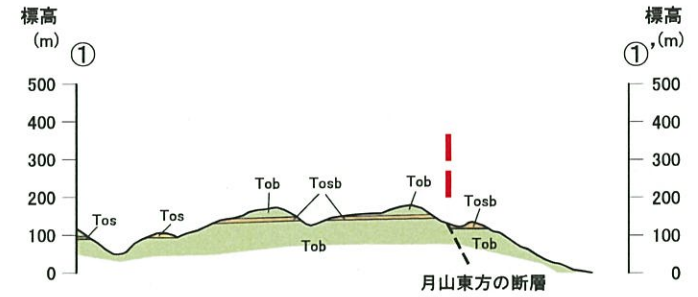


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

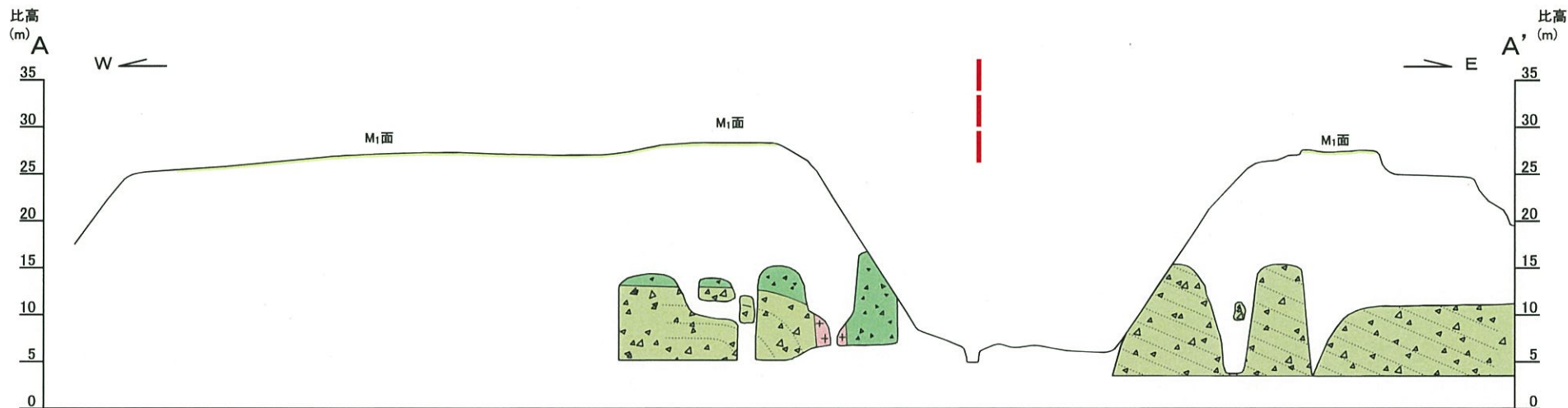


凡 例	
al	沖積低地堆積層
dt	崖錐堆積層
M ₃	中位段丘堆積層 (M ₃ 面堆積物)
M ₂	中位段丘堆積層 (M ₂ 面堆積物)
M ₁	中位段丘堆積層 (M ₁ 面堆積物)
H ₅	高位段丘堆積層 (H ₅ 面堆積物)
(Green shaded area)	古期扇状地堆積層 (着色部は段丘面を覆う範囲)
Tol	安山岩溶岩
Tob	凝灰角礫岩
Tosb	砂質凝灰角礫岩
Tos	凝灰質砂岩
} 泊層	
7	地層の走向・傾斜
60	断層の走向・傾斜
(Solid line)	地層境界線・岩相境界線
(Dashed line)	断層線(---部は推定)
① ①'	断面位置

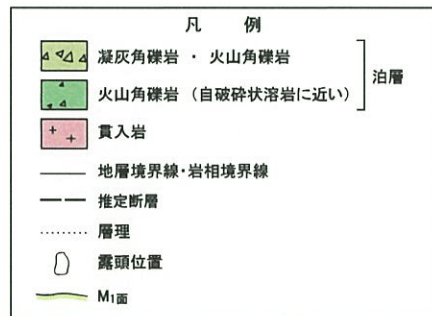
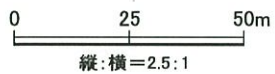
— 活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント



第3.2-99図 月山東方の断層周辺の地質平面図及び地質断面図
3-3-322

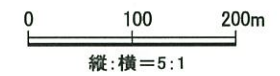
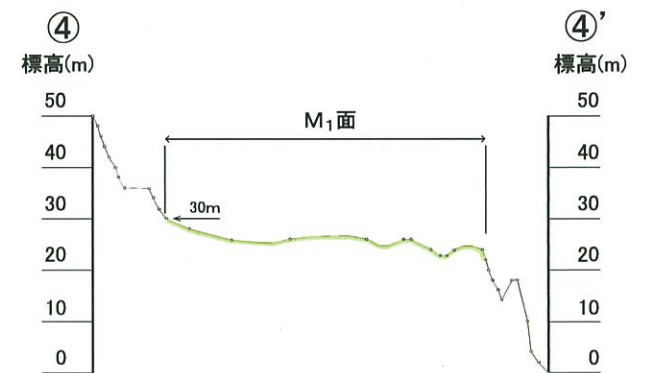
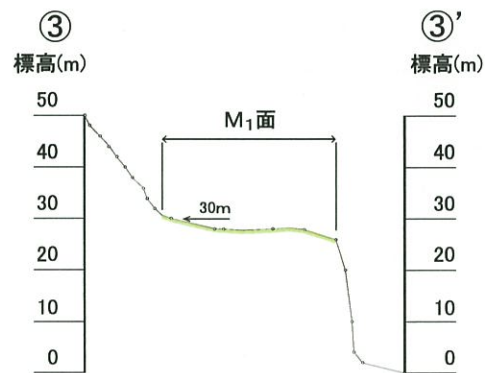
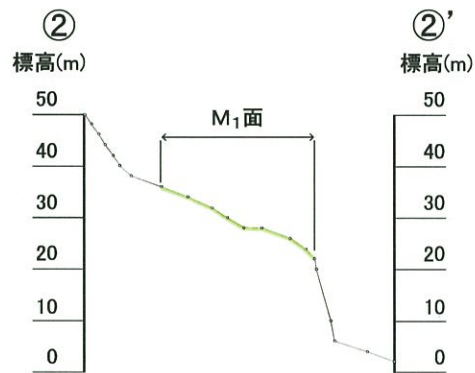
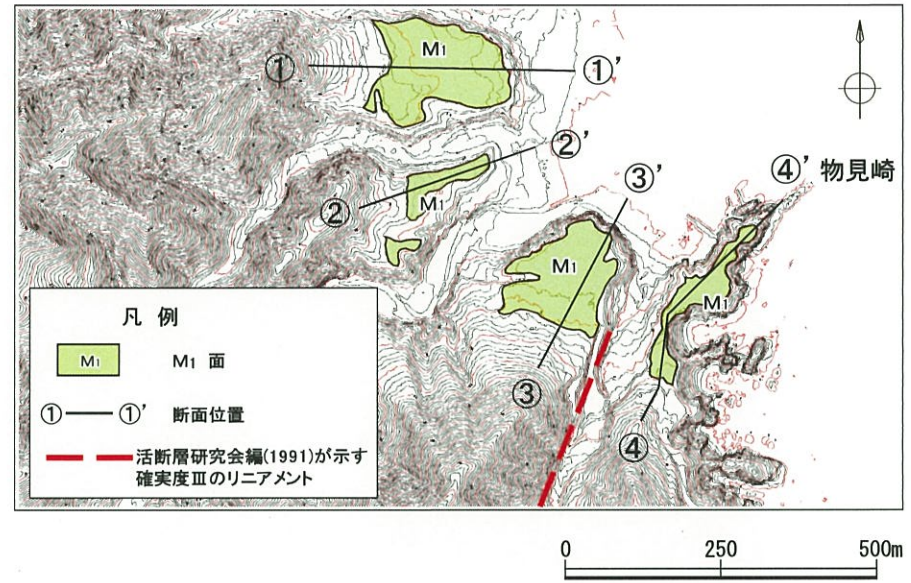
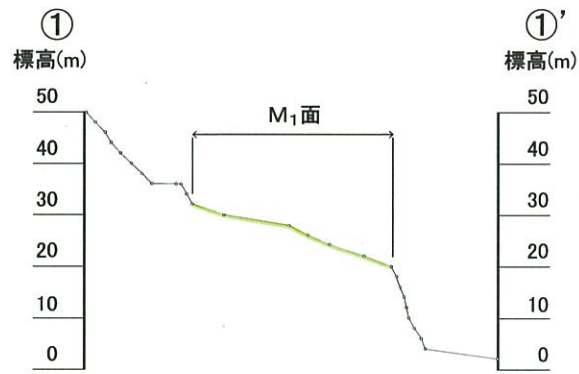


月山東方の断層はこの谷部に推定される

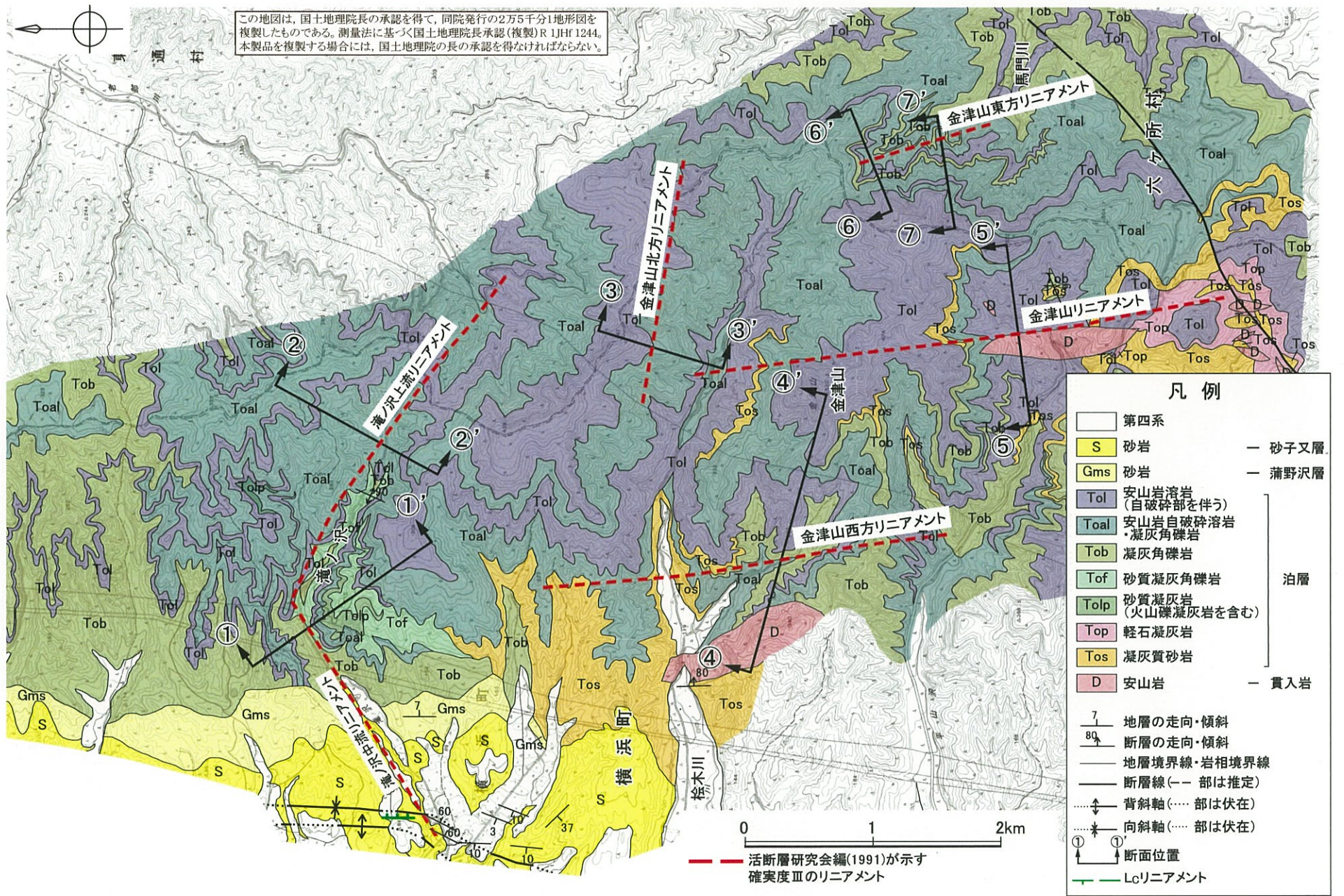


— 活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント

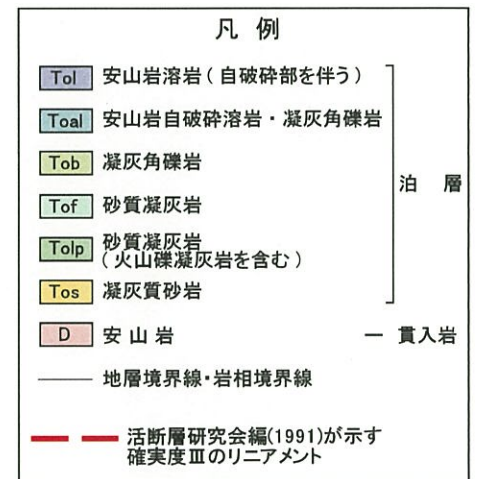
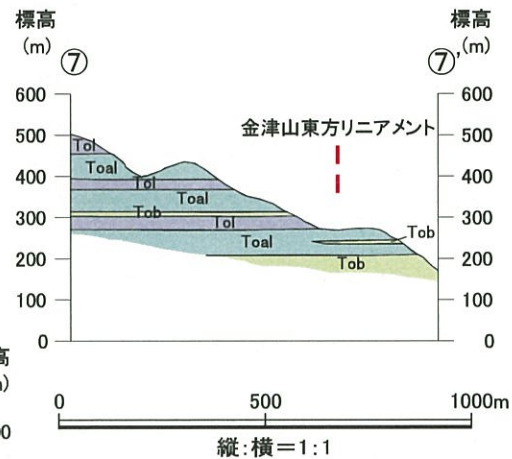
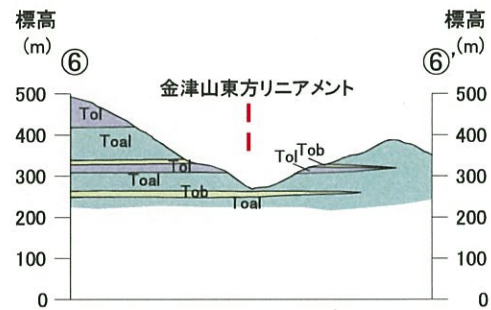
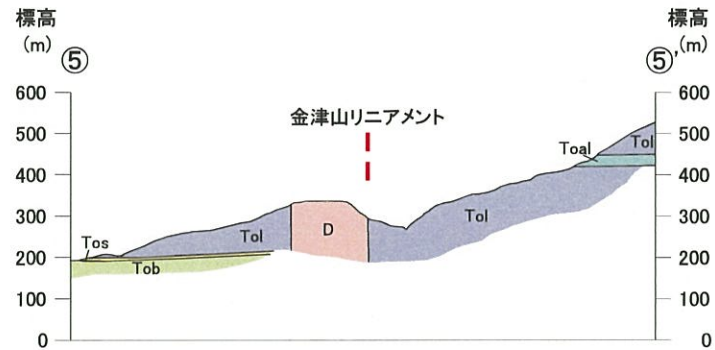
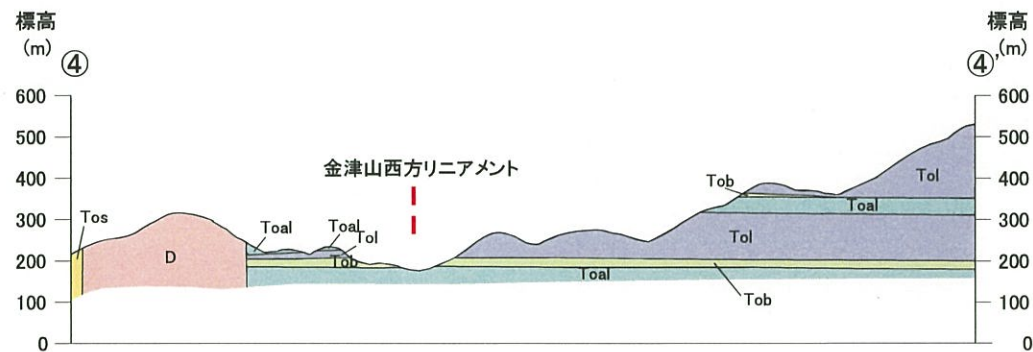
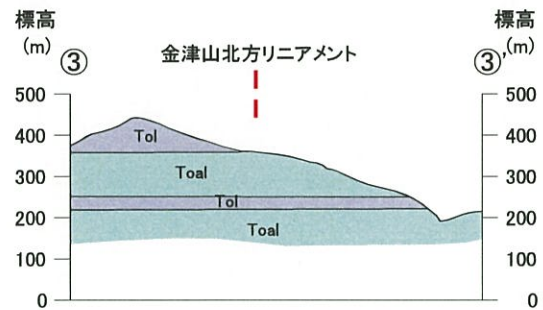
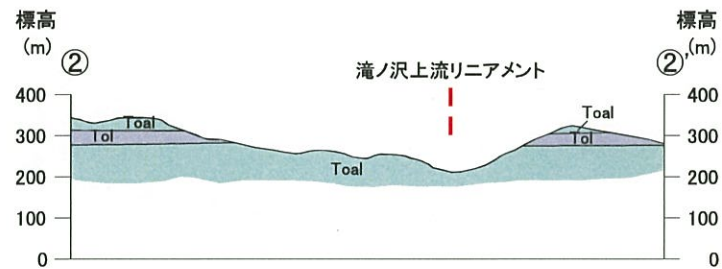
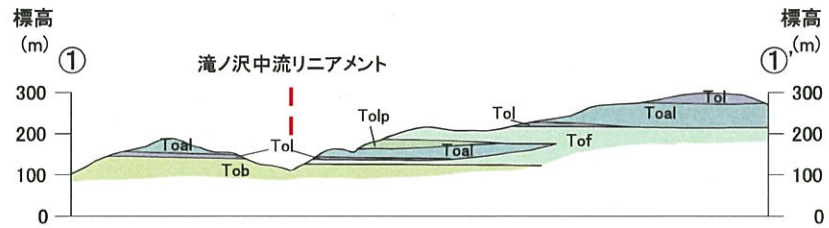
第3.2-100図 東通村白糠南方の物見崎付近の地質断面図



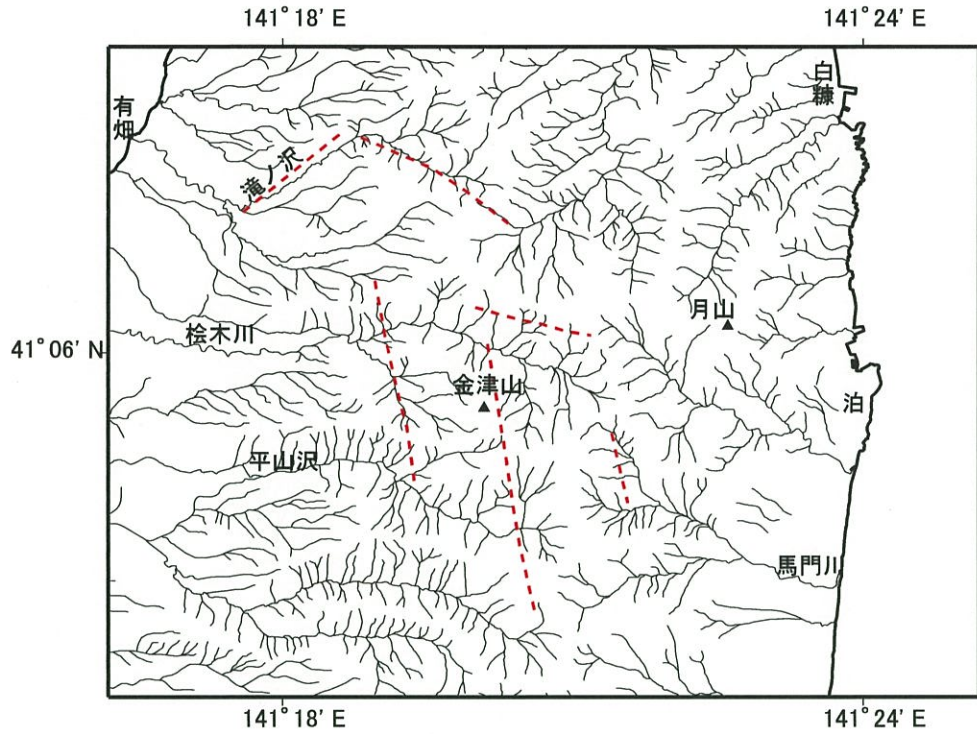
第3.2-101図 東通村白糠南方の物見崎付近の地形断面図
3-3-324



第3.2-102図 金津山周辺の地質平面図

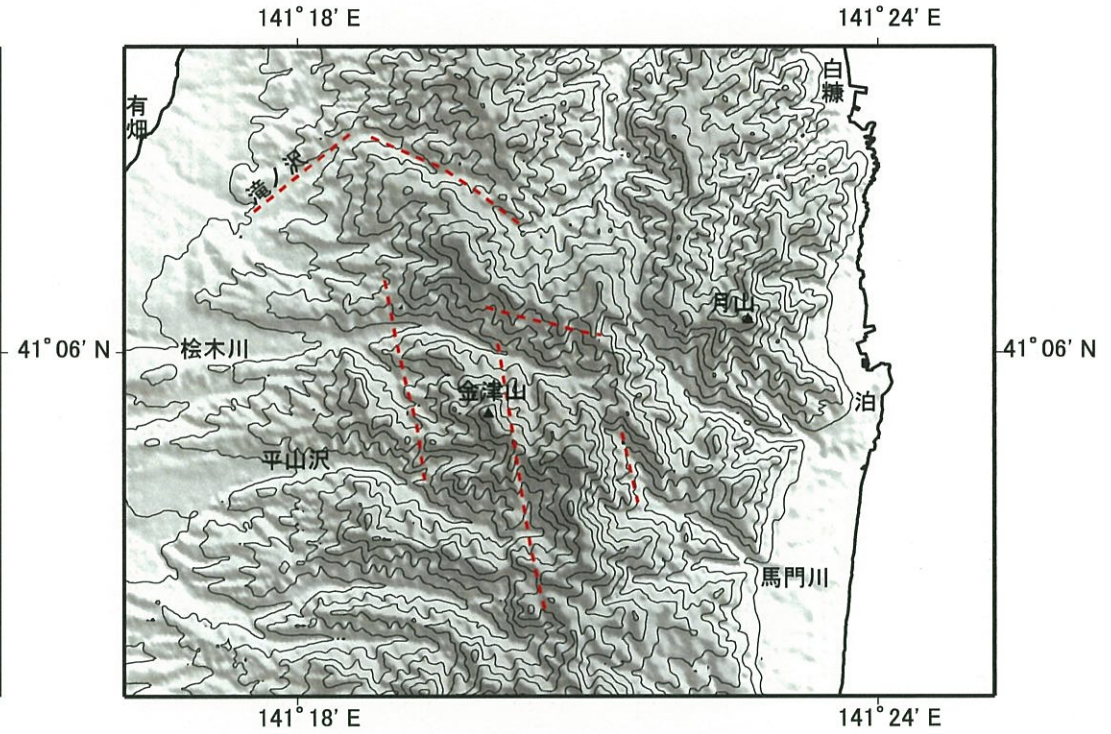


第3.2-103図 金津山周辺の地質断面図



水系図

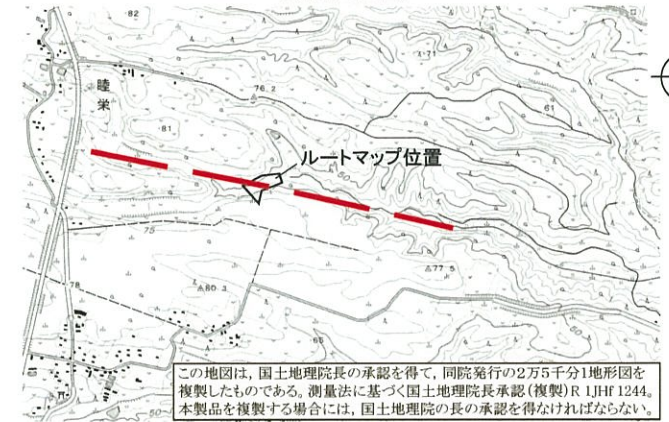
----- 活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント



接峰面図

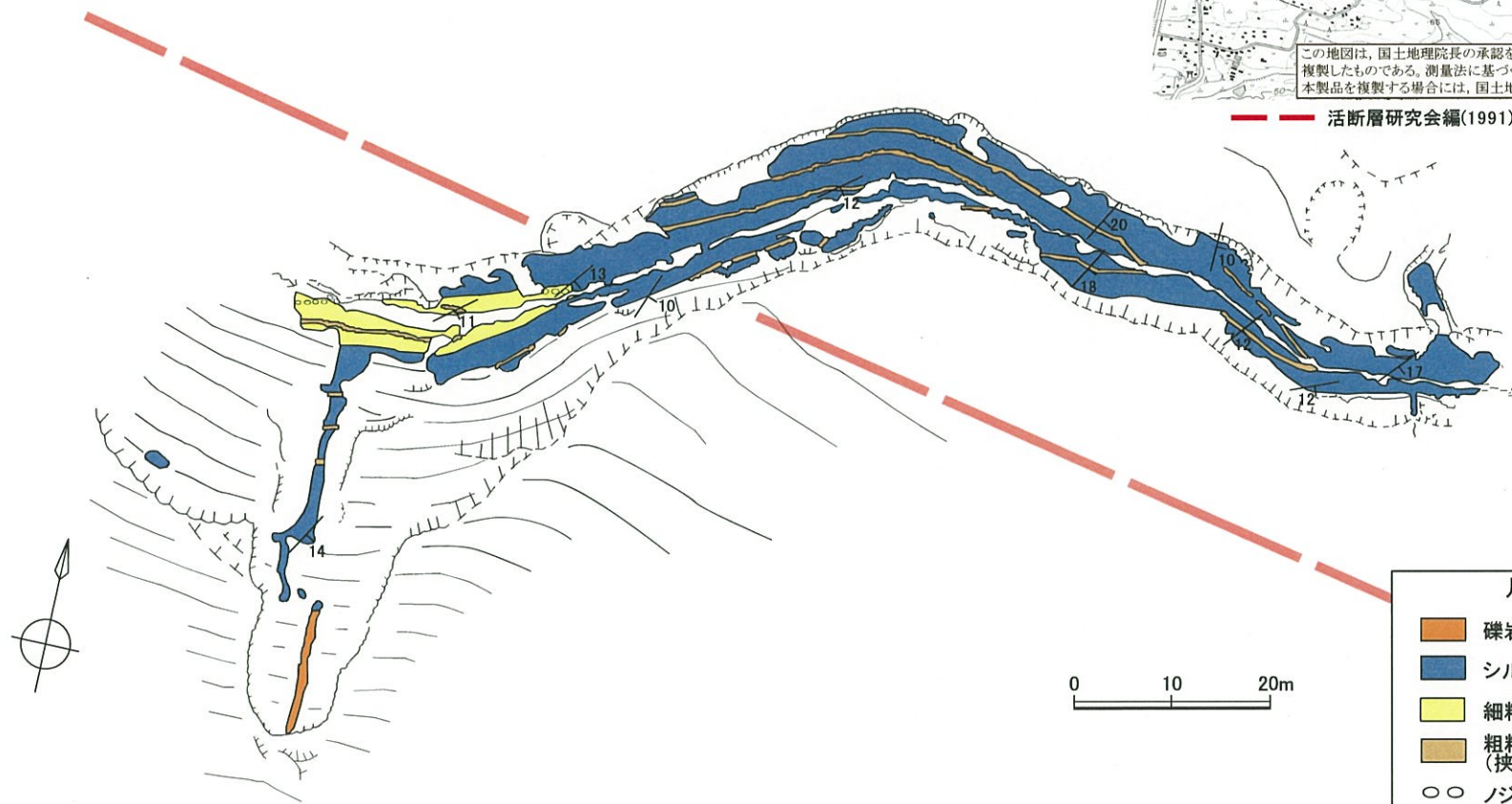
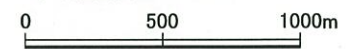
※本陰影図は国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を用いて作成した。

露头位置図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

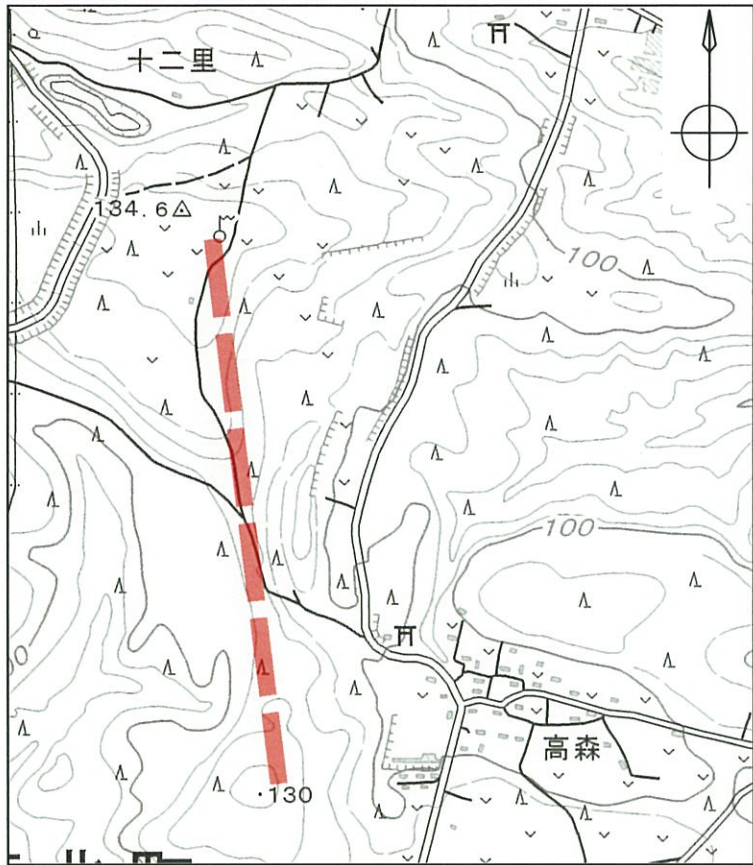
--- 活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント



凡 例	
■ 礫岩	— 砂子又層
■ シルト岩	} 鷹架層
■ 細粒砂岩	
■ 粗粒砂岩 (挟み層)	
○ ○ ノジュール	
10 地層の走向・傾斜	
— 地層境界線・岩相境界線	

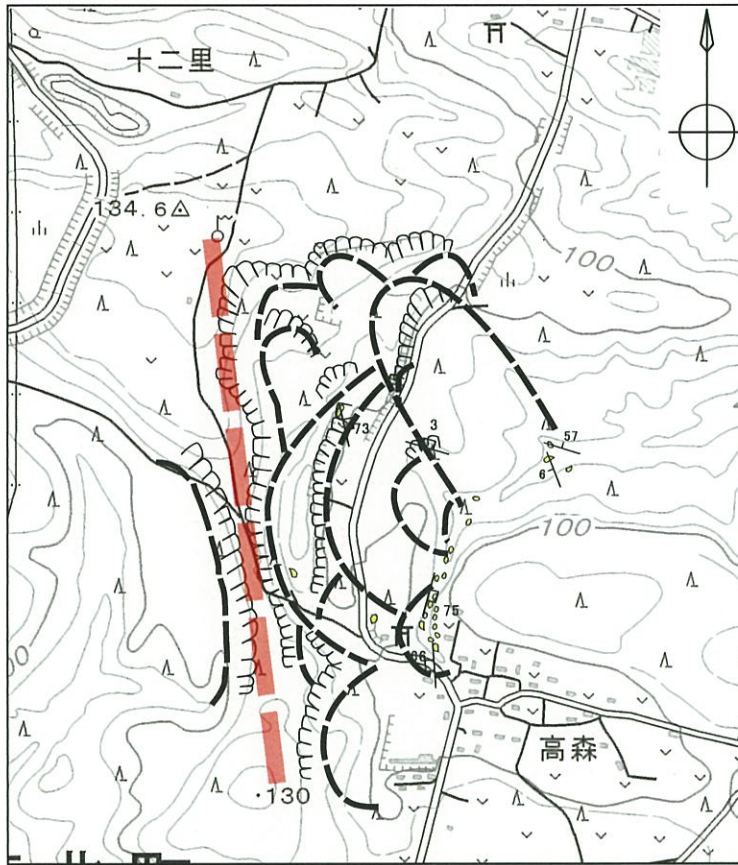
第3.2-105図 六ヶ所村千歳平の河床ルートマップ
3-3-328

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



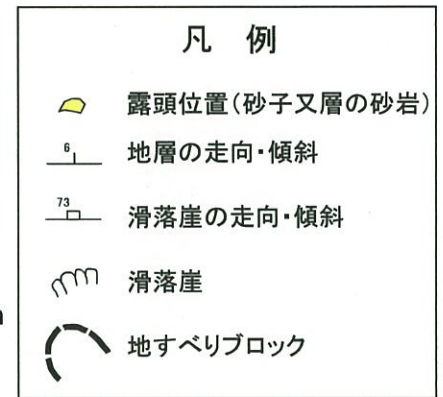
0 250 500m

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

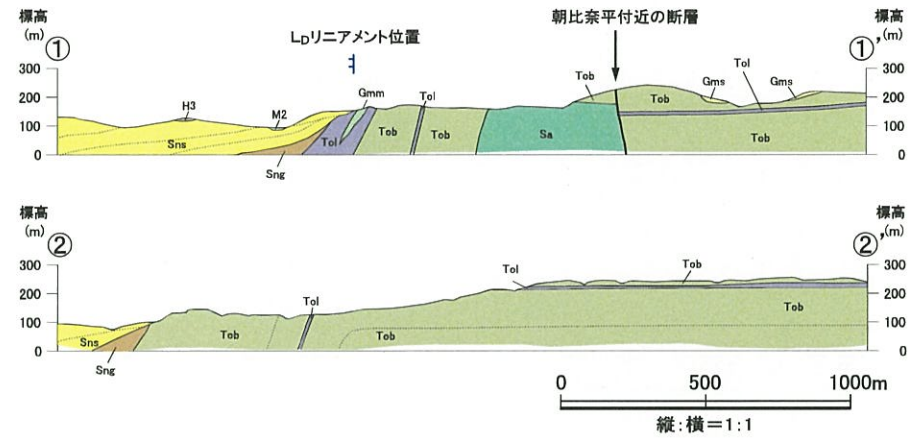
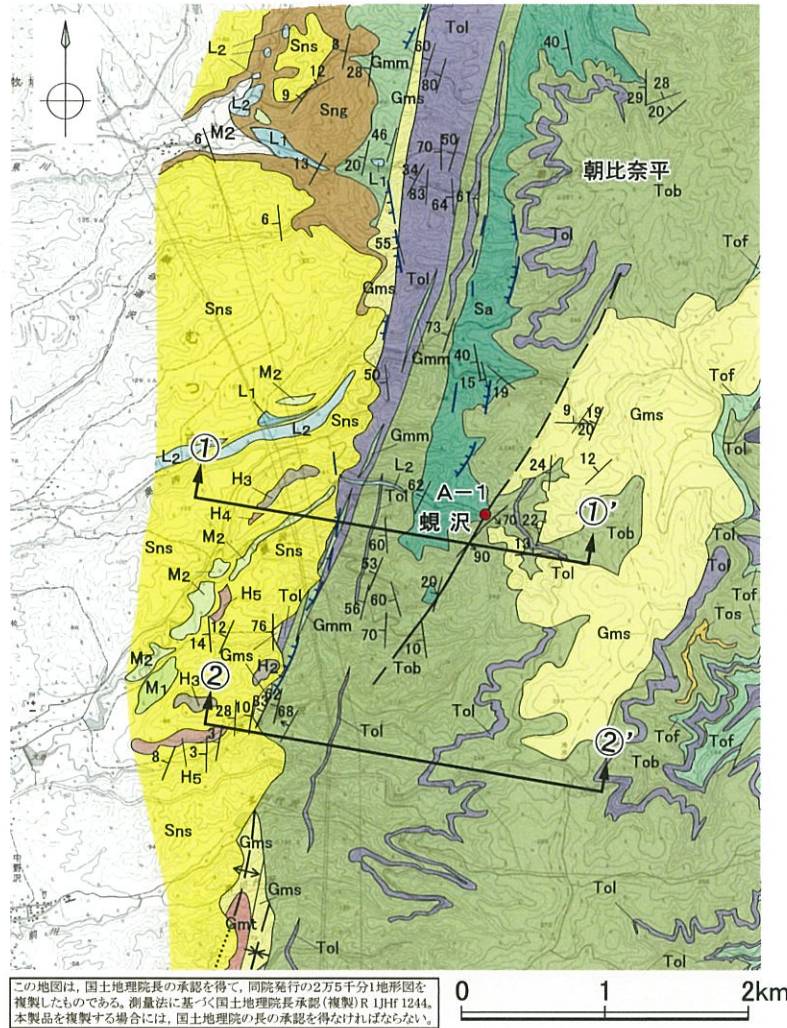


地表踏査による地すべり地形分布図

0 250 500m

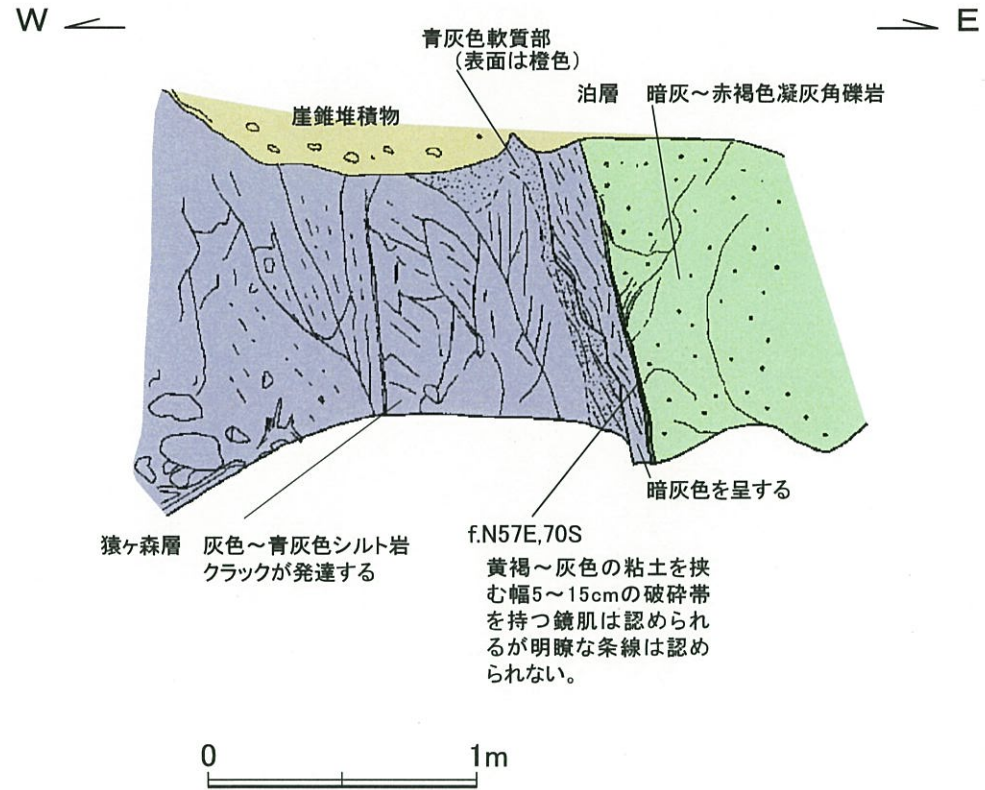


— — — 活断層研究会編(1991)が示す
確実度Ⅲのリニアメント

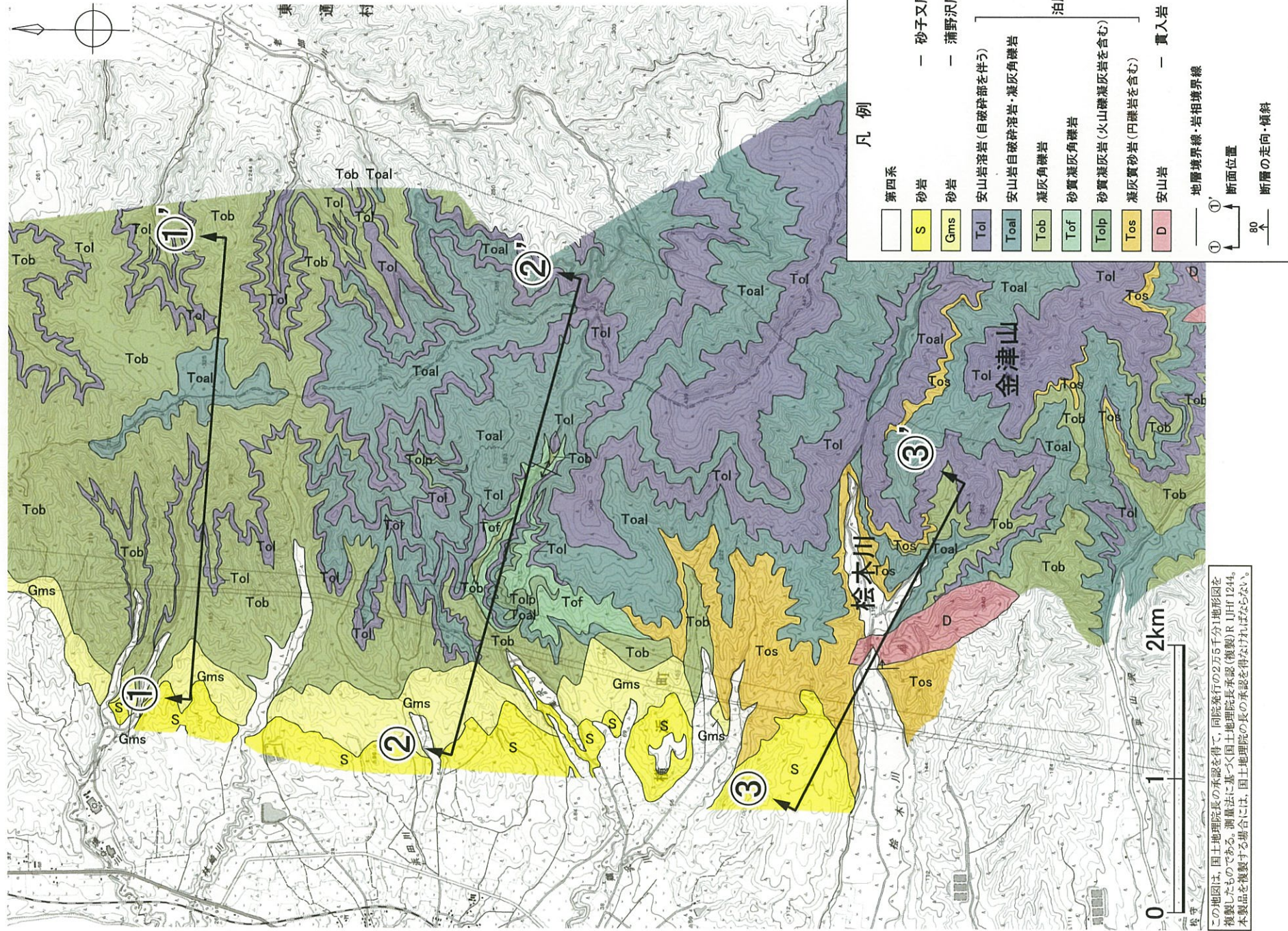


凡 例		凡 例		
地質時代	地層名	記号		
完新世	砂丘砂層	du	8	
	沖積低地堆積層	al	68 ↑	
第 更 四 新 紀 世	後期	低位段丘堆積層	L2 L1	
		中位段丘堆積層	M2 M1	
	中期	高位段丘堆積層	H5	背斜軸(……部は伏在)
			H4	背斜軸(推定)
			H3	向斜軸(……部は伏在)
前期	砂子又層	H2	向斜軸(推定)	
		Sns	層理	
鮮新世	砂子又層	Sng	LDリニアメント	
新中 第三 紀 世	中期	Gmm	断层面位置	
		Gms	露頭位置	
		Gmt		
	前期	Gmg		
		Tol	泥岩	
		Tob	砂岩	
		Tof	凝灰岩	
泊層	Tos	凝灰岩		
	Tos	凝灰質砂岩		
猿ヶ森層	Sa	砂岩・砂岩		

第3.2-107図 朝比奈平周辺の地質平面図及び地質断面図
3-3-330



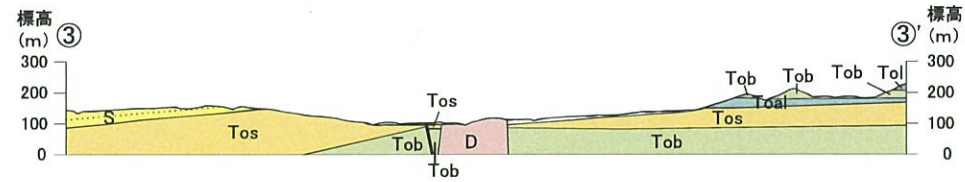
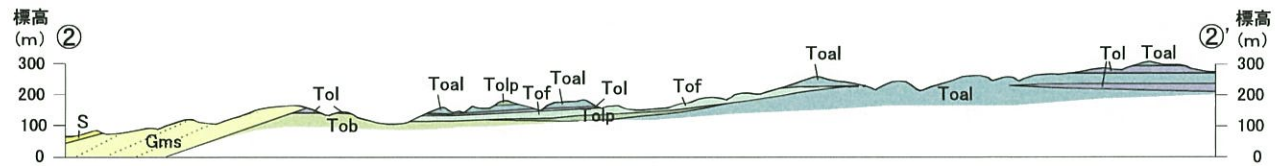
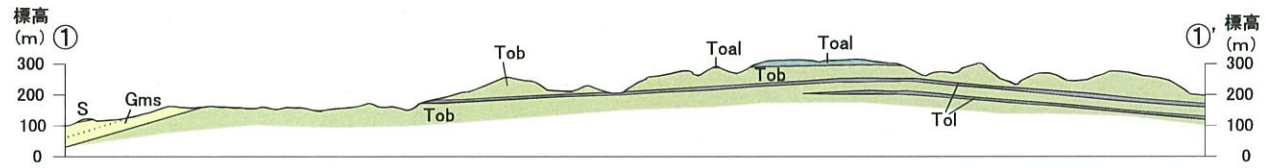
第3.2-108図 むつ市蜷沢上流付近の断層露頭スケッチ図 (A-1 露頭)



凡例

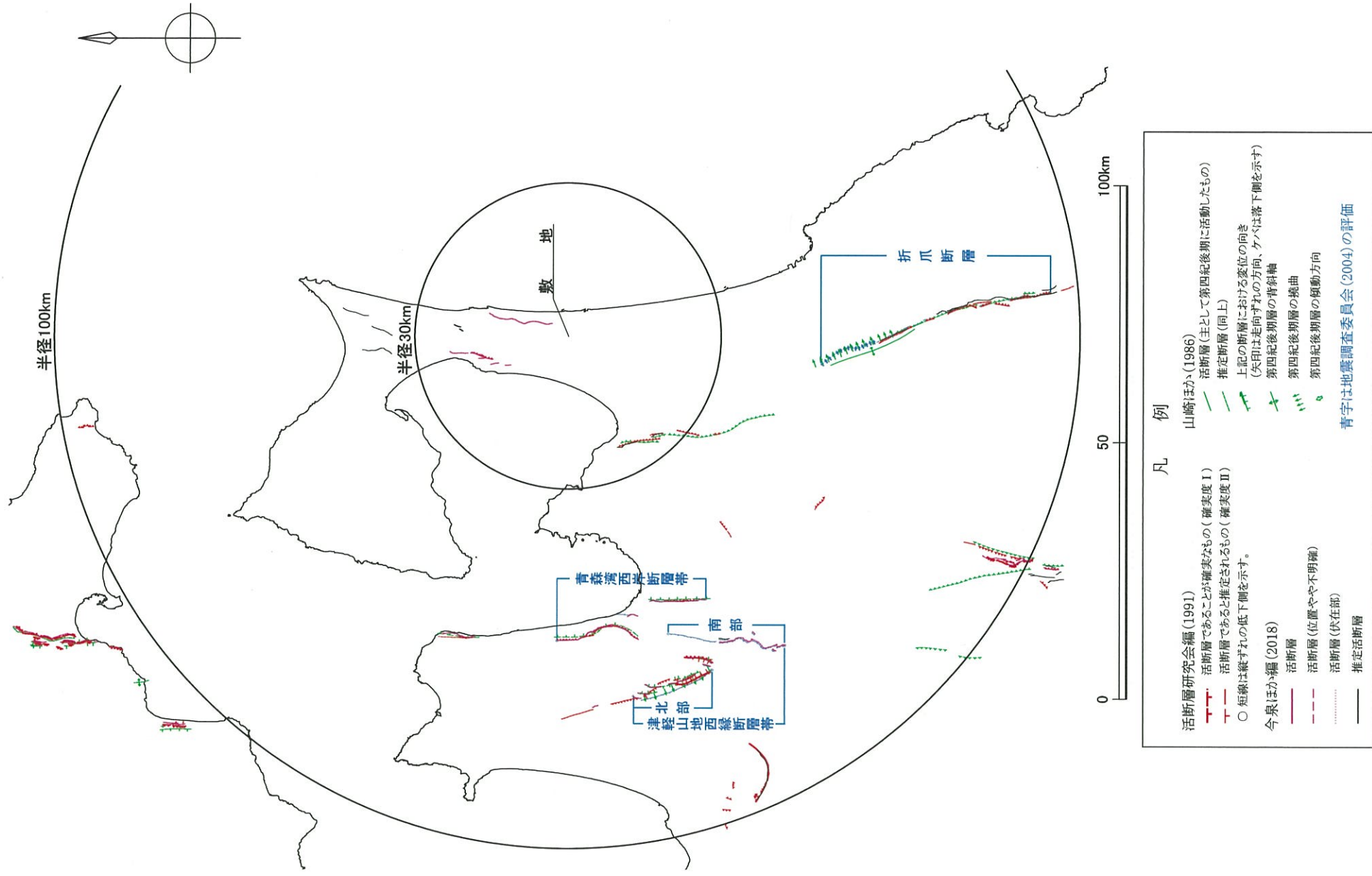
第四系	砂子又層
S	砂岩
Gms	砂岩
Tol	安山岩落岩(自破砕部を伴う)
Toal	安山岩自破砕落岩・凝灰角礫岩
Tob	凝灰角礫岩
Tof	砂質凝灰角礫岩
Tolp	砂質凝灰岩(火山凝灰岩を含む)
Tos	凝灰質砂岩(円礫岩を含む)
D	安山岩
—	貫入岩
—	地層境界線・岩相境界線
①	断面位置
80	断層の走向・傾斜

第3.2-109図 松木川周辺の地質平面図



凡 例	
□ 第四系	
■ S 砂岩	— 砂子又層
■ Gms 砂岩	— 蒲野沢層
■ Tol 安山岩溶岩 (自破碎部を伴う)	} 泊層
■ Toal 安山岩自破碎溶岩・凝灰角礫岩	
■ Tob 凝灰角礫岩	
■ Tof 砂質凝灰角礫岩	
■ Toip 凝灰質砂岩 (火山礫凝灰岩を含む)	
■ Tos 凝灰質砂岩 (円礫岩を含む)	
■ D 安山岩	— 貫入岩
— 地層境界線・岩相境界線	
— 断層線	
..... 層理	

第3.2-110図 桧木川周辺の地質断面図
3-3-333



活断層研究会編 (1991)

- 活断層であることが確実なもの (確実度 I)
- - - 活断層であると推定されるもの (確実度 II)
- 短線は縦ずれの低下側を示す。

今泉ほか編 (2018)

- 活断層
- - - 活断層 (位置やや不明確)
- 活断層 (伏在部)
- 推定活断層

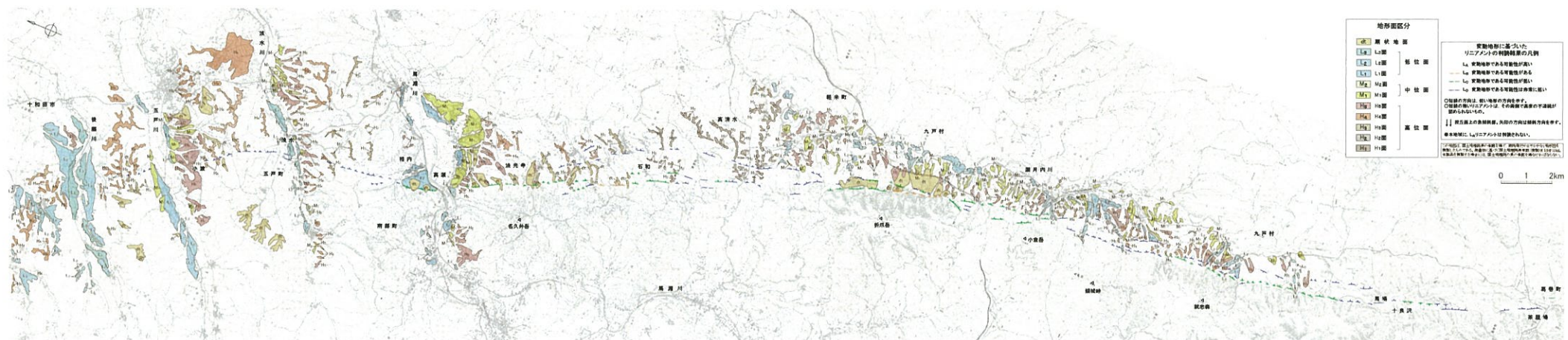
凡 例

山崎ほか (1986)

- 活断層 (主として第四紀後期に活動したもの)
- - - 推定断層 (同上)
- ▲ 上記の断層における変位の向き (矢印は走向ずれの方向、クバは落下側を示す)
- ▲ 第四紀後期層の背斜軸
- ▲ 第四紀後期層の拗曲
- ▲ 第四紀後期層の傾動方向

青字は地震調査委員会 (2004) の評価

第3.2-111図 敷地を中心とする半径100 k m 範囲の陸域の活断層分布図



地形図区分

■	特殊地区	
■	L4区	低位区
■	L4区	
■	L3区	中位区
■	L3区	
■	M1区	高位区
■	M1区	
■	H4区	高位区
■	H4区	
■	H4区	高位区
■	H4区	

実測地形に基づいた、
 リニア工場の建設計画の凡例

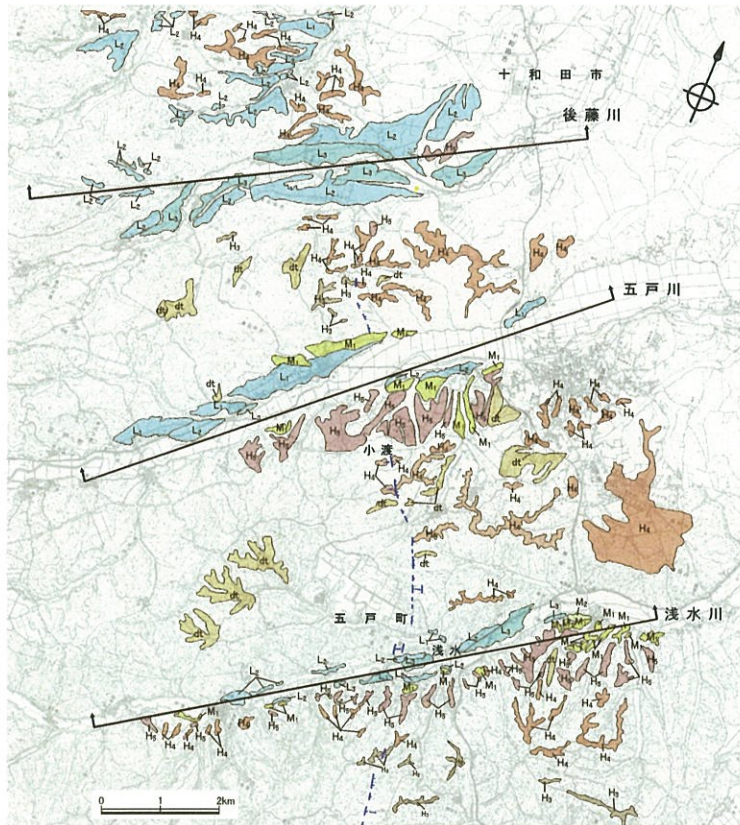
- 多動地形である可能性が高い
- 多動地形である可能性が低い
- 多動地形である可能性が低い
- 多動地形である可能性が低い

○ 建設予定地は、削土等の作業を要する。
 ○ 建設予定地は、削土等の作業を要する。
 ○ 建設予定地は、削土等の作業を要する。
 ○ 建設予定地は、削土等の作業を要する。

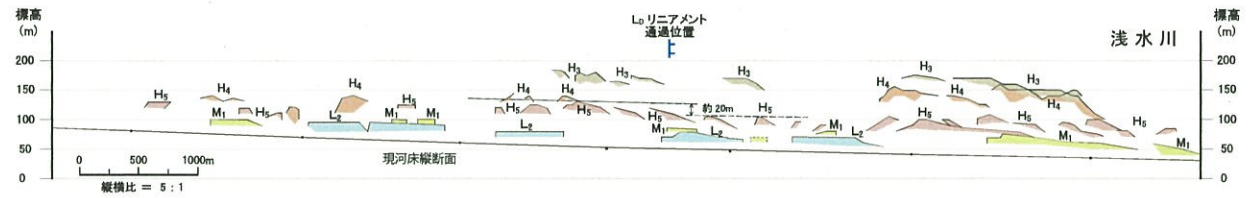
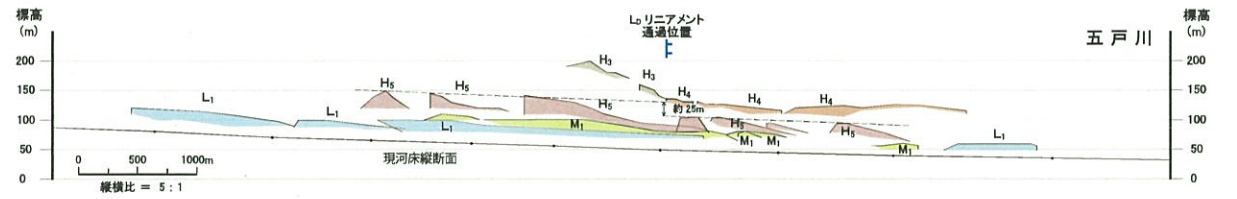
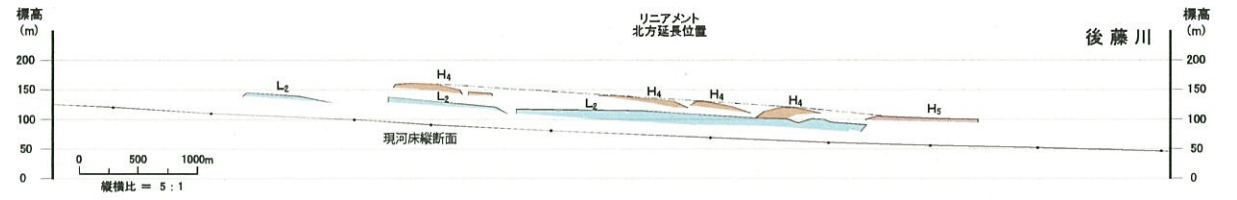
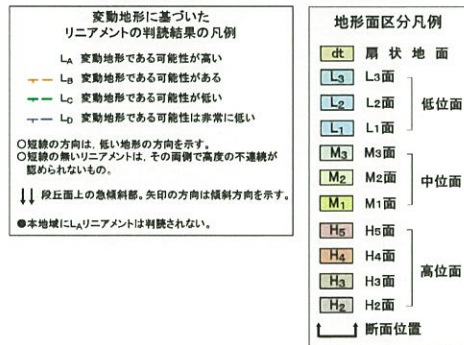
○ 建設予定地は、削土等の作業を要する。
 ○ 建設予定地は、削土等の作業を要する。
 ○ 建設予定地は、削土等の作業を要する。
 ○ 建設予定地は、削土等の作業を要する。

0 1 2km

図2-112 新大井町線の空中写真判読図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



第3.2-113図 折爪断層北部の段丘面高度分布図
3-3-336



地質時代 地層名 記号			地質時代 地層名 記号		
第四紀	沖積層	Q1	第四紀	沖積層	Q1
第四紀	沖積層	Q2	第四紀	沖積層	Q2
第四紀	沖積層	Q3	第四紀	沖積層	Q3
第四紀	沖積層	Q4	第四紀	沖積層	Q4
第四紀	沖積層	Q5	第四紀	沖積層	Q5
第四紀	沖積層	Q6	第四紀	沖積層	Q6
第四紀	沖積層	Q7	第四紀	沖積層	Q7
第四紀	沖積層	Q8	第四紀	沖積層	Q8
第四紀	沖積層	Q9	第四紀	沖積層	Q9
第四紀	沖積層	Q10	第四紀	沖積層	Q10
第四紀	沖積層	Q11	第四紀	沖積層	Q11
第四紀	沖積層	Q12	第四紀	沖積層	Q12
第四紀	沖積層	Q13	第四紀	沖積層	Q13
第四紀	沖積層	Q14	第四紀	沖積層	Q14
第四紀	沖積層	Q15	第四紀	沖積層	Q15
第四紀	沖積層	Q16	第四紀	沖積層	Q16
第四紀	沖積層	Q17	第四紀	沖積層	Q17
第四紀	沖積層	Q18	第四紀	沖積層	Q18
第四紀	沖積層	Q19	第四紀	沖積層	Q19
第四紀	沖積層	Q20	第四紀	沖積層	Q20
第四紀	沖積層	Q21	第四紀	沖積層	Q21
第四紀	沖積層	Q22	第四紀	沖積層	Q22
第四紀	沖積層	Q23	第四紀	沖積層	Q23
第四紀	沖積層	Q24	第四紀	沖積層	Q24
第四紀	沖積層	Q25	第四紀	沖積層	Q25
第四紀	沖積層	Q26	第四紀	沖積層	Q26
第四紀	沖積層	Q27	第四紀	沖積層	Q27
第四紀	沖積層	Q28	第四紀	沖積層	Q28
第四紀	沖積層	Q29	第四紀	沖積層	Q29
第四紀	沖積層	Q30	第四紀	沖積層	Q30
第四紀	沖積層	Q31	第四紀	沖積層	Q31
第四紀	沖積層	Q32	第四紀	沖積層	Q32
第四紀	沖積層	Q33	第四紀	沖積層	Q33
第四紀	沖積層	Q34	第四紀	沖積層	Q34
第四紀	沖積層	Q35	第四紀	沖積層	Q35
第四紀	沖積層	Q36	第四紀	沖積層	Q36
第四紀	沖積層	Q37	第四紀	沖積層	Q37
第四紀	沖積層	Q38	第四紀	沖積層	Q38
第四紀	沖積層	Q39	第四紀	沖積層	Q39
第四紀	沖積層	Q40	第四紀	沖積層	Q40
第四紀	沖積層	Q41	第四紀	沖積層	Q41
第四紀	沖積層	Q42	第四紀	沖積層	Q42
第四紀	沖積層	Q43	第四紀	沖積層	Q43
第四紀	沖積層	Q44	第四紀	沖積層	Q44
第四紀	沖積層	Q45	第四紀	沖積層	Q45
第四紀	沖積層	Q46	第四紀	沖積層	Q46
第四紀	沖積層	Q47	第四紀	沖積層	Q47
第四紀	沖積層	Q48	第四紀	沖積層	Q48
第四紀	沖積層	Q49	第四紀	沖積層	Q49
第四紀	沖積層	Q50	第四紀	沖積層	Q50
第四紀	沖積層	Q51	第四紀	沖積層	Q51
第四紀	沖積層	Q52	第四紀	沖積層	Q52
第四紀	沖積層	Q53	第四紀	沖積層	Q53
第四紀	沖積層	Q54	第四紀	沖積層	Q54
第四紀	沖積層	Q55	第四紀	沖積層	Q55
第四紀	沖積層	Q56	第四紀	沖積層	Q56
第四紀	沖積層	Q57	第四紀	沖積層	Q57
第四紀	沖積層	Q58	第四紀	沖積層	Q58
第四紀	沖積層	Q59	第四紀	沖積層	Q59
第四紀	沖積層	Q60	第四紀	沖積層	Q60
第四紀	沖積層	Q61	第四紀	沖積層	Q61
第四紀	沖積層	Q62	第四紀	沖積層	Q62
第四紀	沖積層	Q63	第四紀	沖積層	Q63
第四紀	沖積層	Q64	第四紀	沖積層	Q64
第四紀	沖積層	Q65	第四紀	沖積層	Q65
第四紀	沖積層	Q66	第四紀	沖積層	Q66
第四紀	沖積層	Q67	第四紀	沖積層	Q67
第四紀	沖積層	Q68	第四紀	沖積層	Q68
第四紀	沖積層	Q69	第四紀	沖積層	Q69
第四紀	沖積層	Q70	第四紀	沖積層	Q70
第四紀	沖積層	Q71	第四紀	沖積層	Q71
第四紀	沖積層	Q72	第四紀	沖積層	Q72
第四紀	沖積層	Q73	第四紀	沖積層	Q73
第四紀	沖積層	Q74	第四紀	沖積層	Q74
第四紀	沖積層	Q75	第四紀	沖積層	Q75
第四紀	沖積層	Q76	第四紀	沖積層	Q76
第四紀	沖積層	Q77	第四紀	沖積層	Q77
第四紀	沖積層	Q78	第四紀	沖積層	Q78
第四紀	沖積層	Q79	第四紀	沖積層	Q79
第四紀	沖積層	Q80	第四紀	沖積層	Q80
第四紀	沖積層	Q81	第四紀	沖積層	Q81
第四紀	沖積層	Q82	第四紀	沖積層	Q82
第四紀	沖積層	Q83	第四紀	沖積層	Q83
第四紀	沖積層	Q84	第四紀	沖積層	Q84
第四紀	沖積層	Q85	第四紀	沖積層	Q85
第四紀	沖積層	Q86	第四紀	沖積層	Q86
第四紀	沖積層	Q87	第四紀	沖積層	Q87
第四紀	沖積層	Q88	第四紀	沖積層	Q88
第四紀	沖積層	Q89	第四紀	沖積層	Q89
第四紀	沖積層	Q90	第四紀	沖積層	Q90
第四紀	沖積層	Q91	第四紀	沖積層	Q91
第四紀	沖積層	Q92	第四紀	沖積層	Q92
第四紀	沖積層	Q93	第四紀	沖積層	Q93
第四紀	沖積層	Q94	第四紀	沖積層	Q94
第四紀	沖積層	Q95	第四紀	沖積層	Q95
第四紀	沖積層	Q96	第四紀	沖積層	Q96
第四紀	沖積層	Q97	第四紀	沖積層	Q97
第四紀	沖積層	Q98	第四紀	沖積層	Q98
第四紀	沖積層	Q99	第四紀	沖積層	Q99
第四紀	沖積層	Q100	第四紀	沖積層	Q100

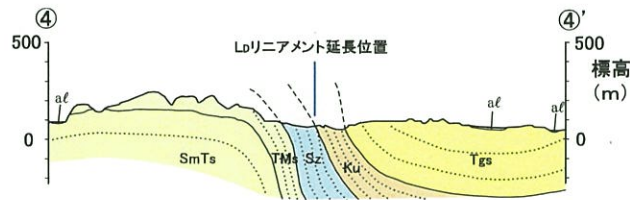
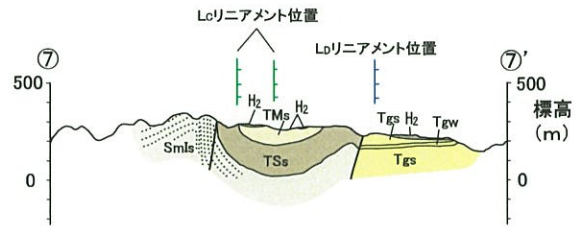
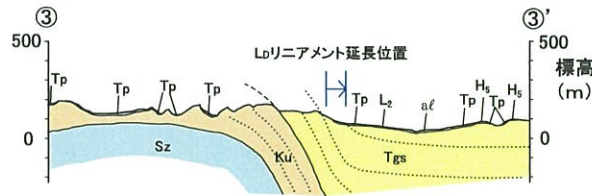
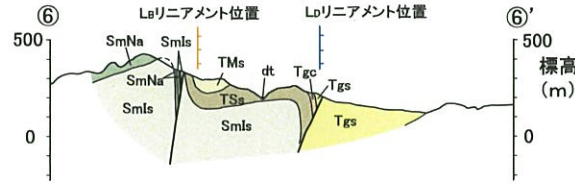
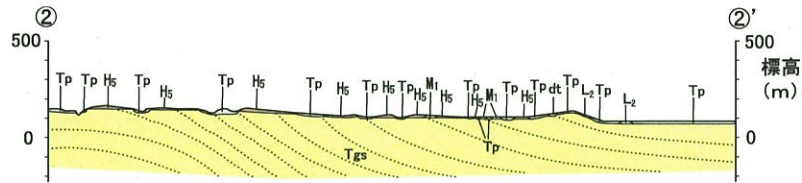
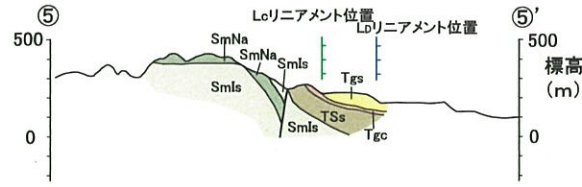
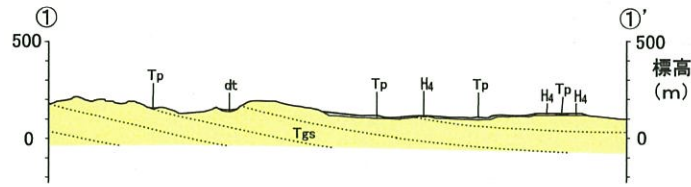
変動地帯に基づいた
リニアメントの利便性評価の凡例

L1 変動地帯である可能性が高い
 L2 変動地帯である可能性がある
 L3 変動地帯である可能性が低い
 L4 変動地帯である可能性は非常に低い

O 経路の方向は、強い地形の方向を指す。
 O 経路の幅(リニアメント)は、その経路で高度の不連続が
 認められる場合。

[] 経路間の自然経路、歩道の方向は緑線方向を示す。
 ● 歩道幅に、L1(リニアメント)は特設されない。

0 1 2km



0 1 2km
縦横比=1:2

変動地形に基づいた
リニアメントの判読結果の凡例

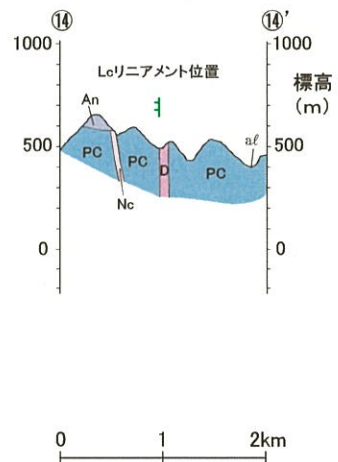
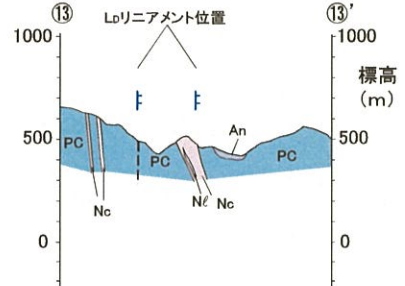
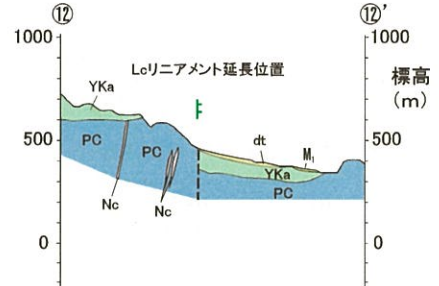
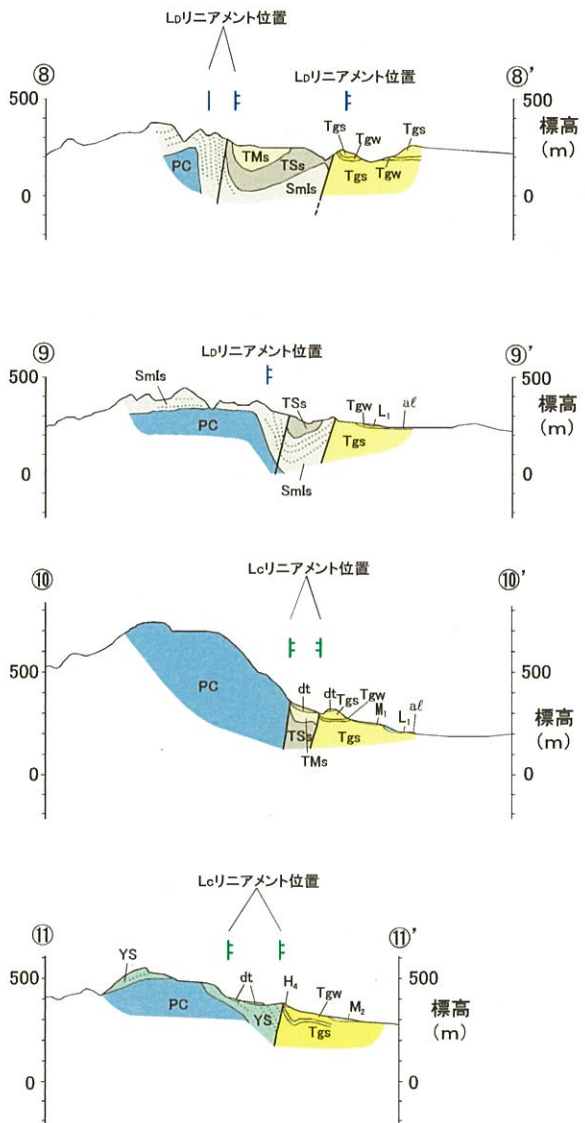
LA 変動地形である可能性が高い
LB 変動地形である可能性がある
LC 変動地形である可能性が低い
LD 変動地形である可能性は非常に低い

○短線の方向は、低い地形の方向を示す。
○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。

●本地域に、LAリニアメントは判読されない。

地質凡例			
地質時代	地層名	記号	
完新世	沖積層	al	
	崖錐堆積層	dt	
第四紀 更新世	十和田火山軽石 流堆積物	Tp	
	低位段丘堆積層	L ₂	
	中位段丘堆積層	M ₁	
新紀 中期	高位段丘堆積層	H ₅	
		H ₄	
		H ₂	
鮮新世		Tgs	
	斗川層	Tgw	
		Tgc	
第三紀 中新世	久保層	Ku	
	舌崎層	Sz	
	留崎層	目時貝殻砂岩部層	TM _s
		宮沢砂岩部層	TS _s
	末ノ松山層	高屋敷粗粒砂岩部層	SmTs
	名久井岳安山岩部層	SmNa	
	五日町砂岩部層	Smls	
— 地層境界線			
— 断層線 (---部は推定)			
..... 層理			

第3.2-115図(1) 折爪断層周辺の地質断面図



縦横比=1:2

地質凡例

地質時代	地層名	記号		
第四紀	完新世	沖積低地堆積層	aL	
		崖錐堆積層	dt	
	更新世	後期	低位段丘堆積層	L1
			中段丘堆積層	M2
		高位段丘堆積層	M1	
中生代	鮮新世	斗川層	Tgs, Tgw	
	新第三紀	留崎層	TMs, TSs	
		末ノ松山層	Smls	
		四ッ役層	YKa, YS	
中・古世代	中・古生層	PC, Nc, Nl		
	年代不詳	An, D		

砂岩・泥岩
凝灰岩互層
凝灰岩
目時貝殻砂岩部層
宮沢砂岩部層
五日町砂岩部層
傾城峠安山岩部層
双畑互層部層
チャート
石灰岩
安山岩
貫入岩

— 地層境界線
- - - 断層線(---部は推定)
..... 層理

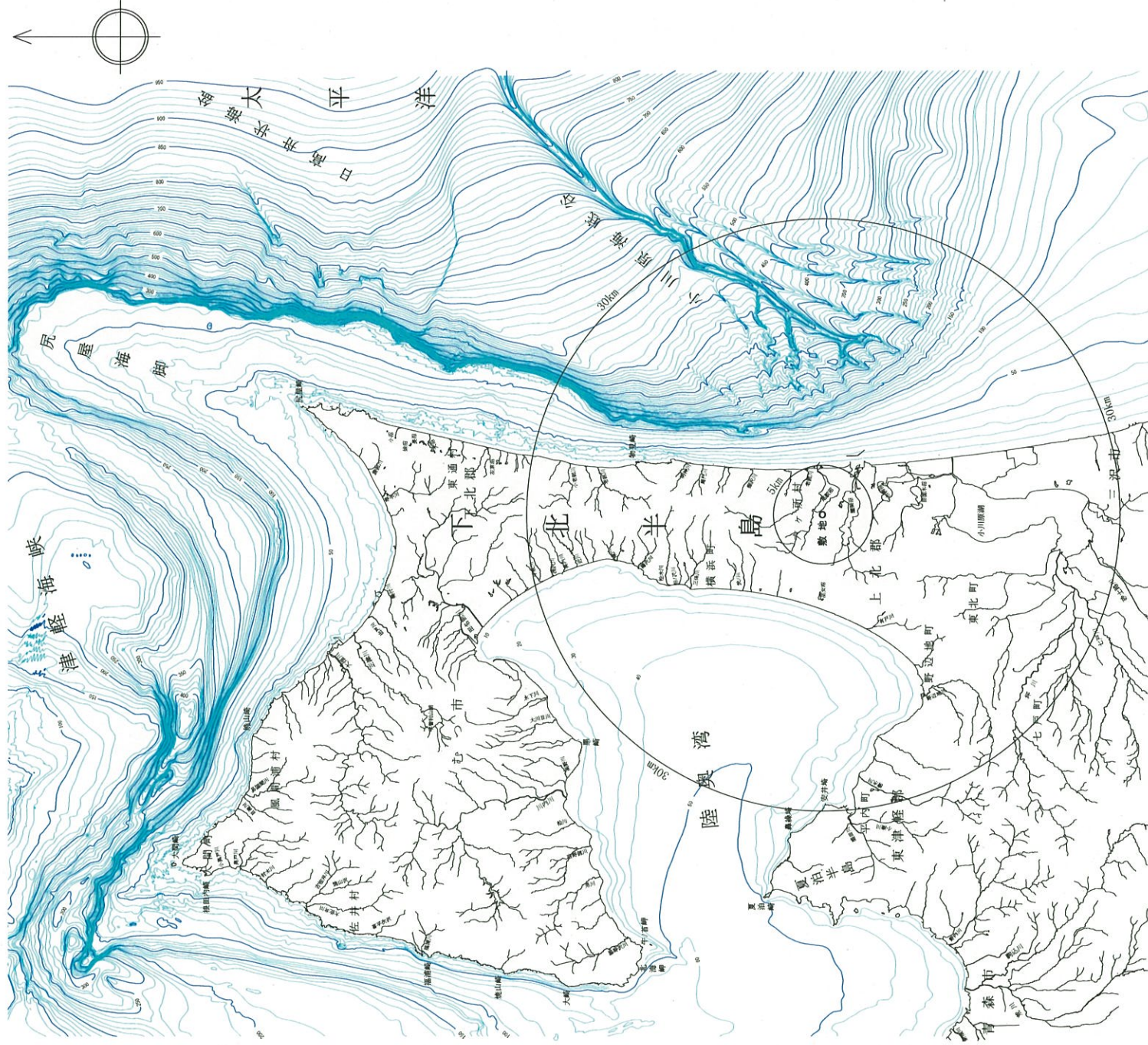
変動地形に基づいた リニアメントの判読結果の凡例

L_A 変動地形である可能性が高い
 L_B 変動地形である可能性がある
 L_C 変動地形である可能性が低い
 L_D 変動地形である可能性は非常に低い

○短線の方向は、低い地形の方向を示す。
 ○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。

●本地域に、L_A及びL_Bリニアメントは判読されない。

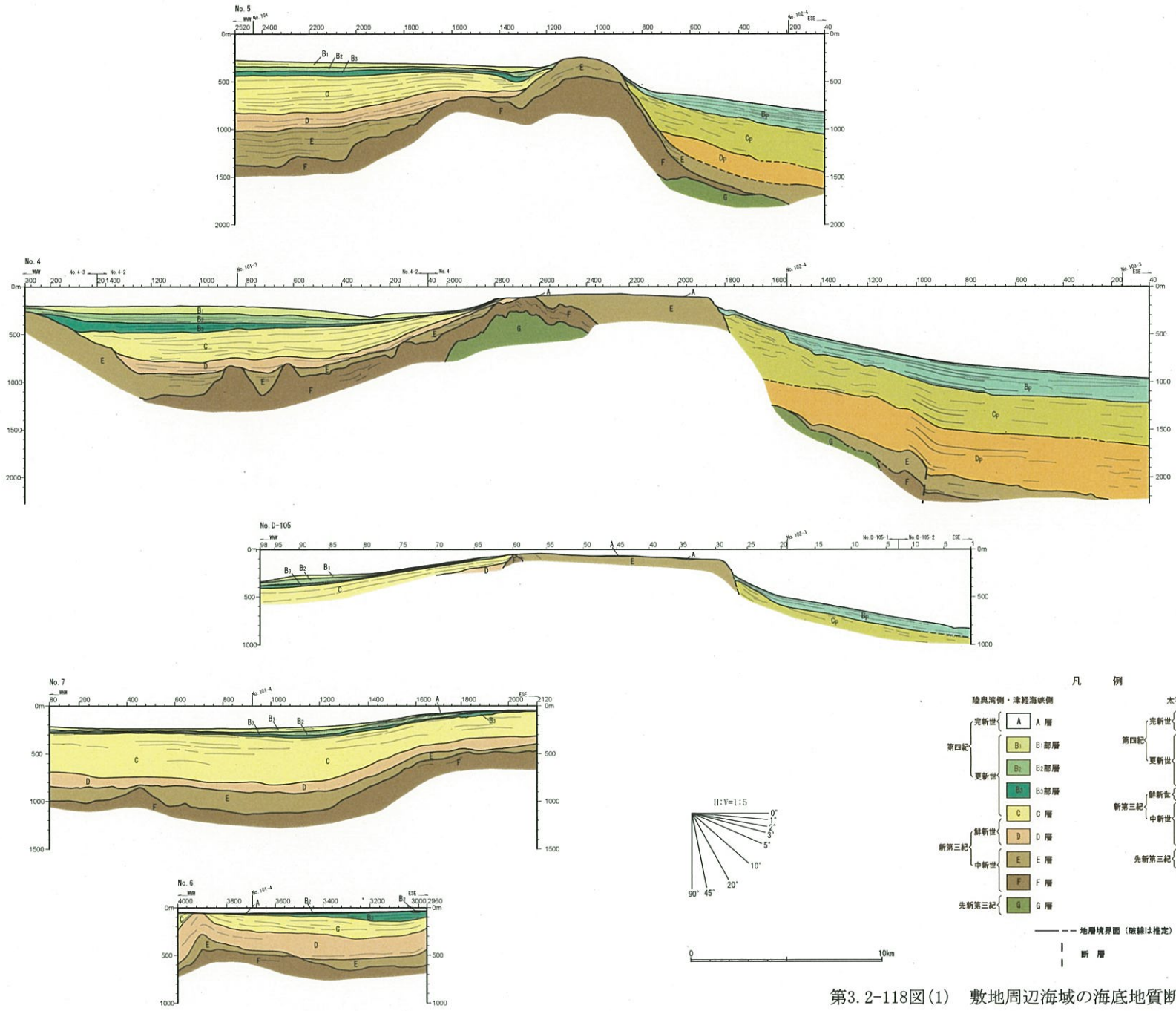
第3.2-115図(2) 折爪断層周辺の地質断面図
3-3-339



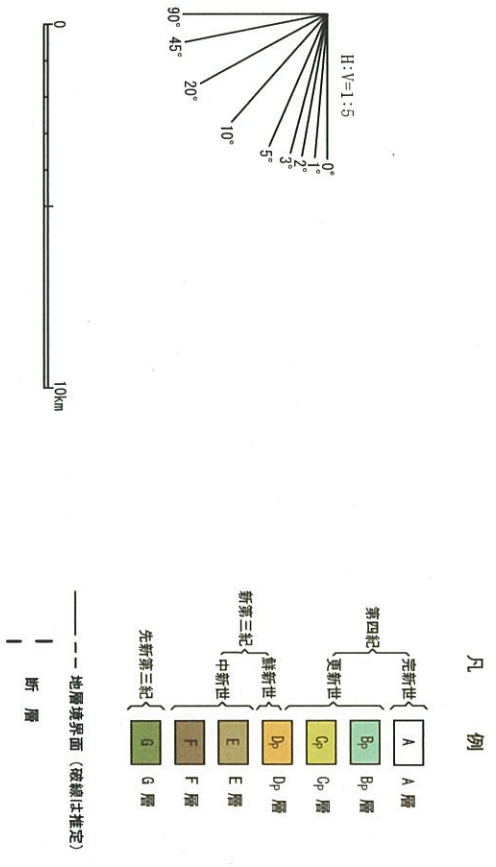
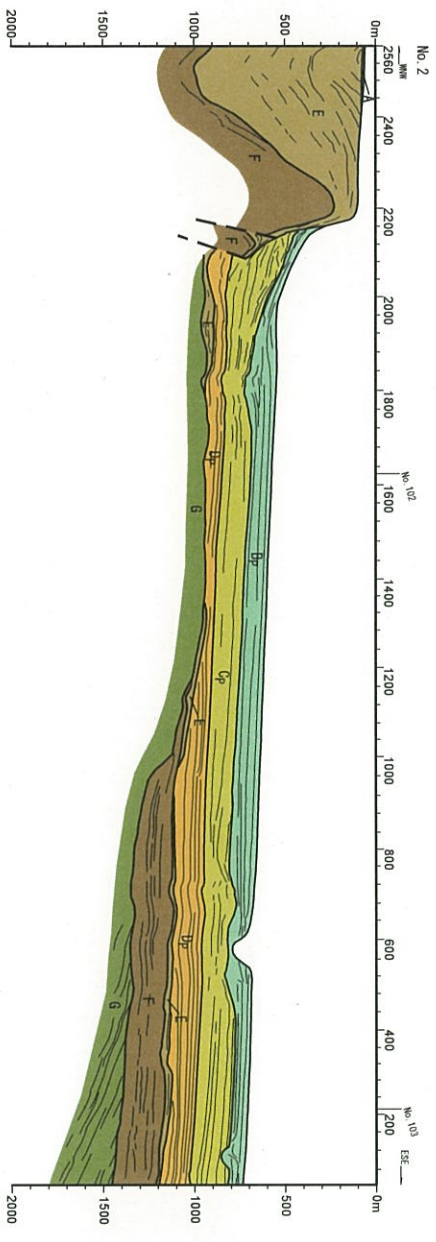
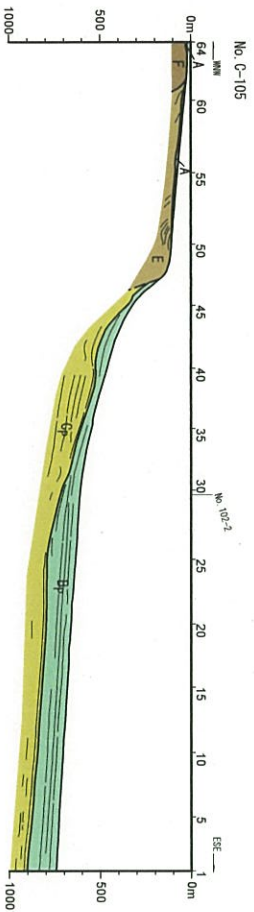
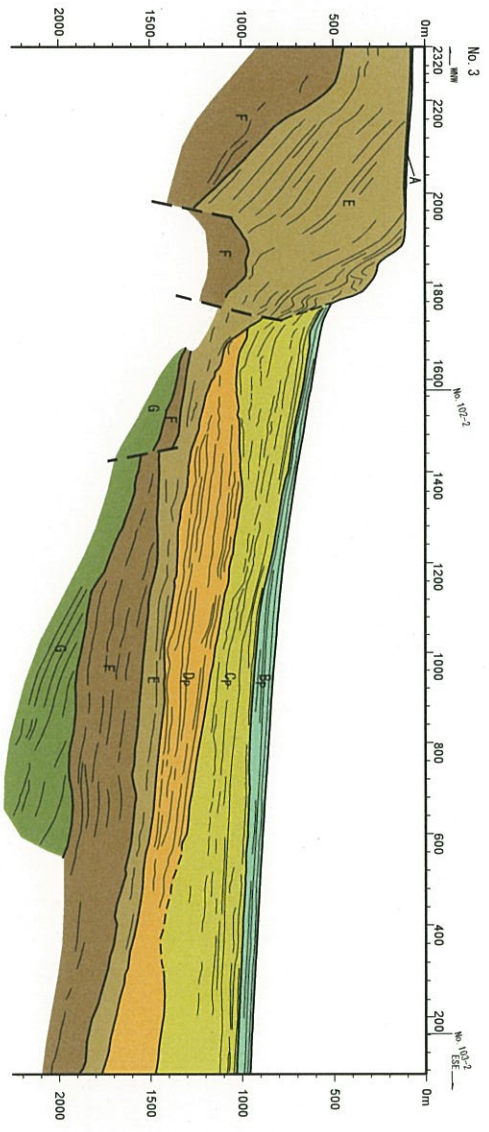
一部、海上保安庁刊行沿岸の基本図「恵山岬」、
「尻屋崎」、「まいつ小川原」、国土地理院刊行沿岸域
広域土地条件図「陸奥湾」等から編集したものである。



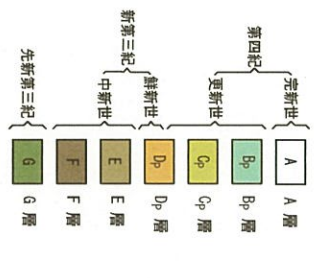
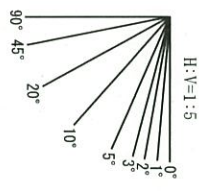
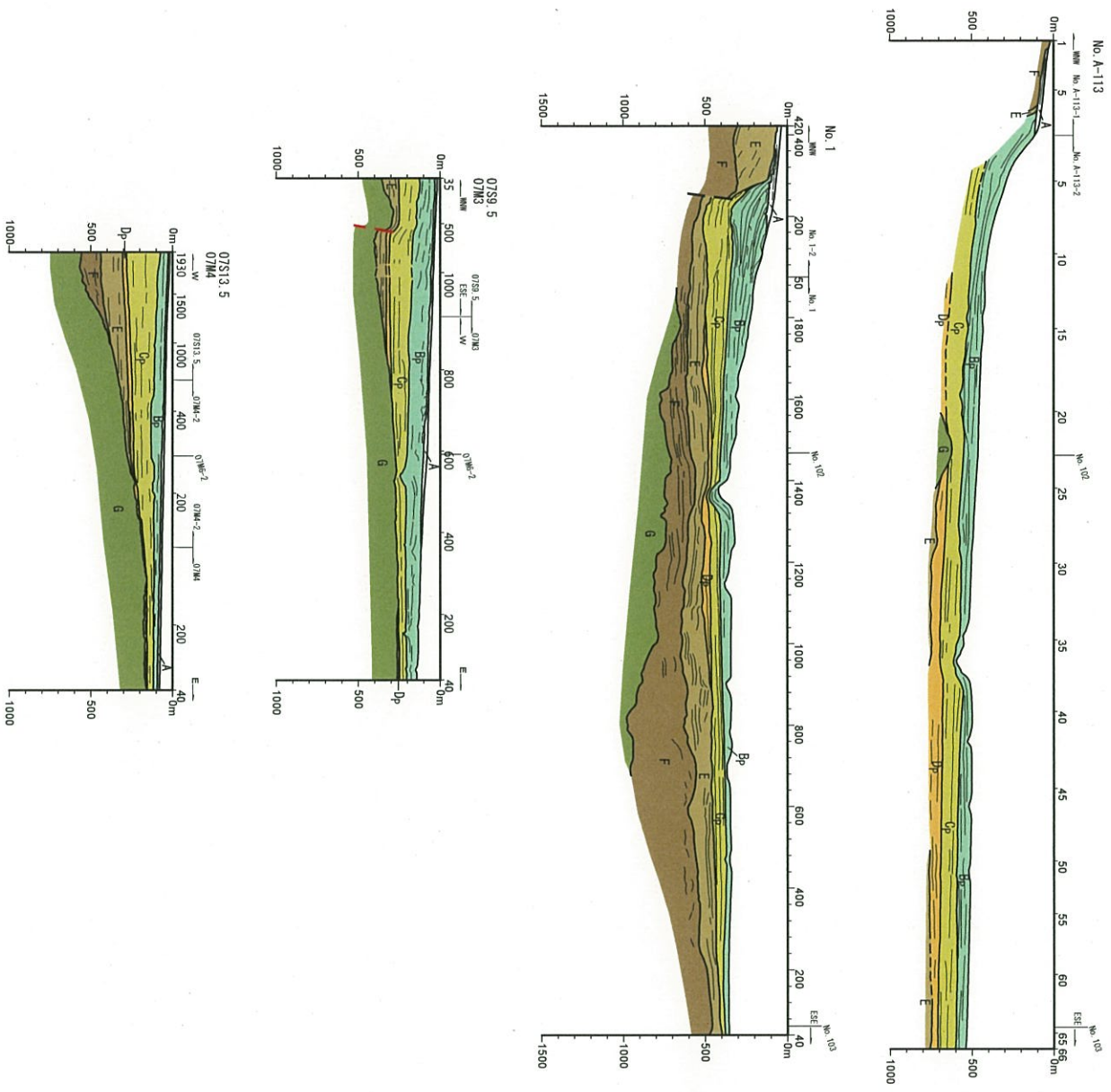
第3.2-116図 敷地周辺海域の地形図



第3.2-118図(1) 敷地周辺海域の海底地質断面図



第3.2-118図(2) 敷地周辺海域の海底地質断面図



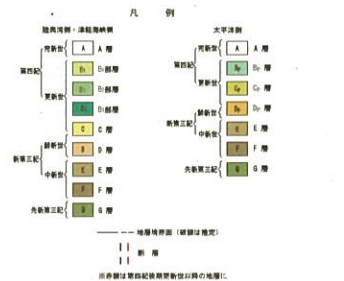
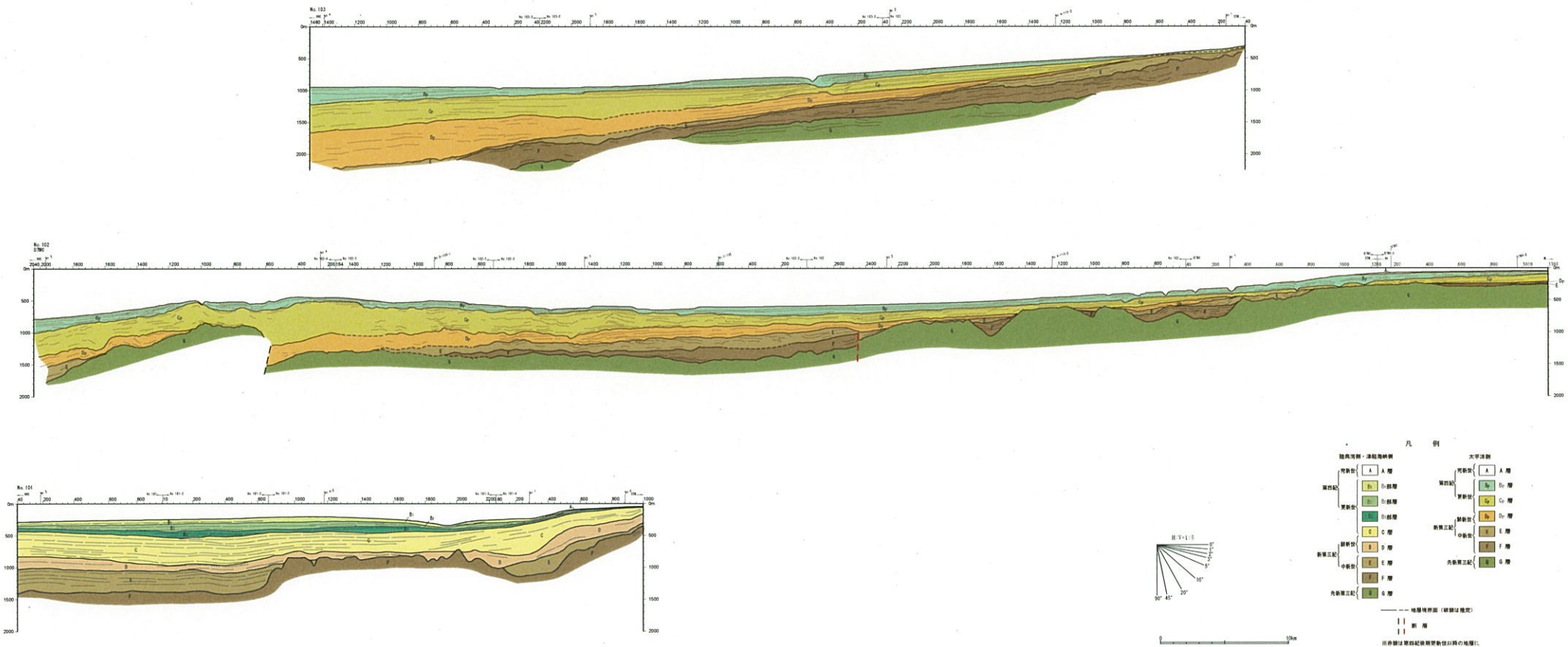
凡 例

—— 地層境界面 (破線は推定)

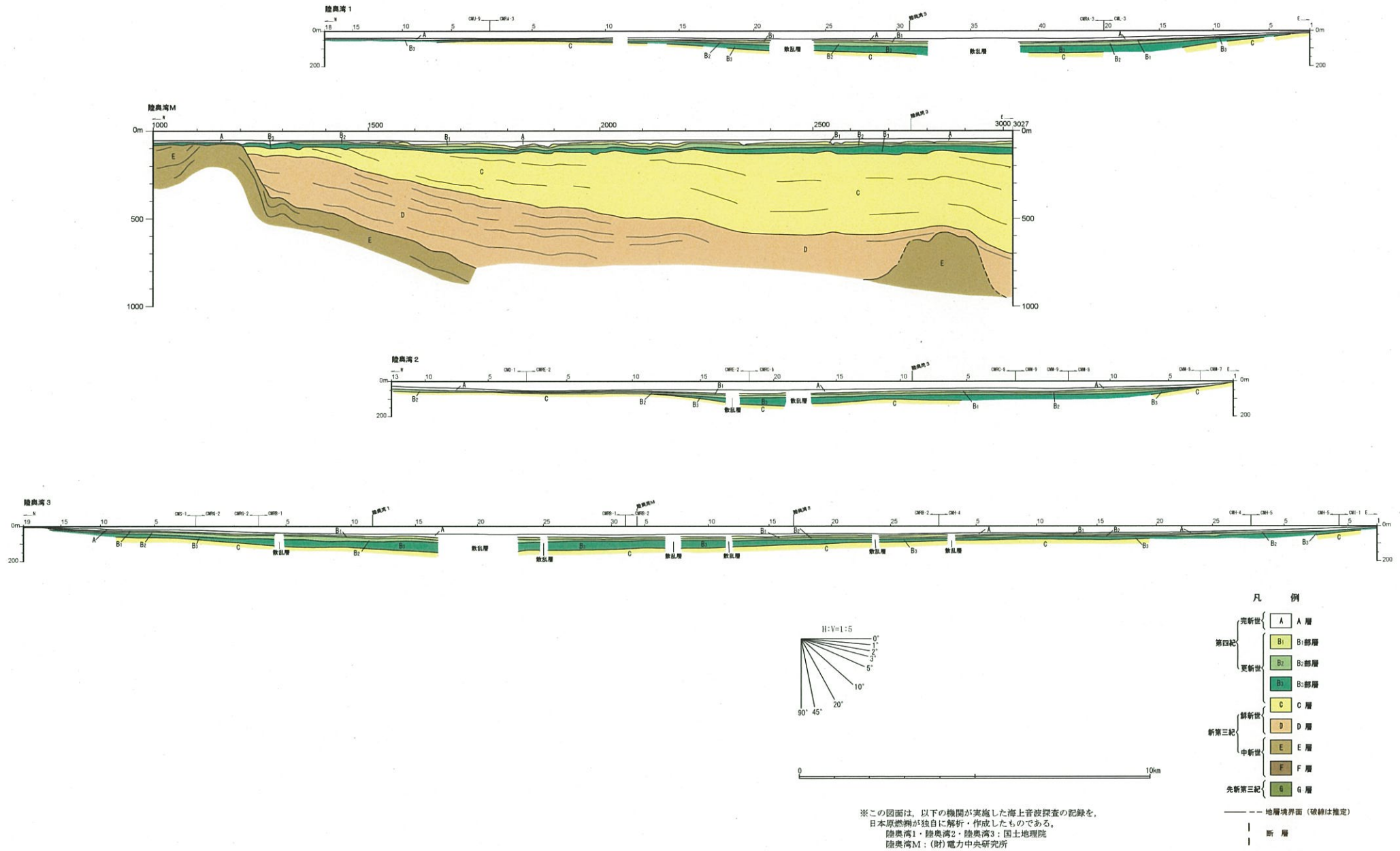
|| 断 層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に
変位・変形が認められるもの

第3.2-118図(3) 敷地周辺海域の海底地質断面図

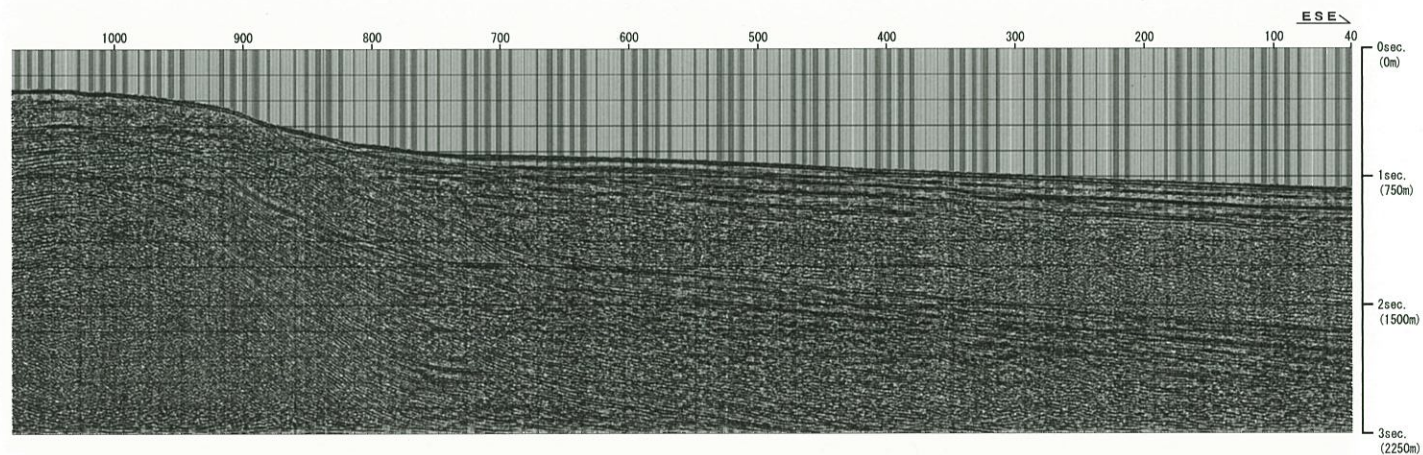
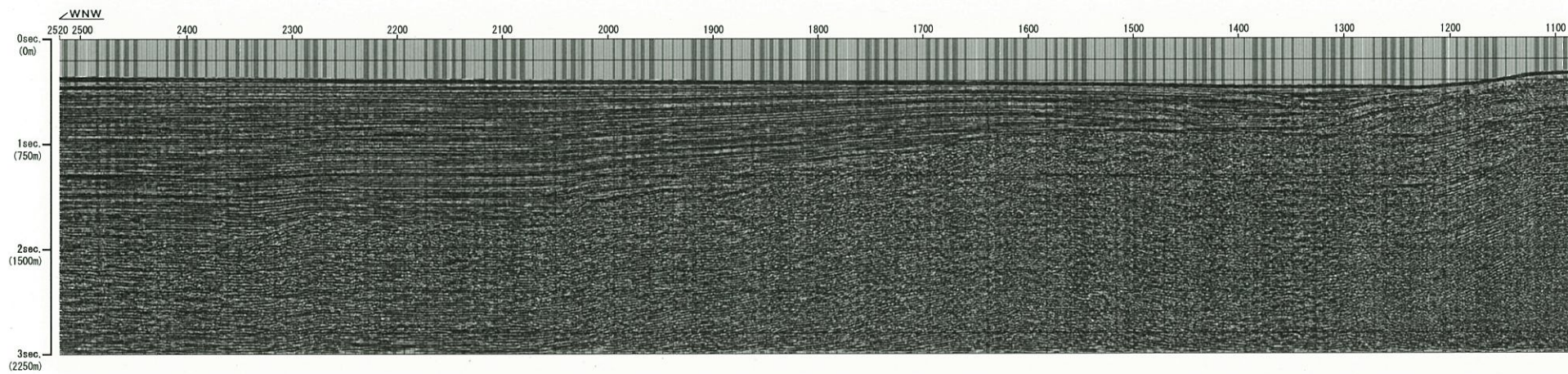


第3.2-118図(4) 敷地周辺海域の海底地質断面図



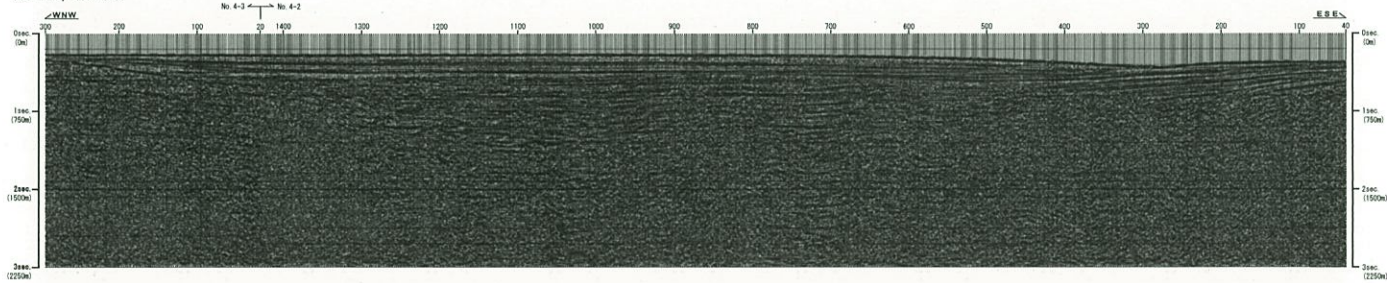
第3.2-118図(5) 敷地周辺海域の海底地質断面図

No. 5

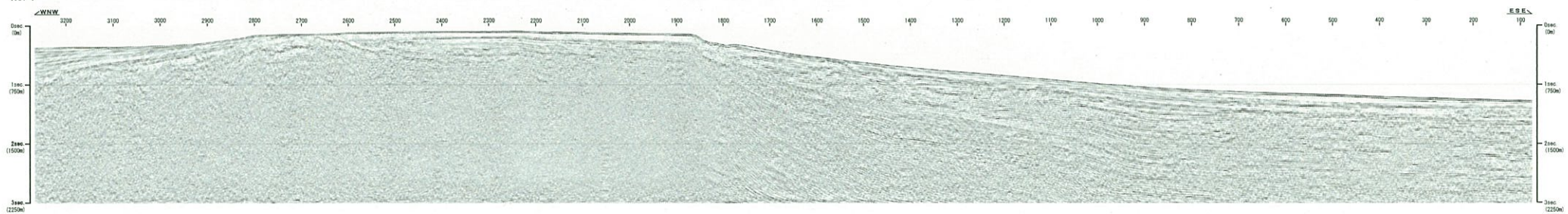


第3.2-119図(1) 敷地周辺海域の音波探査記録

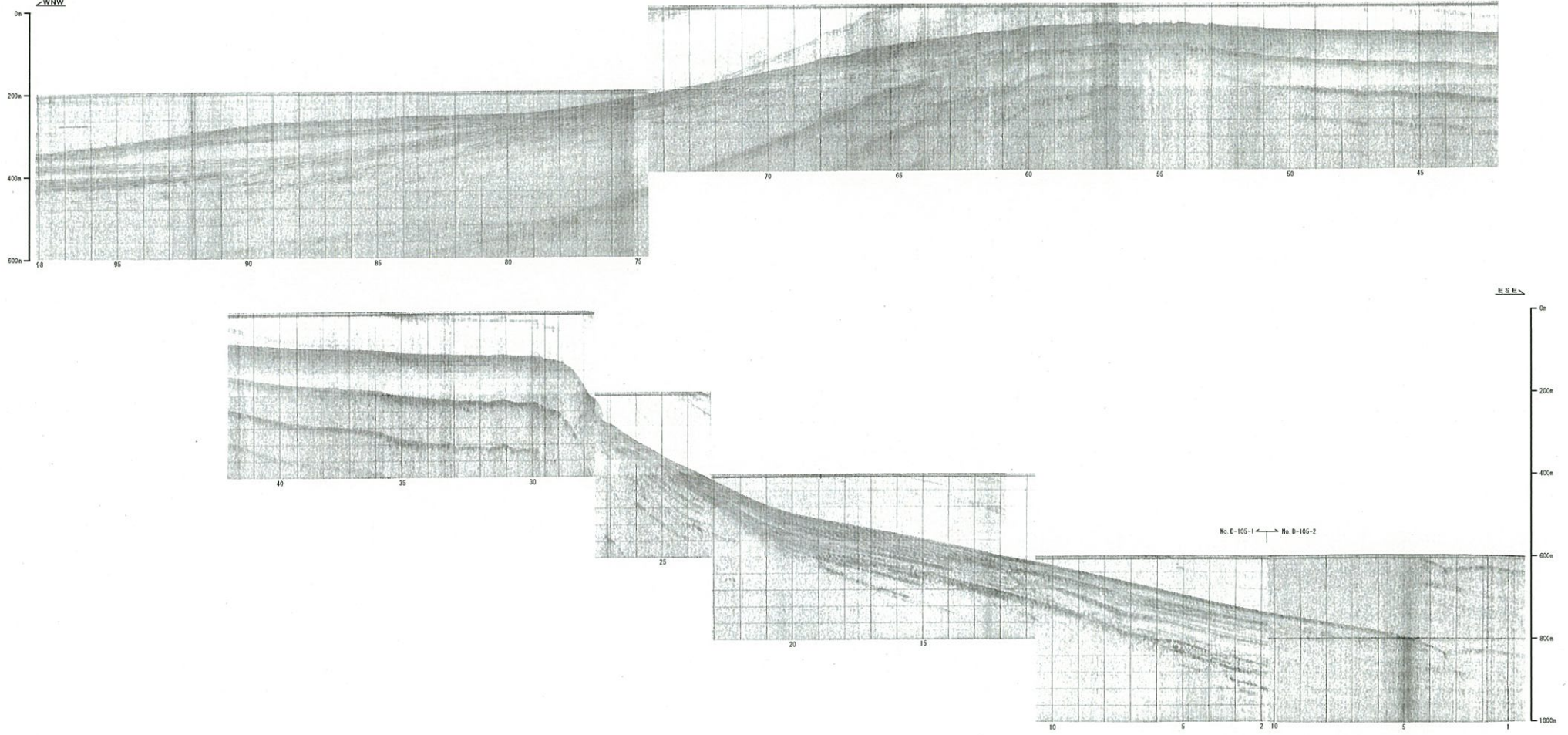
No. 4-3, No. 4-2



No. 4

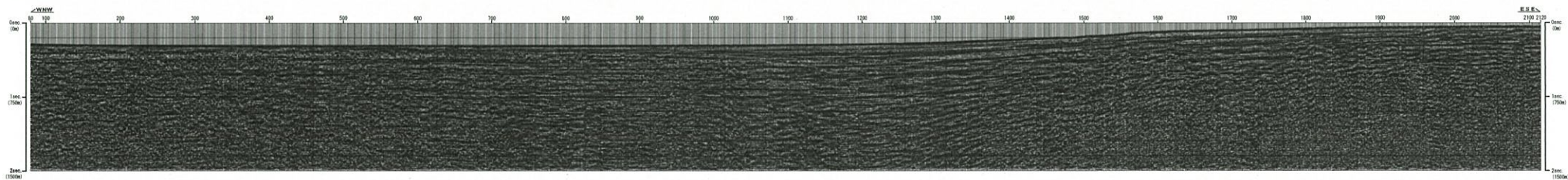


No. D-105

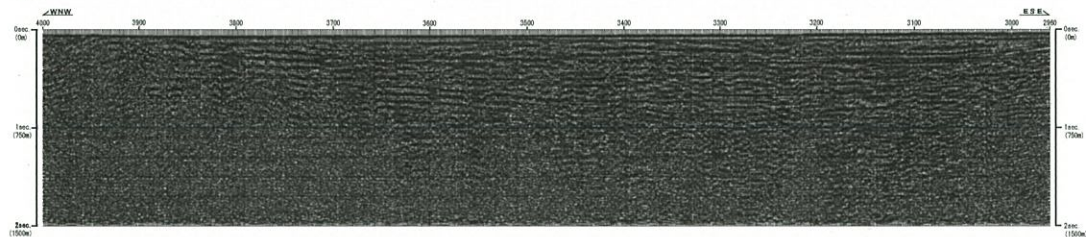


第3. 2-119図(3) 敷地周辺海域の音波探査記録

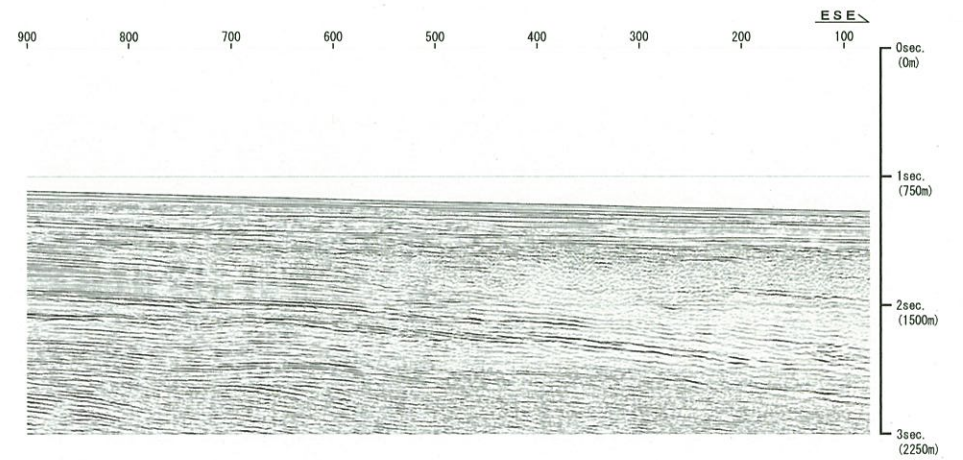
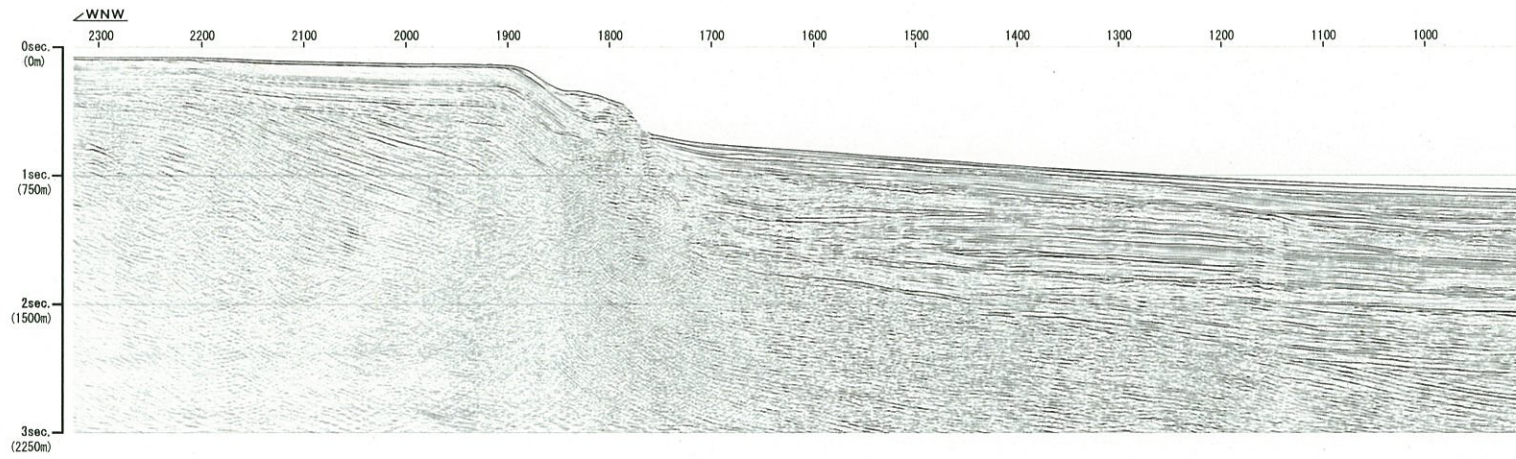
No. 7



No. 6



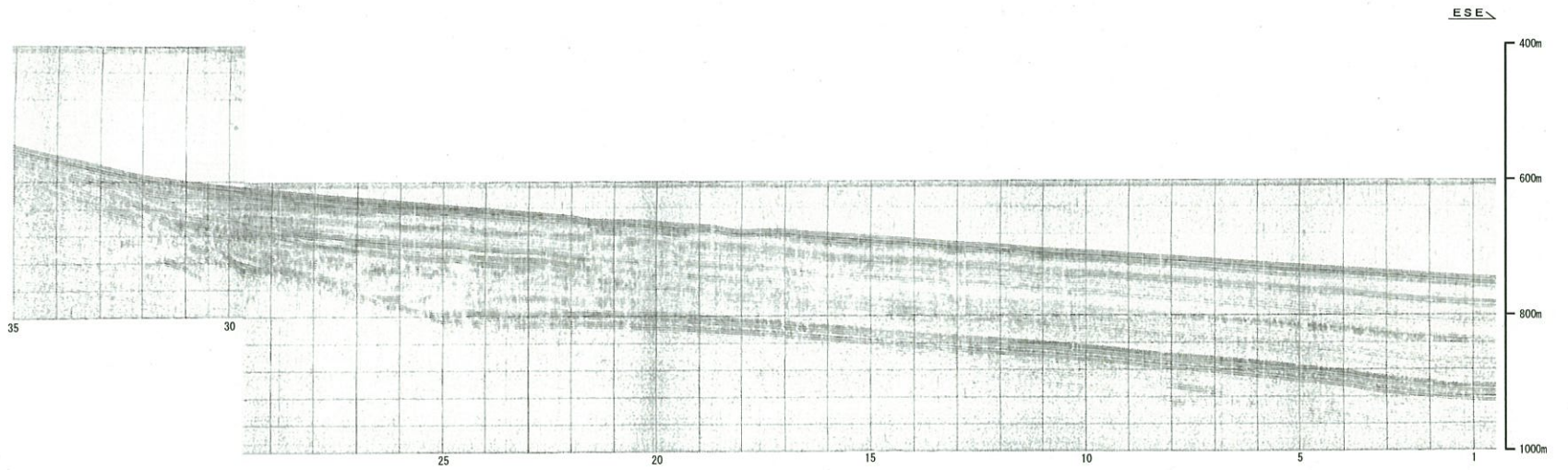
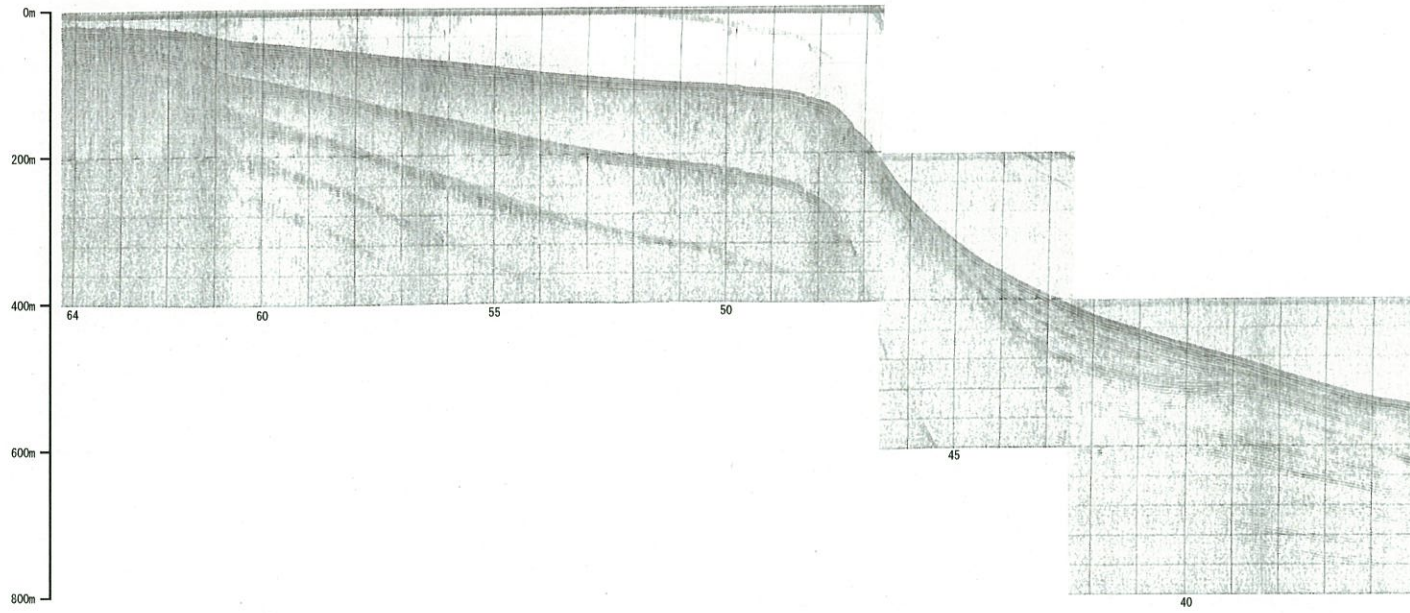
No. 3



第3. 2-119図(5) 敷地周辺海域の音波探査記録

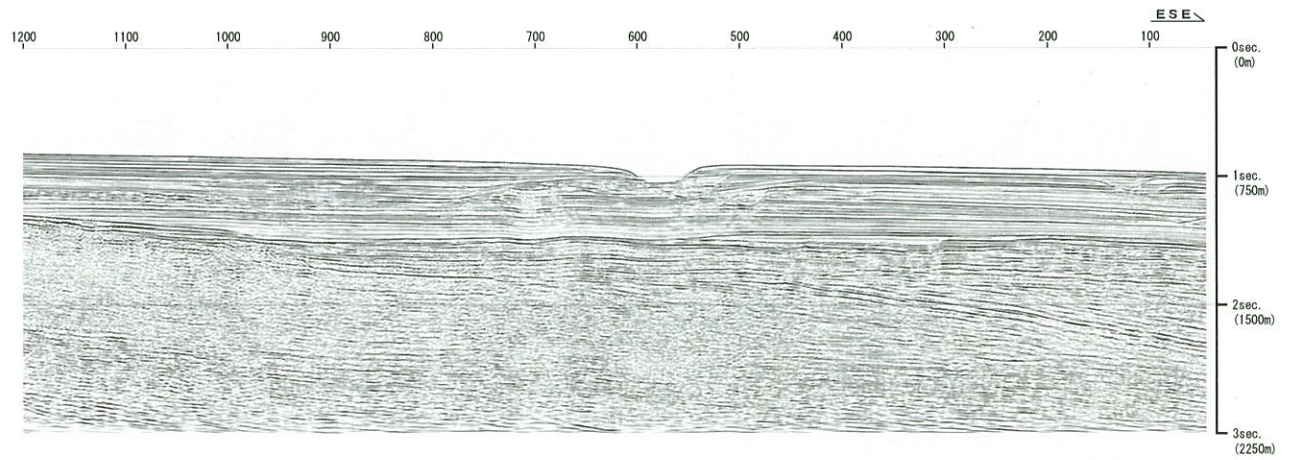
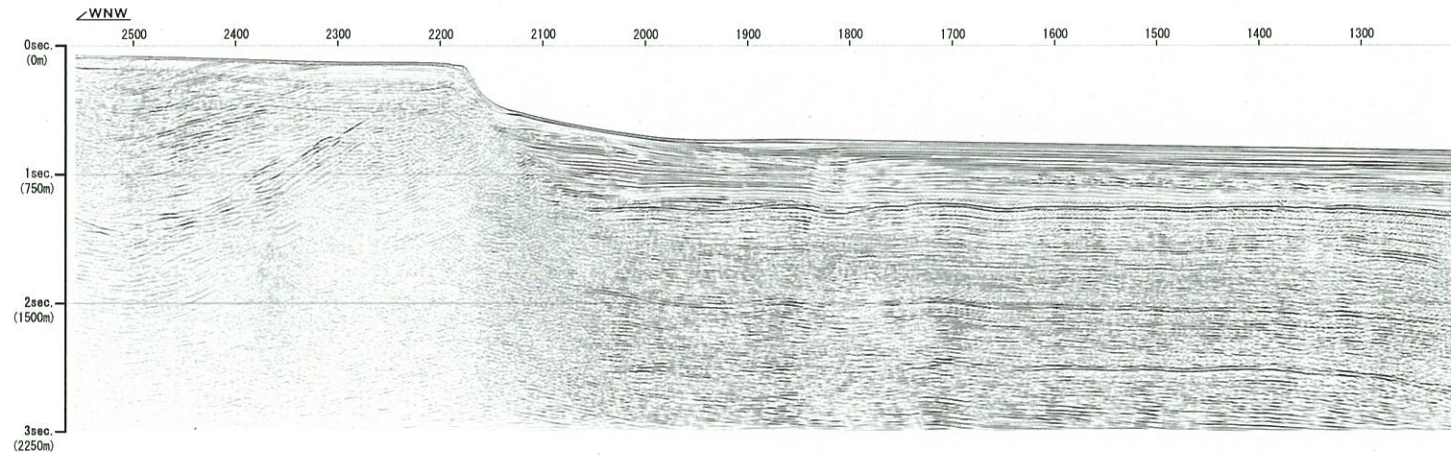
No. C-105

WNW



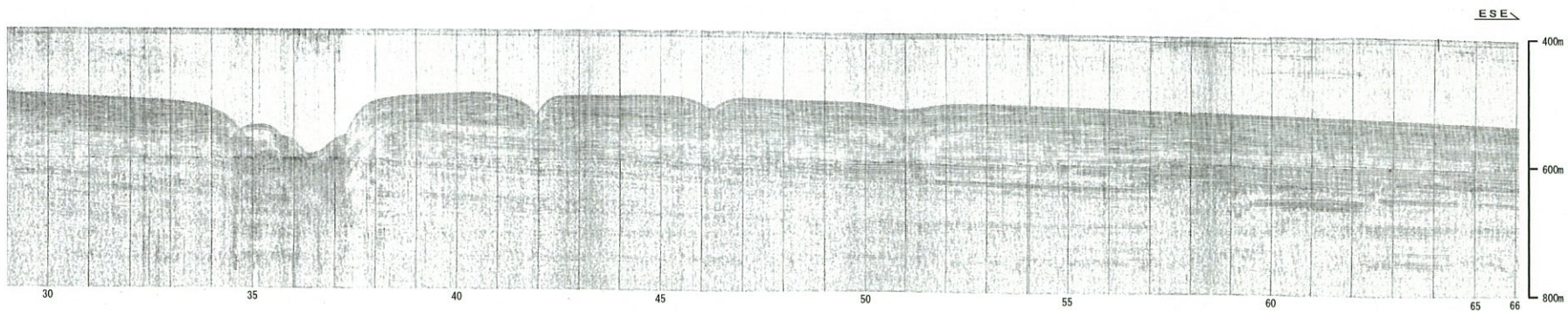
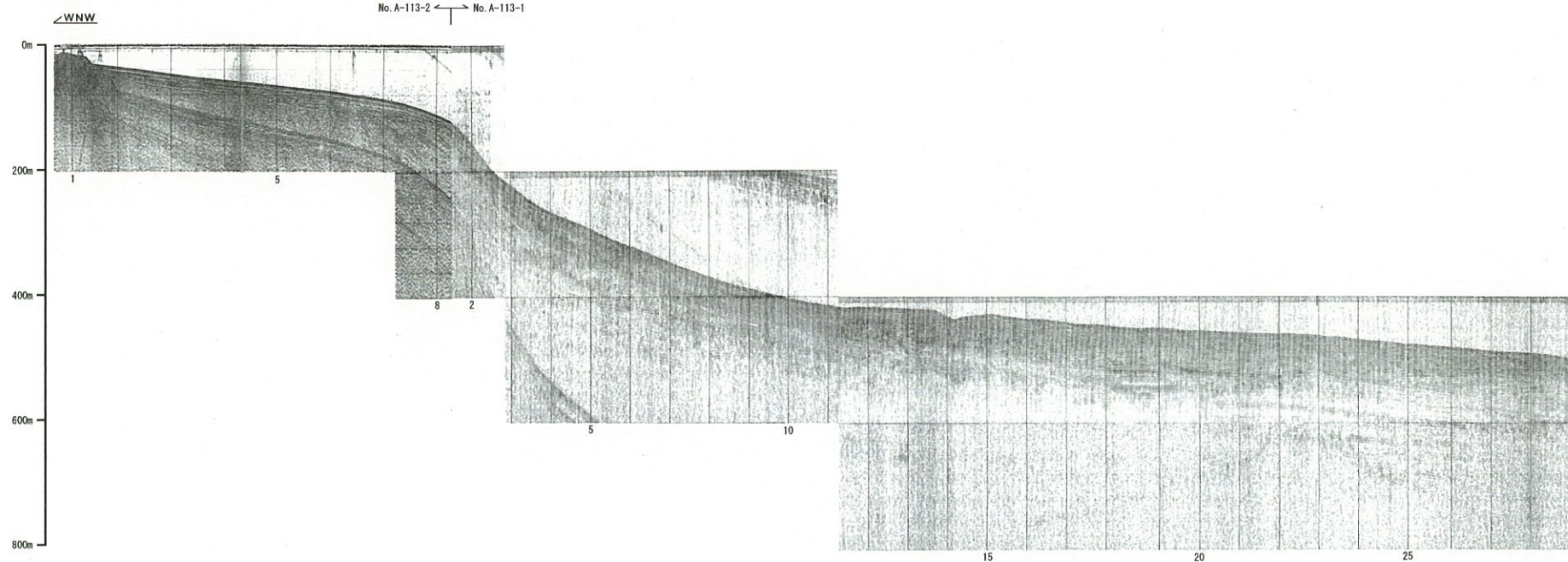
第3.2-119図(6) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 2



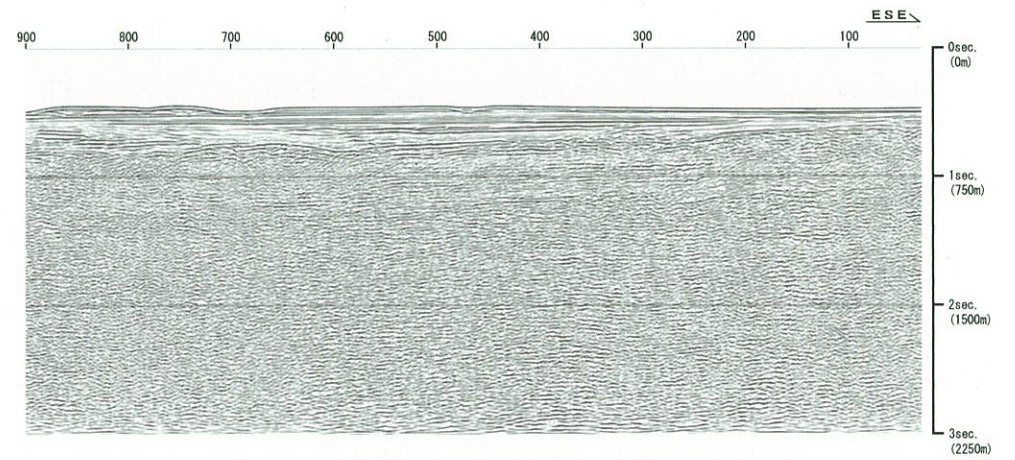
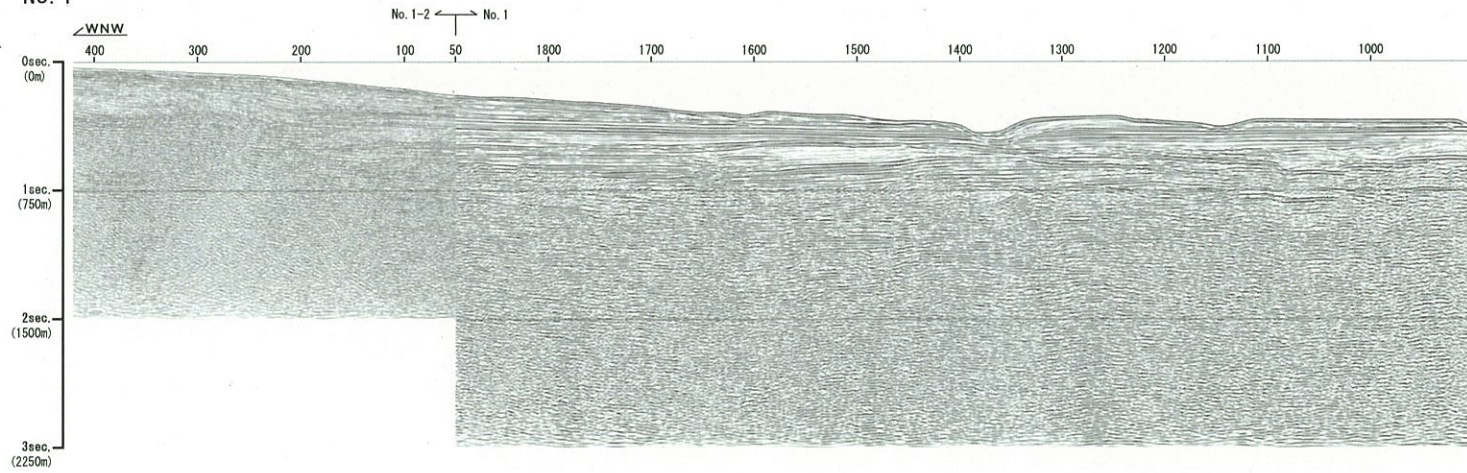
第3.2-119図(7) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. A-113



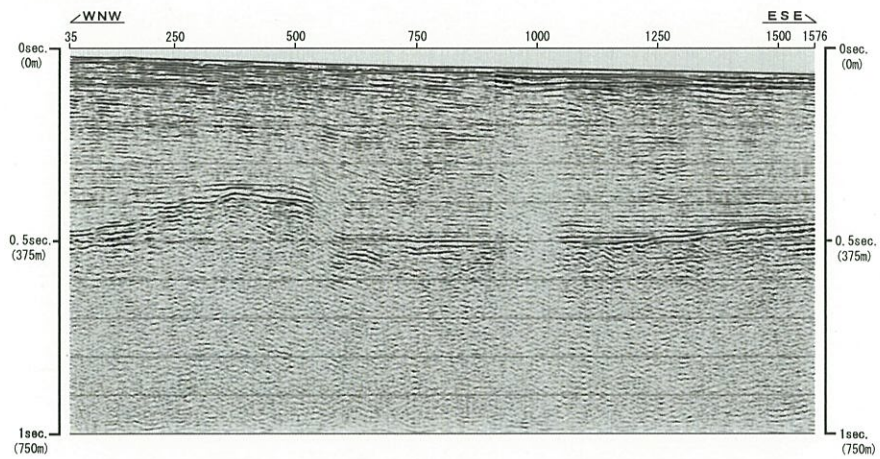
第3.2-119図(8) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 1

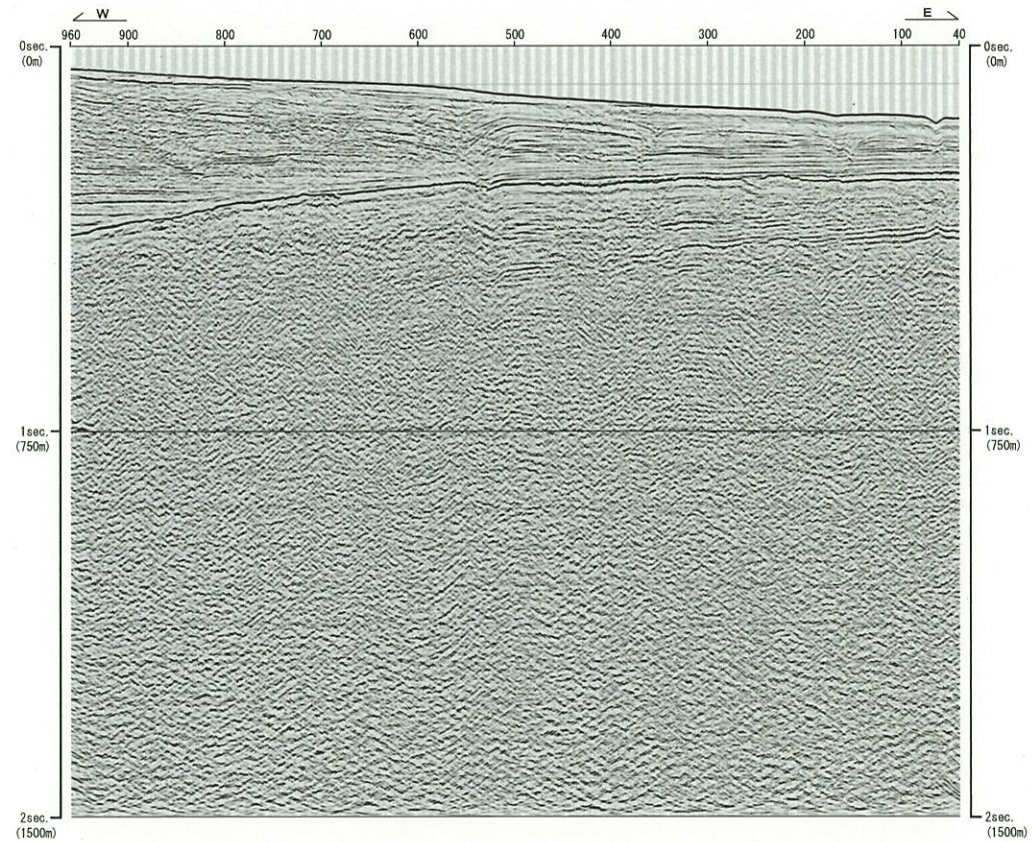


第3.2-119図(9) 敷地周辺海域の音波探査記録

07S9.5

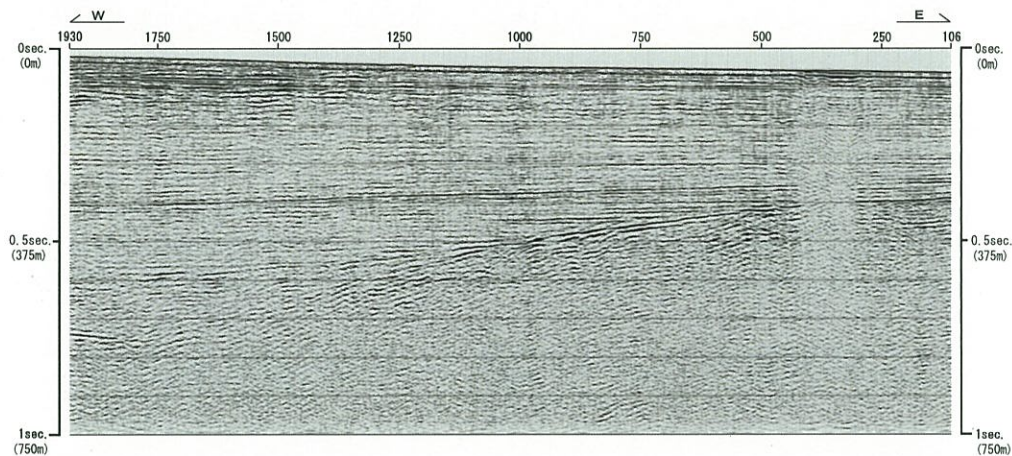


07M3

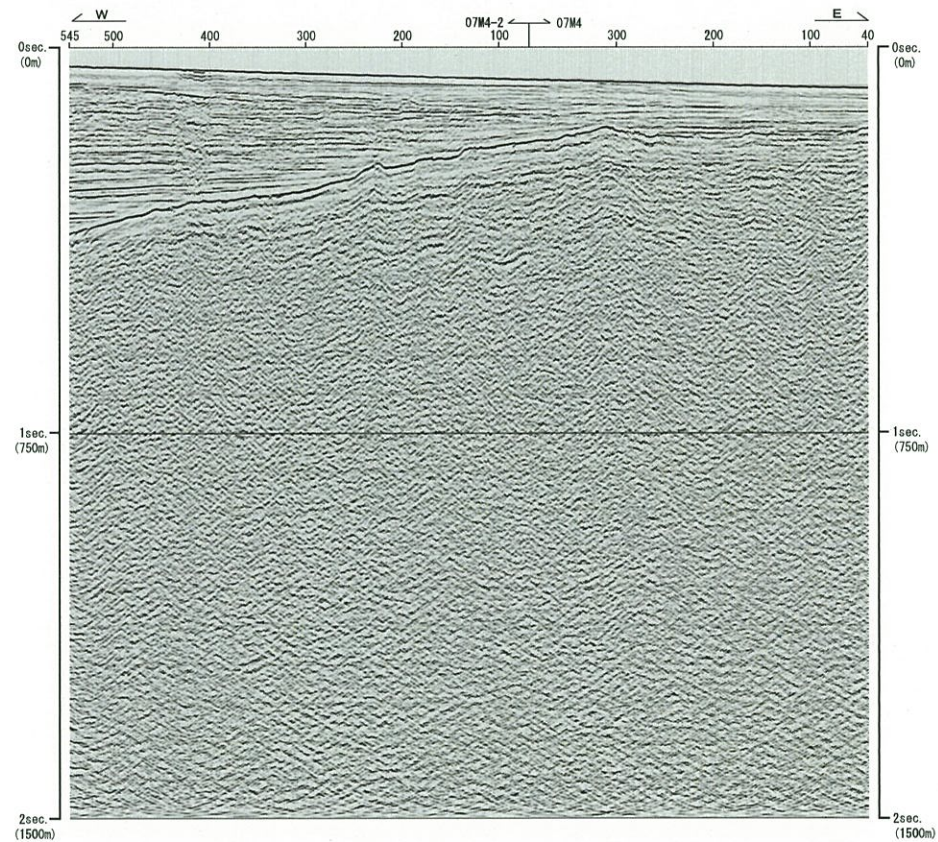


第3.2-119図(10) 敷地周辺海域の音波探査記録

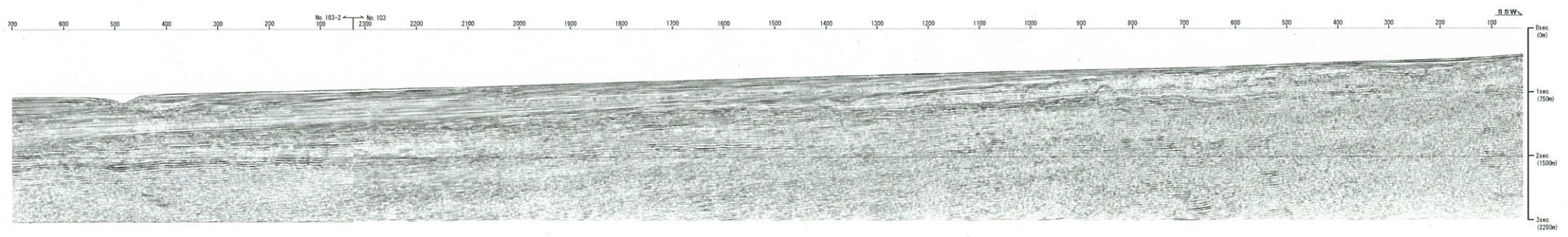
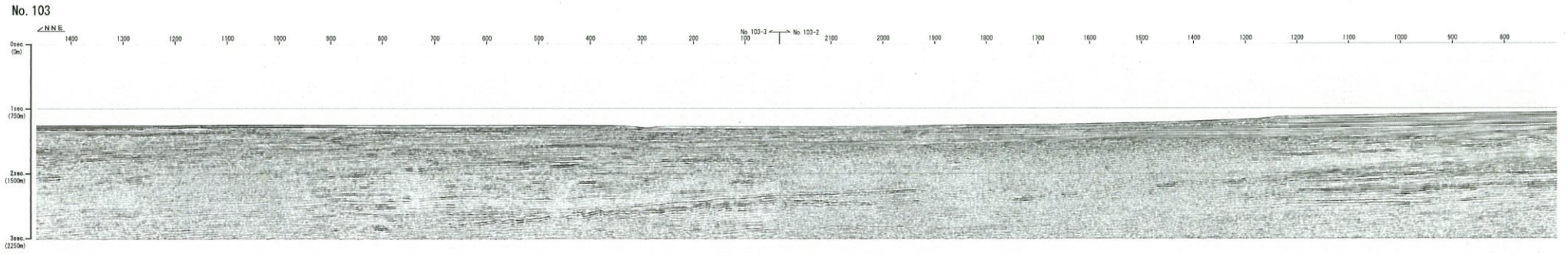
07S13.5



07M4

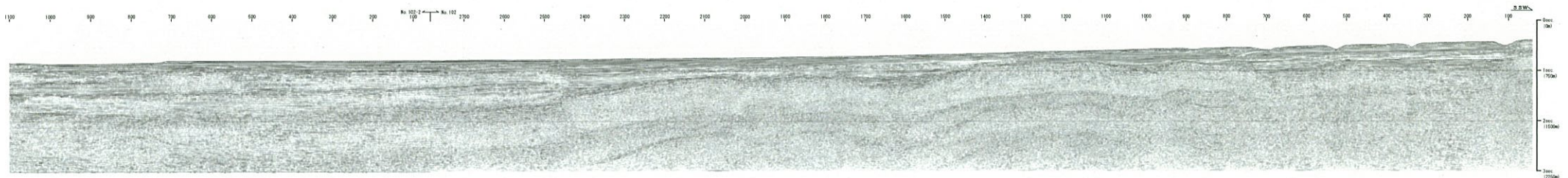
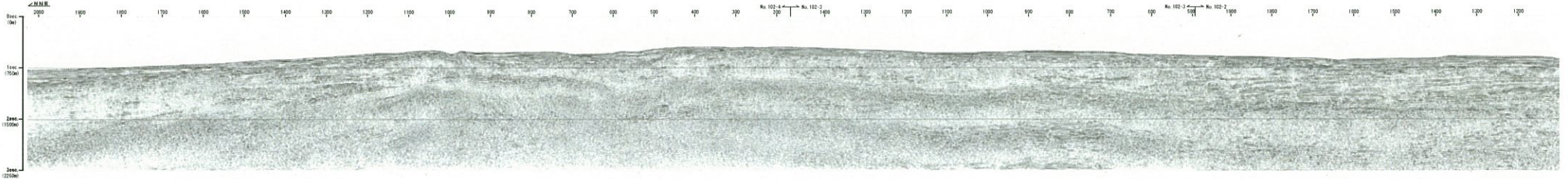


第3.2-119図(11) 敷地周辺海域の音波探査記録



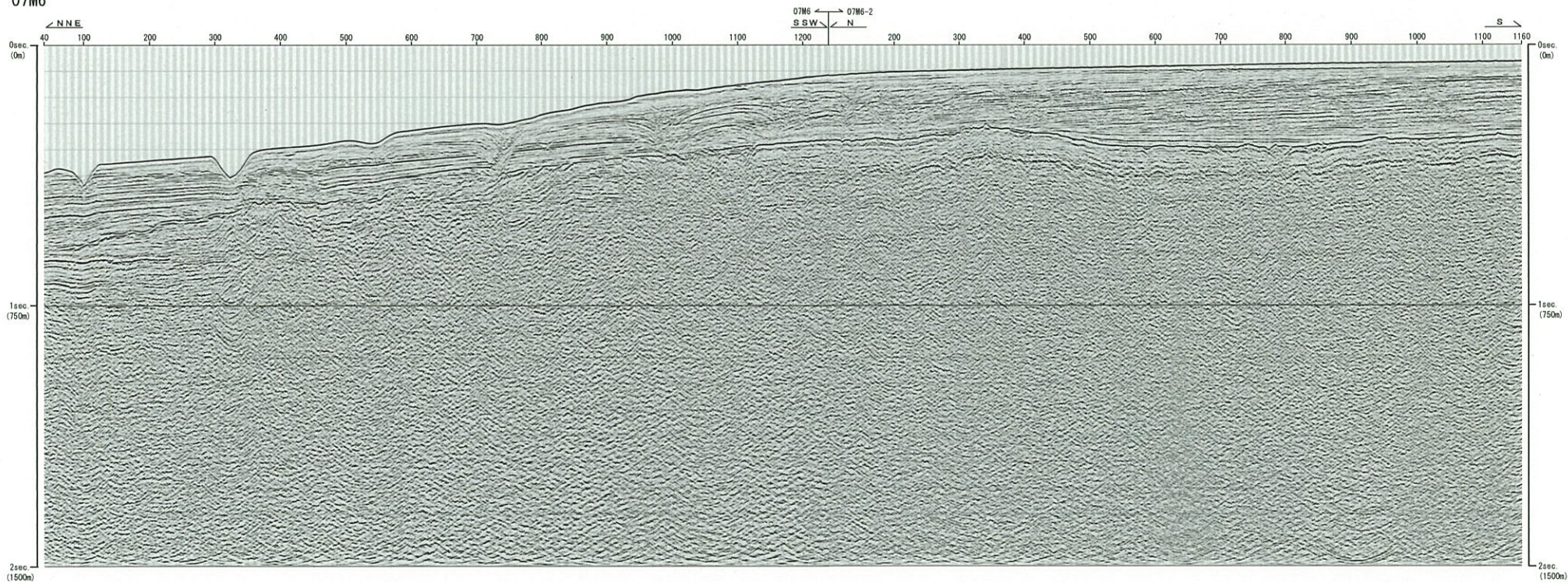
第3.2-119図(12) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 102



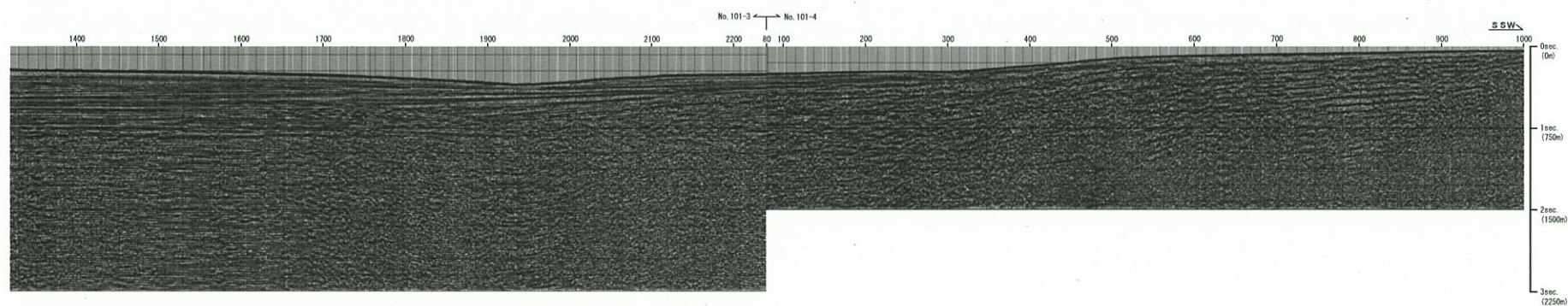
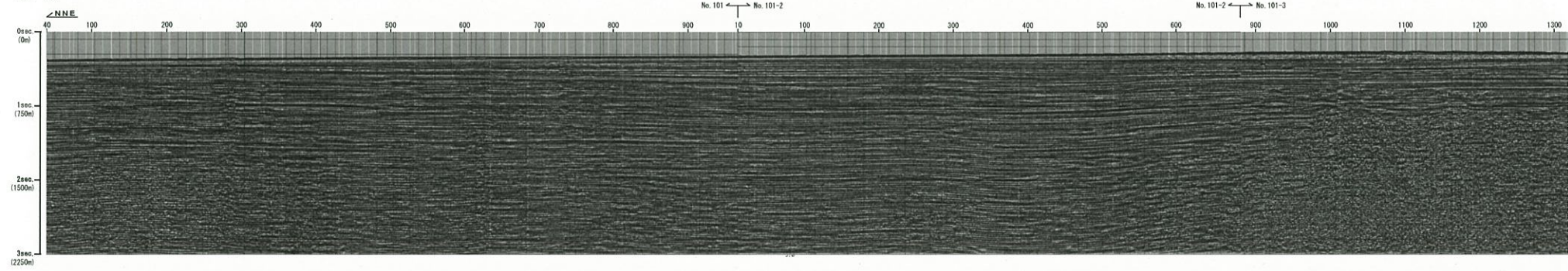
第3.2-119回(13) 敷地周辺海域の音波探査記録

07M6



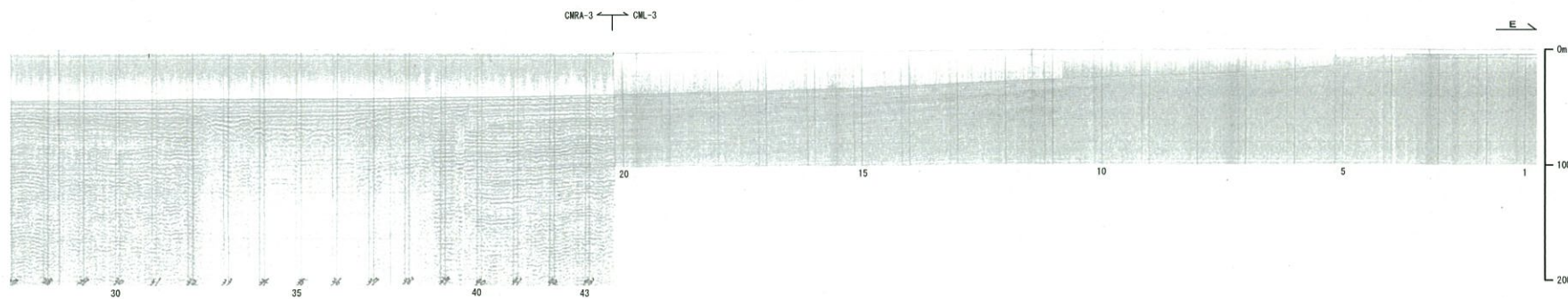
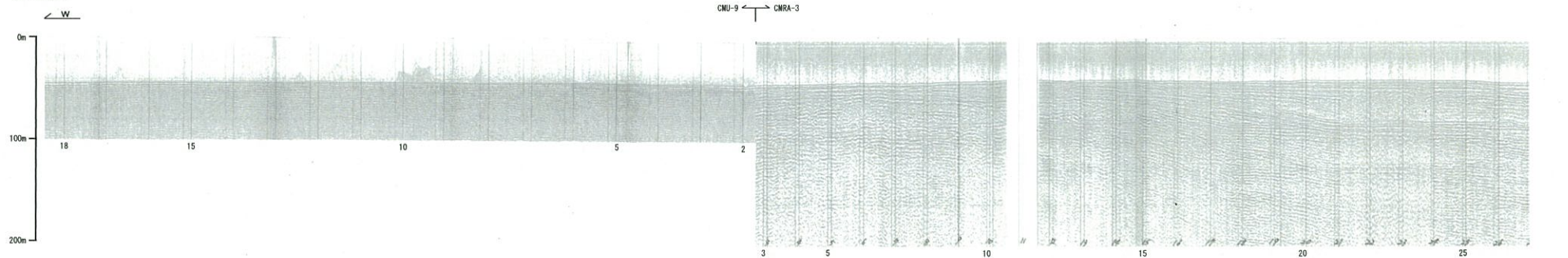
第3.2-119図(14) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 101



第3.2-119図(15) 敷地周辺海域の音波探査記録

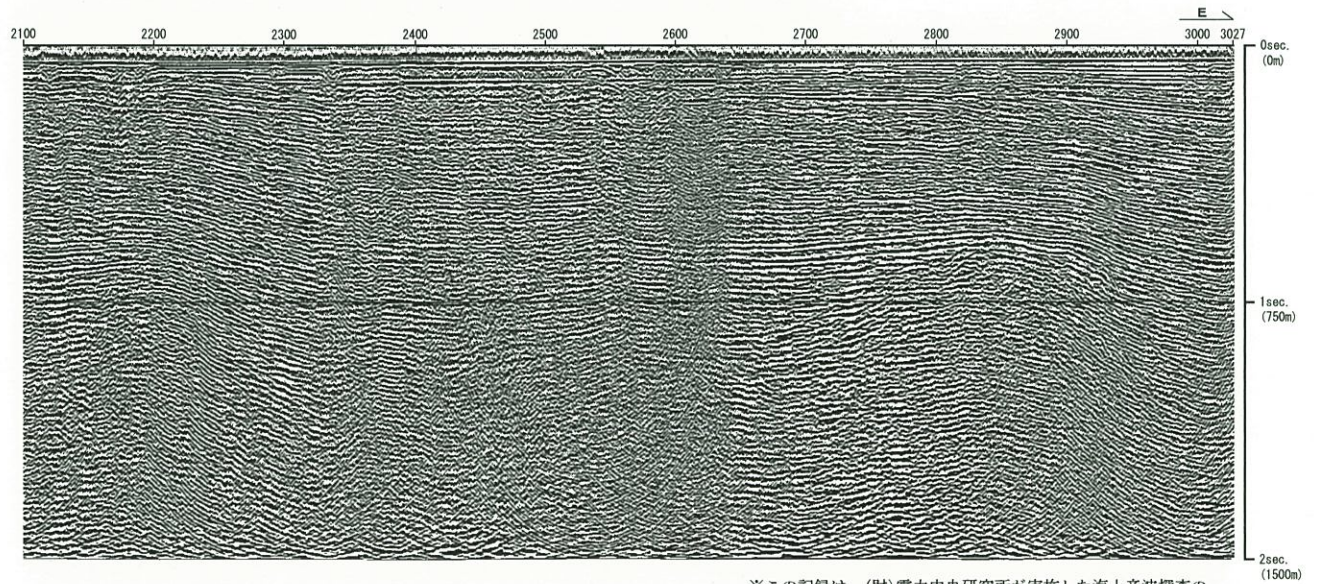
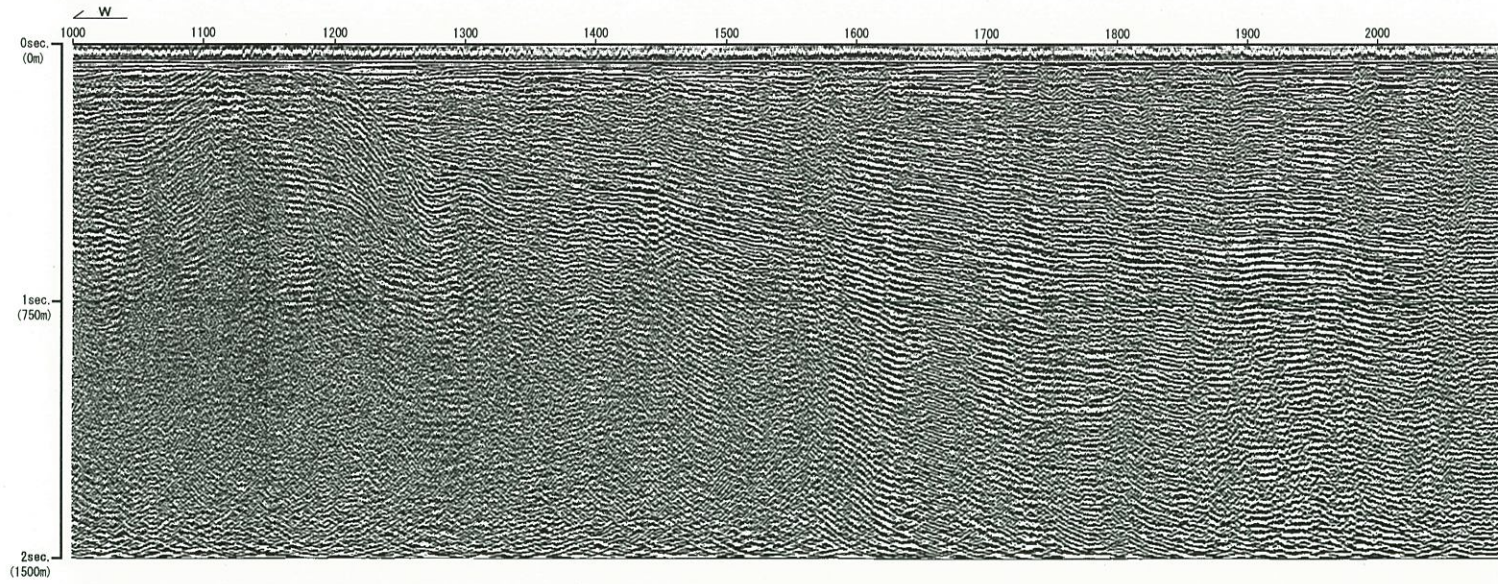
陸奥湾1



※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃㈱が独自に編集したものである。

第3.2-119図(16) 敷地周辺海域の音波探査記録

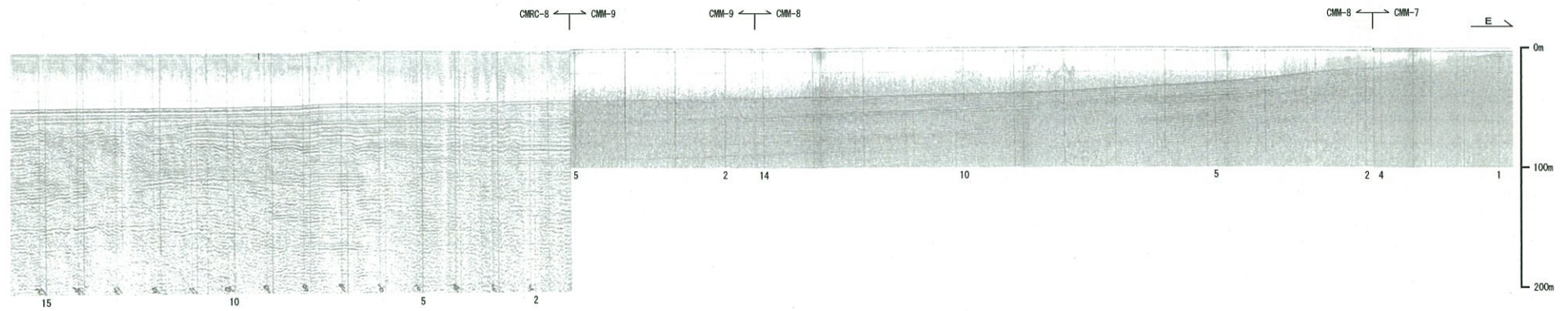
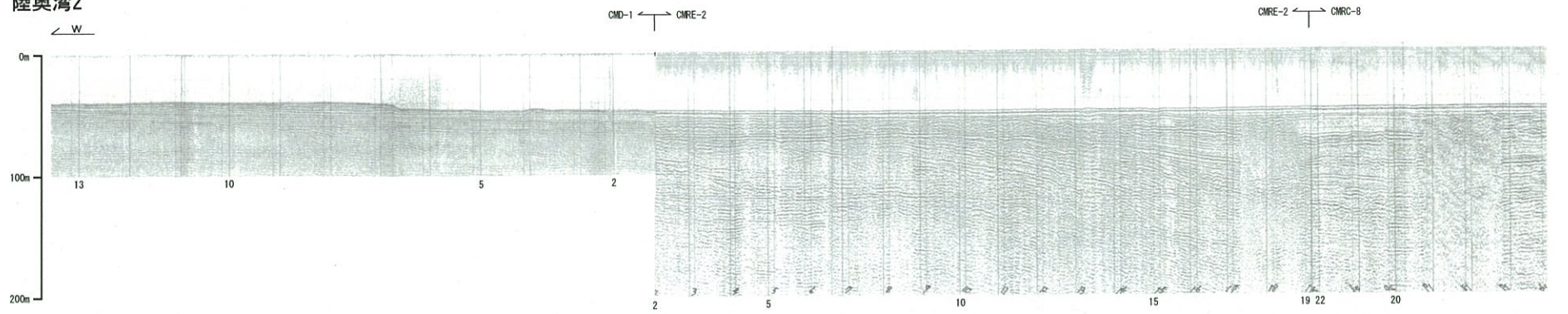
陸奥湾M



※この記録は、(財)電力中央研究所が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃備が独自に編集したものである。

第3.2-119図(17) 敷地周辺海域の音波探査記録

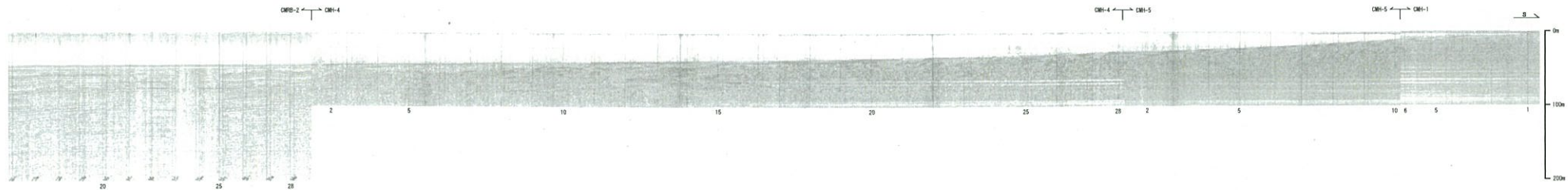
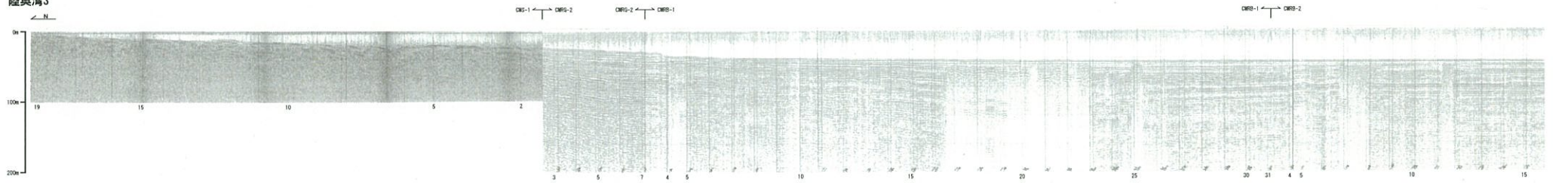
陸奥湾2



※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃が独自に編集したものである。

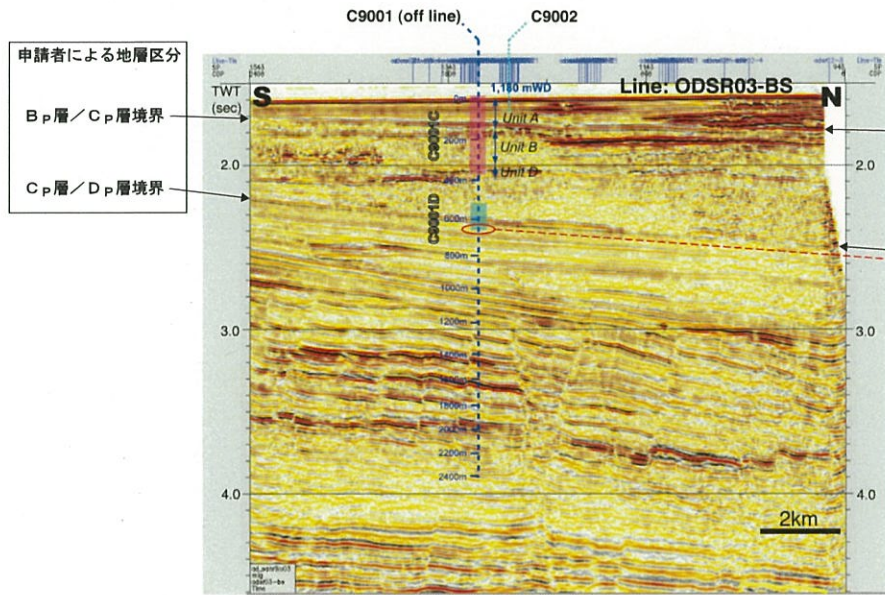
第3.2-119図(18) 敷地周辺海域の音波探査記録

陸奥湾3



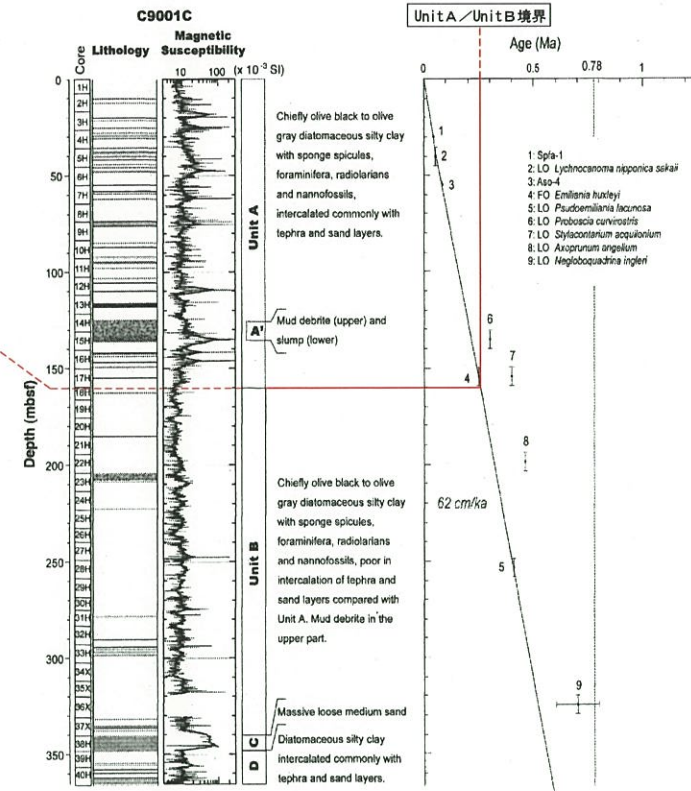
※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本厚労省が独自に編集したものである。

第3.2-119図(19) 敷地周辺海域の音波探査記録



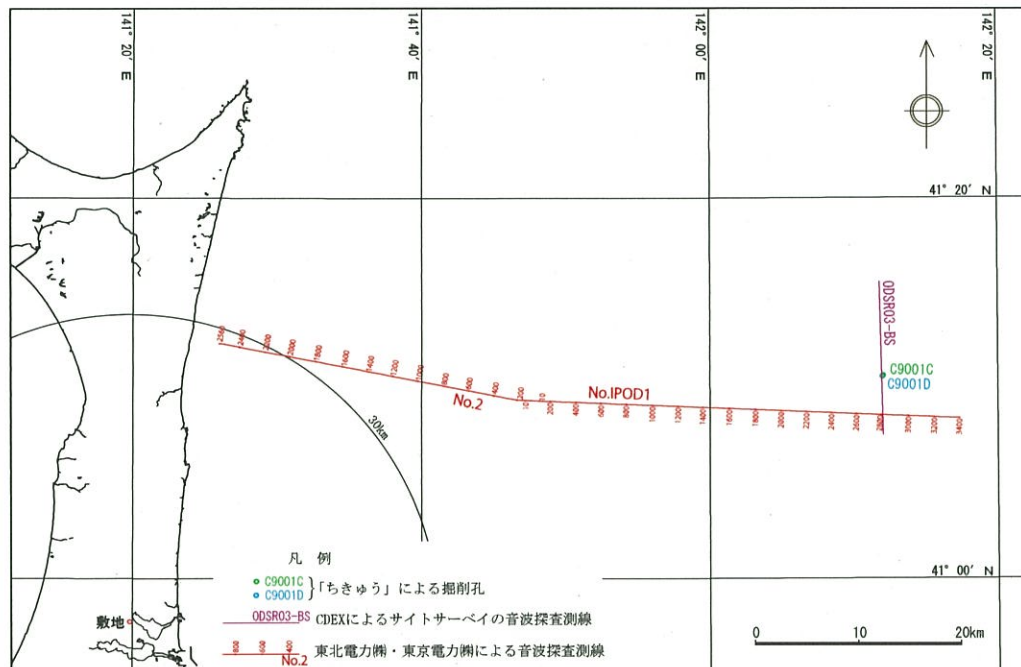
Kobayashi et al. (2009)より抜粋・一部加筆

C9001C, Dと音波探査記録との対比



青池(2008)より抜粋・一部加筆

年代モデル



List of Stratigraphic events for C9001C and D, determined onboard.

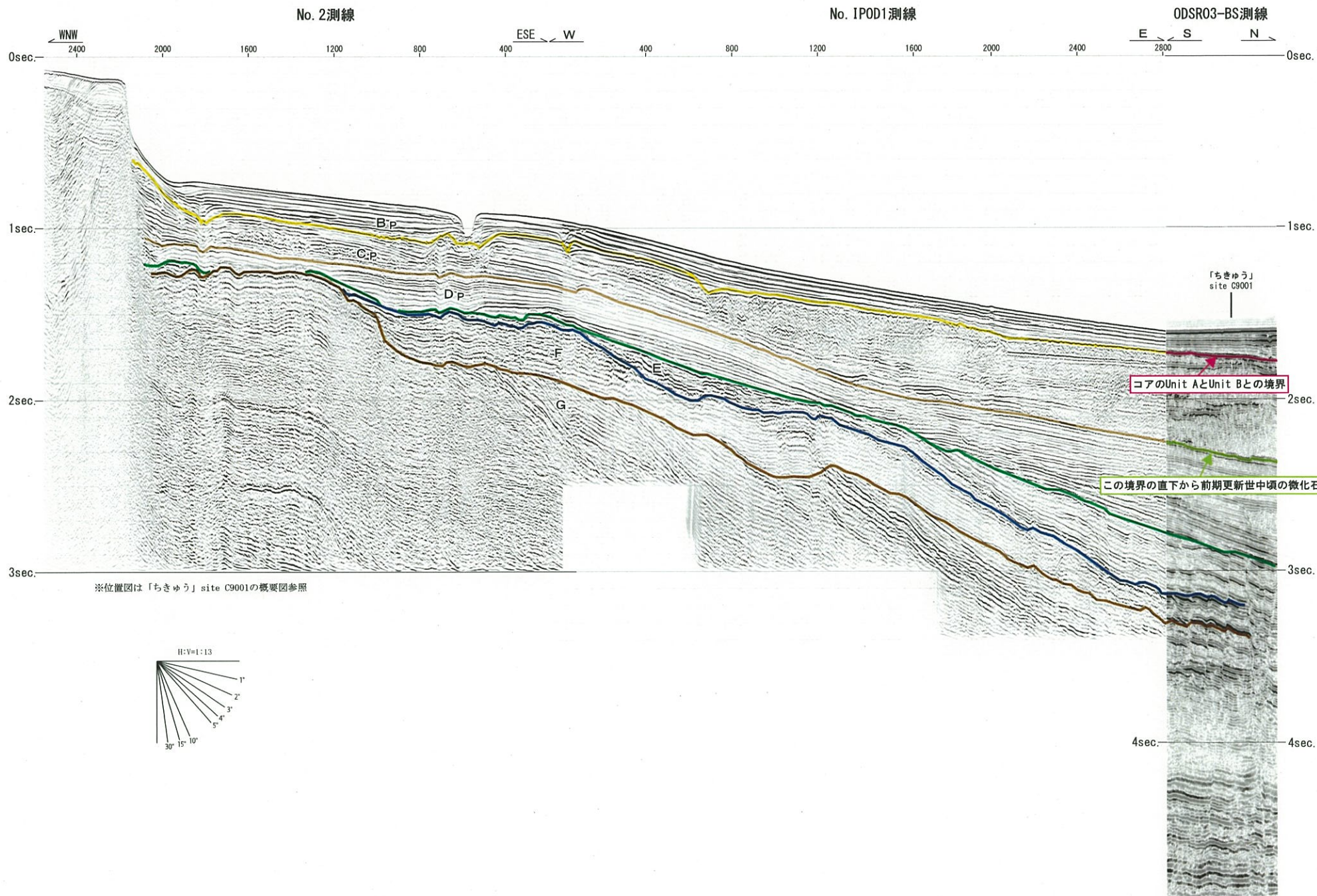
Event	Hole, Core, Section, Interval (cm)		Depth (mbsf)	Age (ka)	Remarks
	Upper limit	Lower limit			
Spta-1	C9001C-4H-4 57-68cm		34.3	43 ± 1	Tephra
T <i>Lychnocanoma nipponica sakeii</i>	C9001C-4H-CC 34cm	C9001C-5H-CC 38cm	35.3 - 44.9	50	
Aso-4	C9001C-7H-4 40-42.5cm		58.7	87.5 ± 2.5	Tephra
T <i>Stylocenturium aquivoium</i>	C9001C-16-CC 33cm	C9001C-17-CC 30cm	149.3 - 158.8	400	Rad
T <i>Axogruntum angelinum</i>	C9001C-21H-CC 34cm	C9001C-22H-CC 18cm	193.9 - 203.3	460 ± 40	Rad
T <i>Neogloboquadrina ingleri</i>	C9001C-35X-CC 13cm	C9001C-37X-CC	319.2 - 337.8	800 ± 100	Foram
B large <i>Gephyrocapsa</i> spp. - B medium <i>Gephyrocapsa</i> spp.	C9001D-25SMW		642 - 647	(1700 - 1480)	Nanno

Note: T = top, B = bottom, Rad = radiolarians, Foram = planktonic foraminifera, and Nanno = calcareous nanofossils. Analyses for identification of two known tephras were done using samples from C9001A and C9002B. Spta-1 (Shikotsu-daiichi Tephra) is based on analyses at the Kyoto Fission Track Co. Ltd. (CDEX, unpublished) and by Masago (unpublished data). Aso-4 (Aso-daiyon Tephra) was also identified by Masago (unpublished data). Brunhes-Matuyama boundary horizon (780 ka) was not found within Hole C9001C.

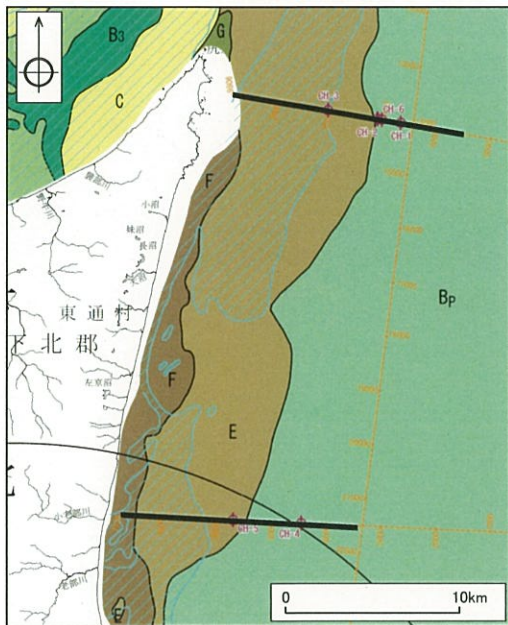
Kobayashi et al. (2009)より抜粋・一部加筆

年代指標

第3.2-120図(1) 「ちきゅう」 site C9001の概要図

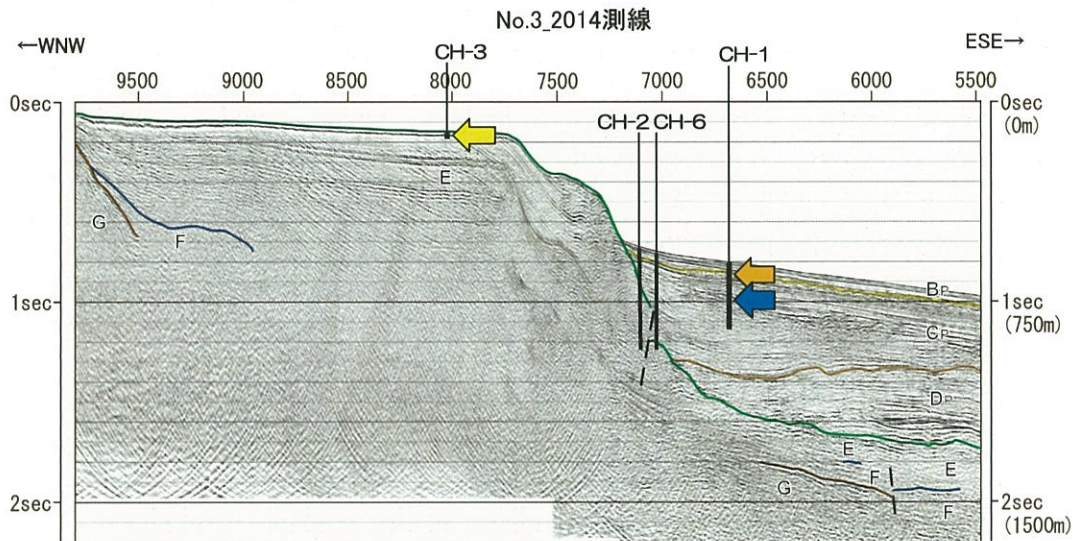
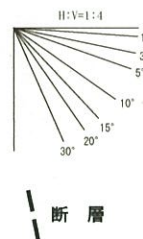
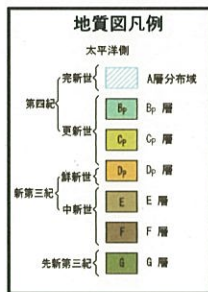


第3.2-120図(2) 敷地周辺海域の地層区分と「ちきゅう」 site C9001との対比図

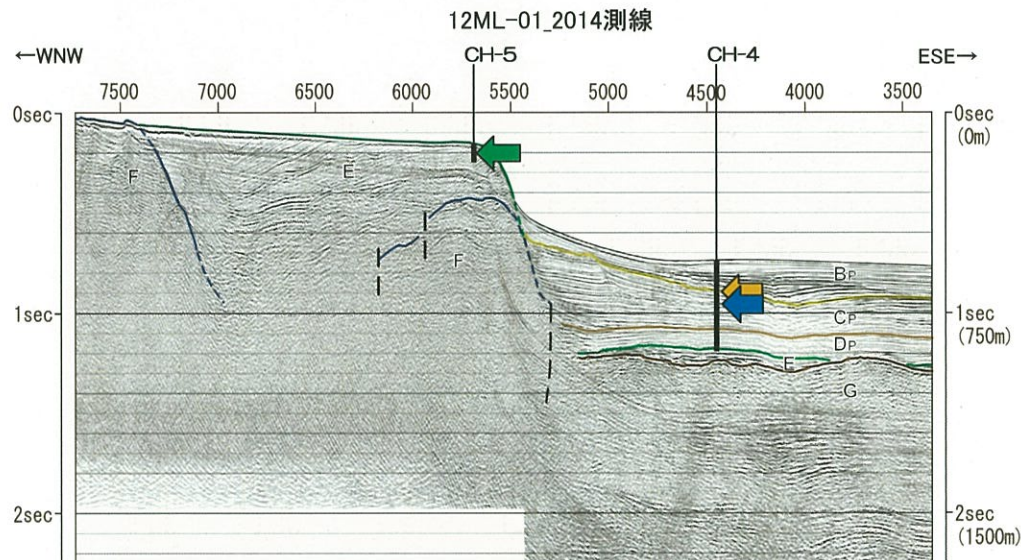


測線位置図

測線位置

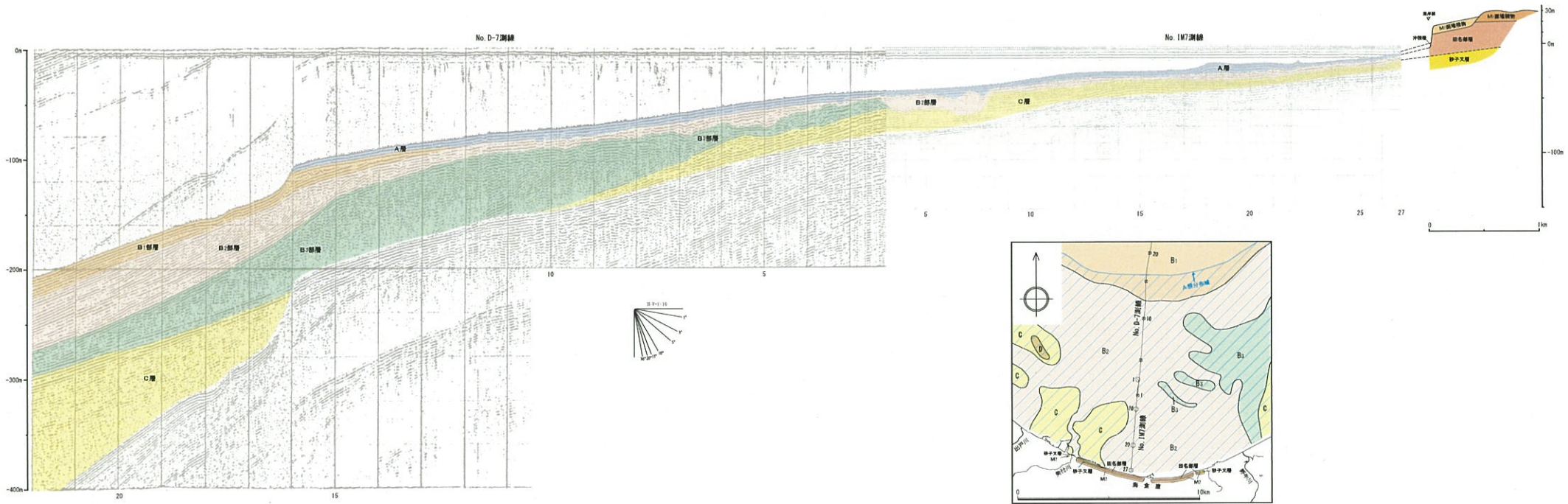


- ◀ 有孔虫化石 *G.rikuchensis* (約12.6~11.5Ma) を確認
- ▶ 恐山火山起源の降下火砕物 Os-2 (約0.27Ma) を確認
- ◀▶ 放散虫化石 *L.sakaii* の初産出 (約1.03Ma)、
放散虫化石 *E.matuyamai* の終産出 (約1.03Ma) を確認

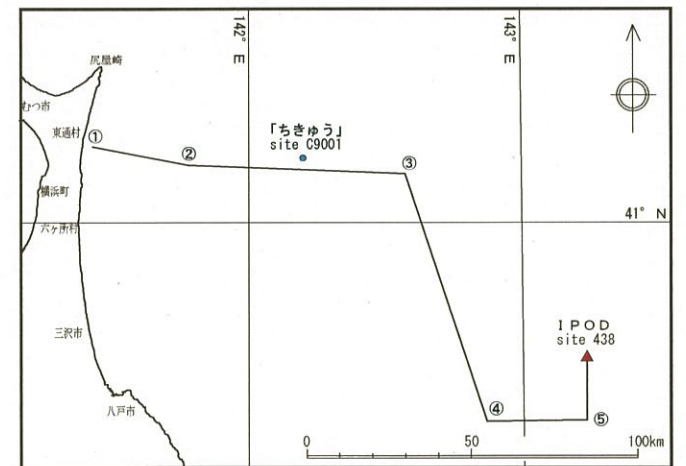
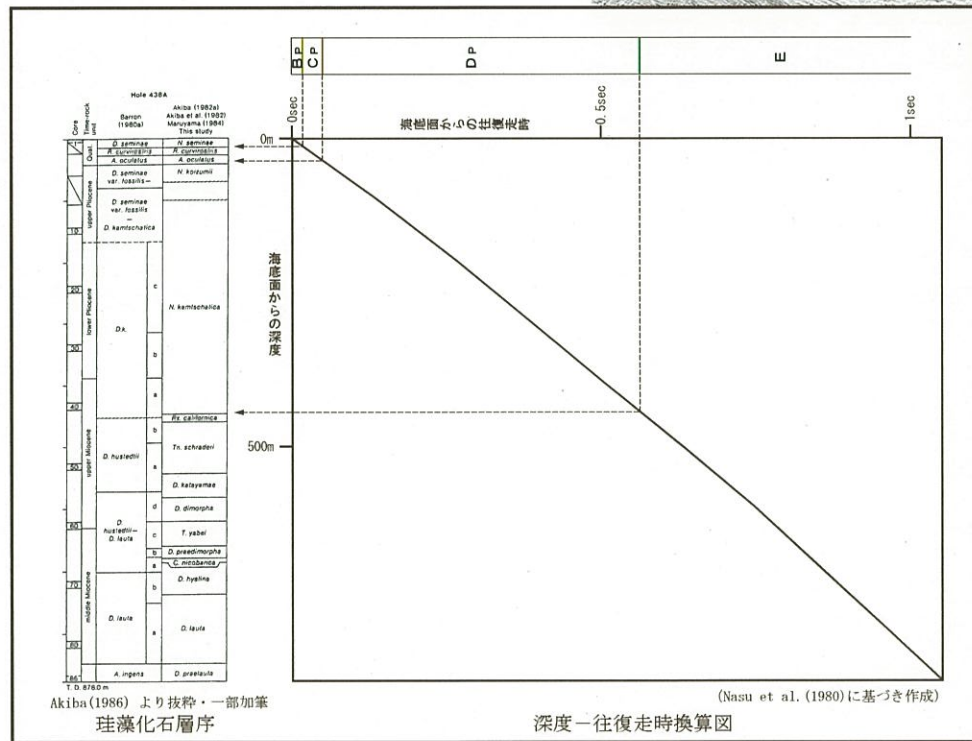
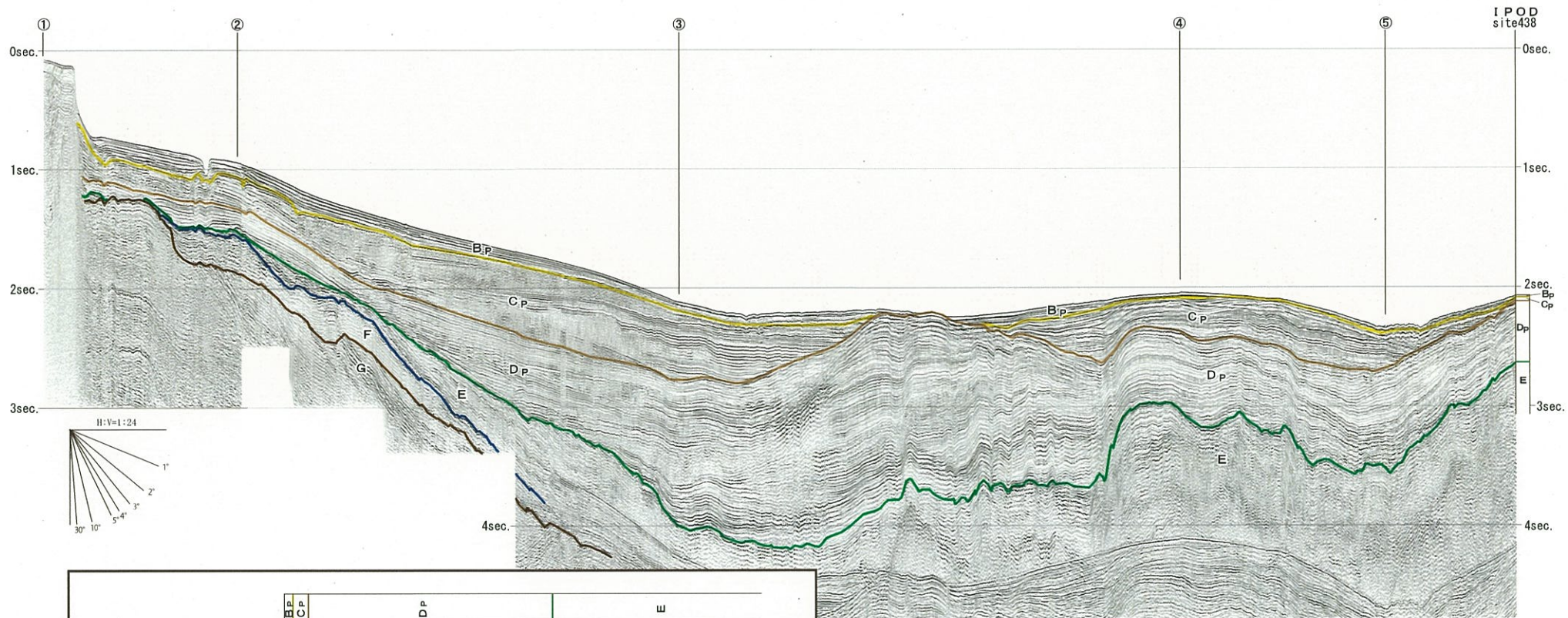


- ◀▶ *D.luta* 帯 (約16.0~14.6Ma) に対比される珪藻化石群集を確認
- ▶ 恐山火山起源の降下火砕物 Os-2 (約0.27Ma) を確認
- ◀▶ 放散虫化石 *L.sakaii* の初産出 (約1.03Ma)、
放散虫化石 *E.matuyamai* の終産出 (約1.03Ma) を確認

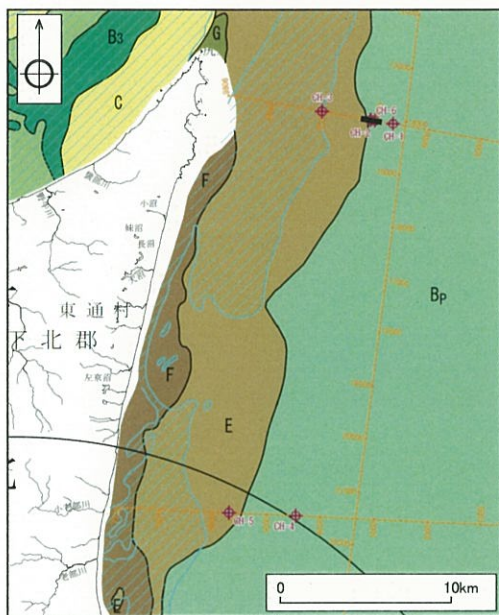
第3.2-121図 尻屋崎沖及び東通村老部川沖の海上ボーリング調査結果図



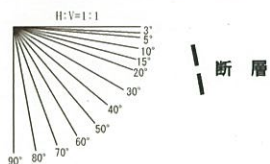
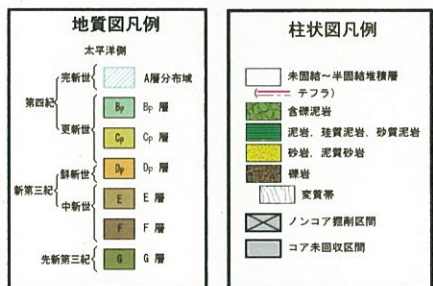
第3.2-122図 津軽海峡沿岸部におけるB層の状況図



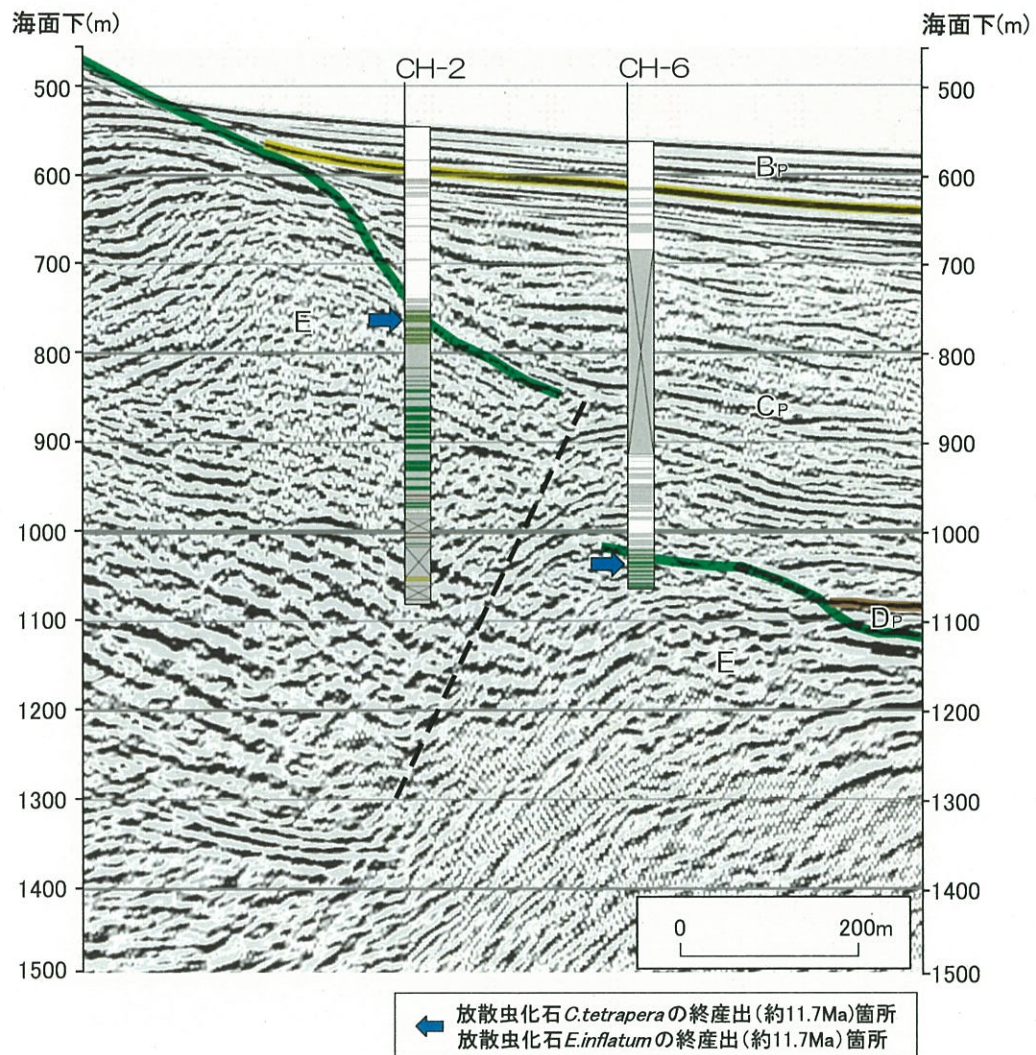
第3.2-123図 敷地周辺海域の地層区分と I POD site 438 との対比図



測線位置図 測線位置

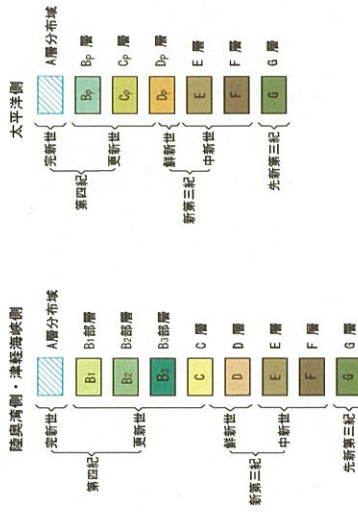


No.3_2014測線(深度断面)

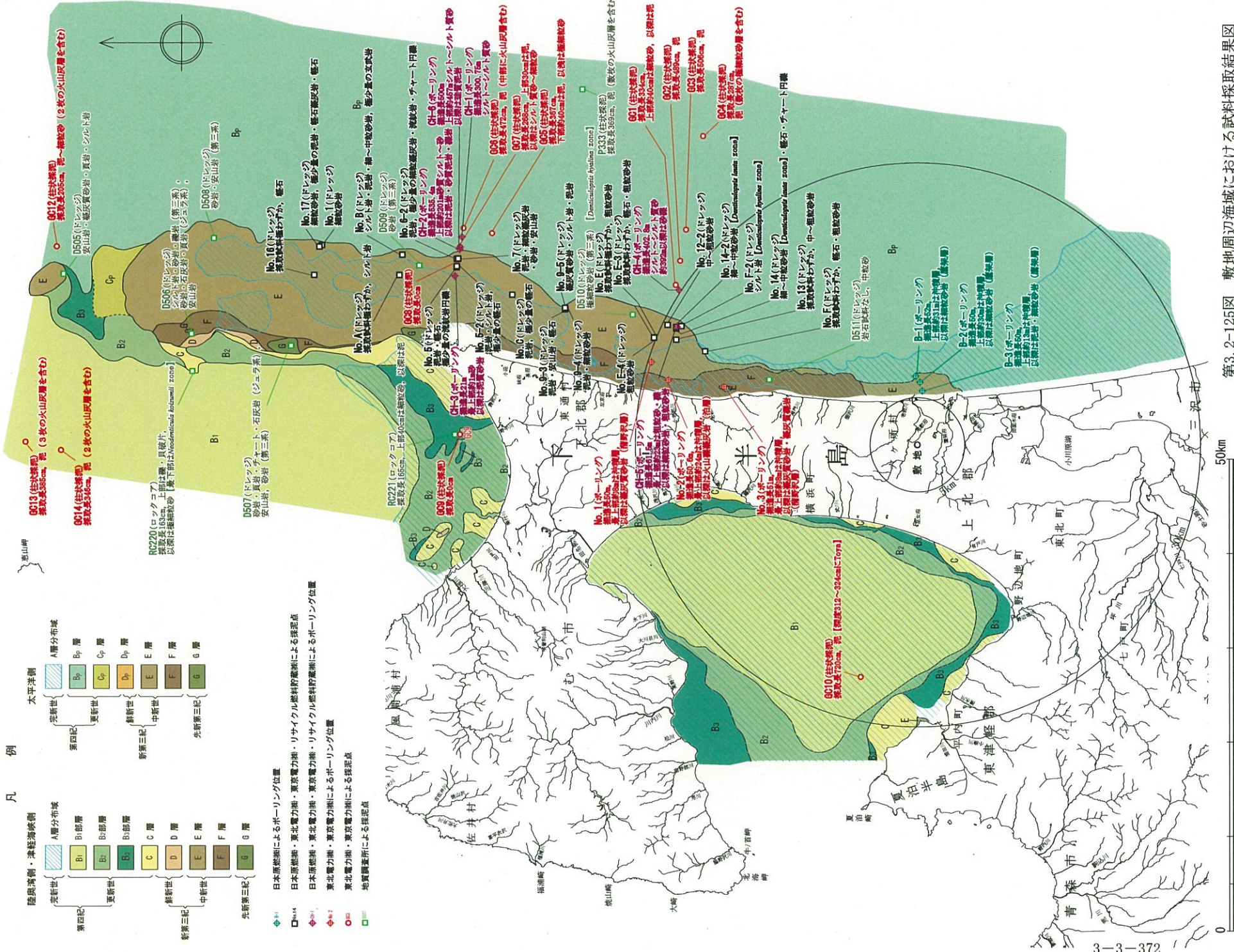


第 3.2-124 図 尻屋崎沖の急斜面基底部付近のE層の分布図

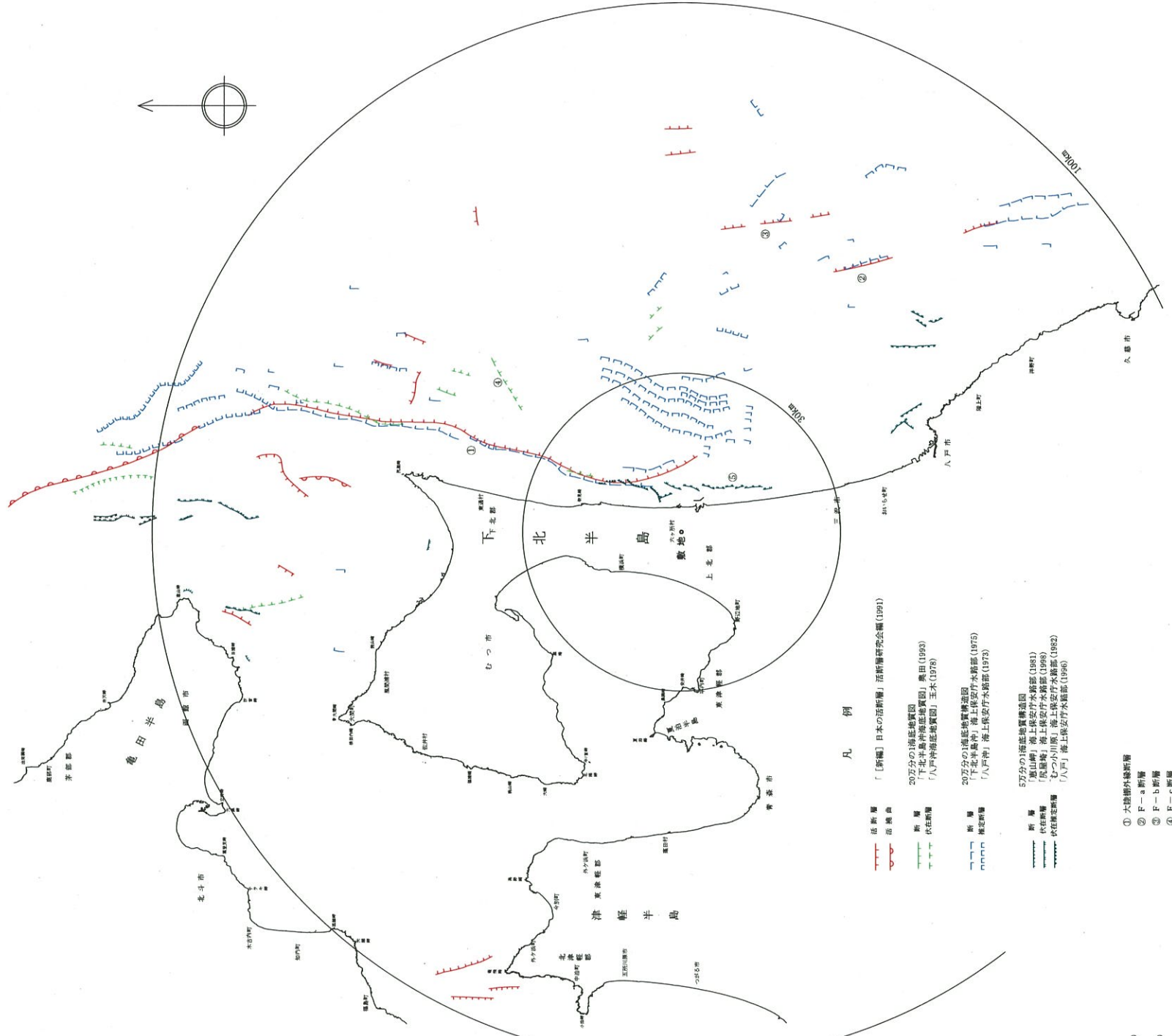
凡例



- ◆ H 日本原燃層によるボーリング位置
- H-1 日本原燃層・東北電力網・東京電力網・リサイクル燃料貯蔵層による採点
- ◆ H-2 日本原燃層・東北電力網・東京電力網・リサイクル燃料貯蔵層によるボーリング位置
- ◆ H-3 東北電力網・東京電力網によるボーリング位置
- ◆ H-4 東北電力網・東京電力網による採点
- ◆ H-5 地質調査所による採点



第3.2-125図 敷地周辺海域における試料採取結果図



凡例

- 活断層 「[新編]日本の活断層」活断層研究会編(1991)
- 活断層 「20万分の1地形地質図」奥田(1993)
- 活断層 「八戸沖海底地質図」玉木(1978)
- 活断層 「20万分の1地形地質図」
- 活断層 「下北半島沖」海上保安庁水防部(1975)
- 活断層 「八戸沖」海上保安庁水防部(1973)
- 活断層 「5万分の1地形地質図」
- 活断層 「尾山崎」海上保安庁水防部(1981)
- 活断層 「下北半島沖」海上保安庁水防部(1975)
- 活断層 「九戸沖」海上保安庁水防部(1982)
- 活断層 「八戸沖」海上保安庁水防部(1986)

- ① 大館沖外縁断層
- ② F-a断層
- ③ F-b断層
- ④ F-c断層
- ⑤ F-d断層



第3.2-126図 文献による敷地周辺海域の断層分布図